

廃棄物統計の精度向上及び迅速化のための
検討調査報告書

平成 27 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

目 次

1 平成 26 年度循環利用量調査改善検討会 実施計画と検討の成果	1
1.1 目的	1
1.2 検討会での検討内容	1
1.3 検討会での検討経過	11
1.4 検討会での検討の成果	13
2 迅速化対応	14
2.1 廃棄物等循環利用量と物質フローとの関連性	14
2.2 廃棄物等循環利用量の算出フロー	15
2.3 循環利用量の算出に必要な統計資料	15
2.4 循環利用量の算出スケジュール	17
2.5 平成 24 年度確定値の算出	19
2.6 平成 25 年度速報値算出時に推計を行った品目 (廃棄物等の「等」のアルミ缶)	31
3 精度向上対応	38
3.1 災害廃棄物の平成 24 年度確定値の算出方法	38
3.2 食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等との比較	65
3.3 循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について	74
3.4 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成 19 年度値・平成 20 年度値・平成 21 年度値・平成 22 年度値・平成 23 年度値及び平成 24 年度値の比較結果	81
4 インベントリ対応	87
4.1 廃棄物等発生量の平成 25 年度速報値の算出方法	87
4.2 平成 25 年度速報値の算出	99
4.3 わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の量の平成 24 年度確定値、温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値の算出結果	107
4.4 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案	112
4.5 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握について	120
5 参考資料	121
5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について	121
5.2 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の算出方法と、速報値の算出に用いる経済活動指標	122

1 平成26年度循環利用量調査改善検討会 実施計画と検討の成果

1.1 目的

廃棄物等¹循環利用量実態調査（以下、循環利用量調査）については、全国の確定値として公表されるまでに2年を要していたことや、産業廃棄物統計においては、国の統計値と産業界等による調査結果との間に乖離が見られるなどといった問題点が指摘されていた。

このような状況において、廃棄物統計及び循環利用量調査は、循環型社会形成推進基本計画の目標値の設定や進捗状況の点検のために活用されており、また、京都議定書に定められた温室効果ガス排出量削減目標の達成度を評価するためのわが国の温室効果ガス排出量・吸収量（以下、インベントリ）算定にも用いられていることから、統計の早期化、精緻化等の課題への対応が求められている。

このため、現行の廃棄物統計及び循環利用量調査が抱える課題を整理し、その改善策について検討を行う。

1.2 検討会での検討内容

(1) 循環利用量調査改善検討会の検討方針

循環利用量調査改善検討会の検討方針は、以下のとおりである。

平成26年3月策定の「公的統計の整備に関する基本的な計画」に則り、本検討会では、廃棄物等に関する統計の精度向上及び公表の迅速化に向けた更なる検討を行うこととする。

(参考)「公的統計の整備に関する基本的な計画(平成26年3月25日)」より抜粋

第2 公的統計の整備に関する事項

(中略)

2 分野別経済統計の整備

(1) 環境に関する統計の整備

(中略)

また、温室効果ガスの排出量等は、関連する様々な分野の統計を組み合わせることで算出されているが、廃棄物等に関する統計やエネルギーに関する統計の精度向上等が重要な課題となっている。

(中略)

このため、家庭からの二酸化炭素排出実態を把握することなど、温室効果ガスの排出及び吸収に関する統計データの更なる整備や、廃棄物等に関する統計の精度向上及び公表の迅速化に向けた検討に引き続き取り組み、エネルギー消費に関する統計データの精緻化及び精度の高い環境分野分析用産業連関表の作成を行う。

別表 今後5年間に講ずる具体的施策

「第2 公的統計の整備に関する事項」部分

項目	具体的な措置、方策等	担当府省	実施時期
2 分野別経済統計の整備 (1)環境に関する統計の整備	○廃棄物等に関する統計の精度向上及び公表の迅速化に向けた更なる検討を行う。	環境省	平成26年度から検討する。

¹廃棄物等循環利用量実態調査における『廃棄物』、『「等」』、『廃棄物等』の定義については、p.117「5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について」を参照

(2) 今年度の検討事項

本検討会においては、次の事項について検討を行う。

(ア) 平成24年度廃棄物等の量（確定値）の算出

(イ) 廃棄物分野における温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成25年度廃棄物等の量（速報値）の算出

(ウ) 上記(ア)を算出するに当たって検討すべき事項

- ① 廃棄物分野における温室効果ガス排出インベントリ算出に用いた平成 24 年度廃棄物等の量(速報値)と平成 24 年度廃棄物等の量(確定値)との比較・検討
- ② 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案

(エ) その他

- ① 食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等(農林水産省)との比較
- ② 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量(速報値)の算出方法
- ③ 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握可能性の検討
- ④ 循環利用量調査における一般廃棄物としてのペットボトルの焼却処理量の算出方法の改善可能性の検討
- ⑤ 産業廃棄物の廃プラスチック類のガス化・油化量
 - ⑤の検討事項については、過去に本検討会での検討結果を温室効果ガス排出量算定方法検討会廃棄物分科会に提供したが、平成 25 年度末時点において、温室効果ガス排出量算定方法検討会廃棄物分科会では検討結果を利用していない状況となっている。このため、今後の温室効果ガス排出量算定方法検討会廃棄物分科会での検討状況を踏まえ、必要に応じて検討する。
- ⑥ 多量排出事業者実施状況報告書の活用
- ⑦ 許可業者実績報告の活用
- ⑧ 調査票のデジタル化と電子マニフェストの推進
 - ⑥⑦⑧の検討事項については、環境省産業廃棄物課において、中・長期的な課題として検討しているところである。

(参考1)「今年度の検討事項」の課題提起別の整理

今年度の検討事項の課題提起別の整理

課題提起別	検討事項	関連資料
平成 25 年度循環利 用量調査改善検討会	<p>昨年度の本検討会の課題のうち、今年度も引き続き検討するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等(農林水産省)との比較 ● 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量(速報値)の算出方法 ● 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握可能性の検討 ● 循環利用量調査における一般廃棄物としてのペットボトルの焼却処理量の算出方法の改善可能性の検討 	p.4(参考 2)
平成 25 年度温室効 果ガス排出量算定方 法検討会廃棄物分科 会	<p>温室効果ガス排出量算定方法検討会廃棄物分科会の検討課題のうち、循環利用量調査に関連のあるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案 ● 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握可能性の検討 ● 産業廃棄物の廃プラスチック類のガス化・油化量 	p.6(参考 3)
平成 20 年度循環利 用量調査改善検討会 報告書	<p>H20 年度循環利用量調査改善検討会報告書の改善策のうち、環境省産業廃棄物課において、中・長期的な課題として検討しているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多量排出事業者実施状況報告書の活用 ● 許可業者実績報告の活用 ● 調査票のデジタル化と電子マニフェストの推進 	p.7(参考 4)

(参考2)平成25年度循環利用量調査改善検討会における課題と対応状況(平成26年度以降検討継続のもの)

平成25年度 循環利用量調査改善検討会における課題と対応状況
(平成26年度以降検討継続のもの)(1)

1. 迅速化対応				
(1) 平成24年度速報値算出のための廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の推計方法について				
平成25年度第4回検討会 議題(1)第3回循環利用量調査改善検討会の委員指摘事項への回答				
資料4-1 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の推計に用いる経済活動指標に関する確認結果				
No	委員発言要旨	対応すべき内容	対応状況	対応状況詳細
1	・缶材の出荷量と使用済み飲料缶の価格を活動指標として用いているが、どういったロジックで、価格が上がると使用済み飲料缶の発生量が増えるのか、整理できているか。 ・考え方としては、使用済み飲料缶として滞留していたものが、価格が高くなると高く買い取ってもらえそうだから、市場に出てくるとい整理になっているのか。	経済活動指標として価格を用いる(価格が上がると使用済み飲料缶の発生量が増加することについて、ロジックはうまく整理できているのかの確認)	平成26年度以降の検討会にて検討継続	【対応方針】 ・アルミ缶リサイクル協会に対して、「等」のアルミ缶発生量の推計に用いているアルミ缶再生利用フローの把握方法に関するヒアリングを行った結果、活動量と経済活動指標の関係で確認できた事項を検討会にて報告する。
2	・感覚としては、1年遅らせて適用となっているが、製品としての缶の寿命は、1年という程長くないと理解しており、ずらすことの理解が難しい。やってみたらこうなったということか。			
検討課題として整理 (5.2節参照)				
2. 精度向上対応				
(1) ペットボトルの焼却処理量について				
平成25年度第1回検討会 議題(3) ペットボトルの焼却処理量について				
資料1-4 ペットボトルの焼却処理量について				
No	委員発言要旨	対応すべき内容	対応状況	対応状況詳細
3	・一般廃棄物のペットボトルの焼却量19万トンが多いように思う。PETボトルリサイクル推進協議会の資料では、ペットボトルの販売量が60万トン、リサイクル率が85%であり、そうすると、リサイクルされていない15%がすべて燃やされるとしても、焼却量は9~10万トン程度ではないか。 ・循環利用量調査では、ペットボトルの焼却量をどのようにして算定しているのか。	本調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量19万トン(平成23年度速報値)が、PET協議会で推計されている販売量60万トンとリサイクル率(再資源化率/販売量)85.8%から、販売量のうち再資源化されなかった量を全て焼却処理量として計算した値8万6千トンに比べ大きい理由の確認	平成26年度以降の検討会にて検討継続	【平成25年度第1回検討会資料1-4での回答】 ・本調査とPET協議会では推計対象とするペットボトルの範囲(用途・容量)が異なり、かつ焼却処理量に相当する量がPET協議会では推計されていないため、直接数値を比較することが困難であることが分かった。 ・また、現時点では一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量は、それ単体では「我が国の物質フロー」や「温室効果ガス排出インベントリ算出」に利用されていない。
検討課題として整理 (3.3節参照)				
(2) 循環利用量調査の廃棄物等と農水統計の食品廃棄物等との関係について				
平成25年度第4回検討会 議題(2) 廃棄物等発生量の平成24年度速報値の算出結果、 議題(3) 温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成24年度速報値の算出結果				
資料4-2 廃棄物発生量の平成24年度速報値の算出結果 資料4-2 (別紙) 一般廃棄物(災害廃棄物)の平成24年度速報値の算出結果(3月14日時点) 資料4-3 温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成24年度速報値の算出結果				
No	委員発言要旨	対応すべき内容	対応状況	対応状況詳細
4	・食品廃棄物に該当するものは、循環利用量調査の廃棄物等の「等」のどこに含まれるのか、汚泥に含まれるのか。 ・動物性残さとする、量が多すぎると、恐らく推計値で年間2,000万トンぐらいと言われており、その量がどこに含まれるのか、教えてほしい。	農水統計の食品廃棄物等の量と循環利用量調査で捉えられている量に種別が異なるような差異が生じている理由の確認	平成26年度以降の検討会にて検討継続	【対応方針】 ・食品廃棄物等に関して、循環利用量調査と農水統計を比較した結果、両統計の定義や量について確認できた事項を検討会にて報告する。
5	・現在の循環利用量調査の推計結果が118万トンとすると、恐らく推計値については2,000~1,000万トン程度、2倍程度のブレ幅があると思っ てみているが、その約10分の1が捕捉されている状況と考える。 ・残りの量の捕捉の仕方とか、少し工夫する必要があるのではないか。「等」の定義についても再考してはどうか。			
6	・今データが手元にないが、食品リサイクルと産廃統計で捉えている量には差がある。両統計の量については、全然オーダーが違う状況にあるため、そもそも本当はここで検討すべきであり、どの統計をどう取っていくのか、解決すべき課題と考える。			
検討課題として整理 (3.2節参照)				

平成25年度 循環利用量調査改善検討会における課題と対応状況
 (平成26年度以降検討継続のもの)(2)

3. インベントリ対応				
(1) 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等について				
・平成25年度第2回検討会 議題(1) 廃棄物等発生量の平成23年度の確定値について 資料2-2 動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正案について				
No	委員発言要旨	対応すべき内容	対応状況	対応状況詳細
7	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポスト化施設では、動植物性残さのみではコンポスト化はできず、副資材が投入されている。実際に温室効果ガス排出量を算定する際に、副資材も含めた量に掛けるということであれば、動植物性残さの量も重要であるが、副資材の量をどうやって推計するかワンクッション入ると考える。 ・副資材については、温室効果ガスの排出係数の中で考慮されているのか、教えてほしい。 	(検討会において回答済) インベントリに提供するデータへの影響はないが、副資材の扱いについては事実確認が必要	平成26年度以降の検討会にて検討継続	【検討会での回答】 現在の温室効果ガス排出量は、環境省低炭素室で検討をおこなっている。循環利用量調査側からインベントリに提供すべきデータとして依頼があるのは、動植物性残さのコンポスト化量である。(事務局) 【第3回検討会資料3-1での回答】 廃棄物分科会から示された「下水道汚泥以外のコンポスト化される産業廃棄物が活動量に含まれていない。」との課題については、平成23年度において検討を行い、食品製造業及び飲料製造業からの再生利用された産業廃棄物のうちのコンポスト化された産業廃棄物の量について試算結果を出したところである。また、今年度「動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法」を検討し、改正案を示したところである。ただし、2(3)で示したとおり、現在の循環利用量調査では、副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の量を把握できておらず、その量を、現時点において直ちに把握することは困難である。 このため、副資材としてコンポスト化に向かう産業廃棄物の量について、循環利用量調査改善検討会は、平成24年度速報値の算出の時点においては取り扱わないこととし、今後、把握の必要性を含め検討することとする。 なお、我が国の排出係数の設定は、温室効果ガス排出量算定方法検討会の下に設置した廃棄物分科会で副資材としてコンポスト化に向かう有機物の量を考慮して排出係数を設定すべく検討するか否か、今後注視してまいりたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 検討課題として整理 (4.5節参照) </div>				
4. その他				
(1) 本検討会における課題と対応状況の整理				
・平成25年度第4回検討会 議題(4) 平成25年度循環利用量調査改善検討会報告書(案) 資料4-4 平成25年度循環利用量調査改善検討会報告書「廃棄物統計の精度向上及び迅速化のための検討会報告書」(案)				
No	委員発言要旨	対応すべき内容	対応状況	対応状況詳細
8	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の検討会報告書の成果等から未解決となっている課題については、巻末の参考資料でよいので整理してほしい。 	検討会における課題について現在までの対応状況の整理が必要	平成26年度以降の検討会にて検討継続	【対応方針】 平成26年度検討会において課題への対応状況を整理する。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルや食品廃棄物の課題がいくつかあると思うので、そういった課題リストを作成し、何から議論していくのか、来年度も検討を続けるのであれば、整理してほしい。 			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の検討会でも指摘があり、今後、どこかの段階で課題については整理されると思うが、課題検討のプライオリティ、省内で検討の余地があるかどうかを含めて、整理をお願いする。 			

(参考3)平成25年度温室効果ガス排出量算定方法検討会廃棄物分科会の検討課題の整理結果一覧

※本表では、各課題の循環利用量調査改善検討会及び廃棄物分科会での対応状況について、対応済みの場合は「○」とし、対応中の場合は「×」とした。

番号	廃棄物分科会での課題	循環利用量調査改善検討会における対応状況	廃棄物分科会における対応状況	「循環利用量調査改善検討会における対応状況」において「×」となっているものに関する循環利用量調査改善検討会における今後の取扱い(案)
1	海洋投入された生分解性の災害廃棄物の分解に伴うCH ₄ ・N ₂ O排出	○ 平成25年度循環利用量調査改善検討会において、海洋投入された災害廃棄物の量を算出し、廃棄物分科会に提出したところである。	× 廃棄物分科会では、2006年IPCCガイドラインでは生分解性の固形廃棄物の海洋投入に伴うCH ₄ ・N ₂ O排出は算定対象となっていないこと、温室効果ガス排出量の算定に求められる精度での算出は現時点で困難であること、災害廃棄物の海洋投入は2011年度のみであり今後の算定精度向上のプライオリティも高くないと考えられることから、現時点では温室効果ガス排出量の算定には反映しないこととしている。	
2	【新】有機性廃棄物のコンポスト化に伴う排出における活動量が一部未把握の可能性が有る。	×	× 廃棄物分科会では、産業廃棄物のうち下水汚泥以外、及び有機廃棄物については、平成26年度に、添加物量の割合に関するヒアリング調査等により活動量の把握方法の検討を進めることとしている。	副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握可能性を検討する。 検討課題として整理 (4.5節参照)
3	特別管理産業廃棄物の焼却量については、2000年度以降調査データがない状況にあり、新たに調査をする等の措置を講じる必要がある。	×	×	特別管理産業廃棄物の焼却量の推計に必要な「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」は、産廃課において従来非公開扱いであったが、この度、公開扱いとなるため、同報告書を用いた特別管理産業廃棄物の焼却量の算出方法の改善案を検討する。 検討課題として整理 (4.4節参照)
4	産廃中の廃プラ類がガス化・油化された後に利用される際の排出量が未推計である。	○ 平成23年度循環利用量調査改善検討会において、「プラスチックのマテリアルフロー図」を用いて廃プラスチック類のガス化量及び油化量を算出し、廃棄物分科会に提供したところである。	× 廃棄物分科会では、循環利用量調査改善検討会において算出した廃プラスチック類のガス化量及び油化量を用いて、ガス化及び油化された廃プラスチック類の燃料利用に伴う温室効果ガス排出量を算定するには、解決すべき課題があり、引き続き温室効果ガス排出量が算定できていない排出源としており、今後、課題解決に必要な情報等について、廃棄物分科会から循環利用量調査改善検討会に提供することとなっている。	今後の廃棄物分科会での検討状況を踏まえ、必要に応じて検討する。 検討課題として整理
5	最終処分されるバイオマスプラスチックの分解に伴う排出量が未推計である。	○ そもそもの課題は、最終処分されるバイオマスプラスチックの分解に伴う排出量を推計することであるが、平成22年度循環利用量調査改善検討会において、製品別のバイオマスプラスチックの生産量を算出し、廃棄物分科会に提供したところである。	× そもそもの課題は、最終処分されるバイオマスプラスチックの分解に伴う排出量を推計することであるが、廃棄物分科会では、循環利用量調査改善検討会における検討結果として算出した製品別のバイオマスプラスチックの生産量を用いて温室効果ガス排出量を算定することとしているが、その際に用いる排出係数(バイオマスプラスチックの分解速度定数)を現時点では設定することができていない。 注)バイオマスプラスチックの組成や製品の形状等によって分解率が異なるため、現時点では算定に必要なバイオマスプラスチックのk値(分解速度定数(1/年))が設定できない。	

(参考 4)平成 20 年度循環利用量調査改善検討会における課題と改善策に対する対応状況

■循環基本計画フォローアップに活用する上での課題と改善策に対する対応状況 <短期に実施が望まれる課題と改善策に対する対応状況>

課題		改善策(○:改善できる、△:方法により改善が期待できる・間接的な効果が期待できる)	関係課	対応状況
【課題 1:精度向上】				
番号	(1)推計手法に起因する課題			
1	(ア) 都道府県、環境省の 2 度の推計を経て全国値を得るため、推計誤差が大きくなる。(産)	○国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度、一部地域について国が直接調査を行ったが、国において全国的な調査を継続的に実施することは実施体制や予算等の問題から困難であり、現時点では、都道府県が廃棄物処理基本計画の策定のために収集したデータを提供頂き、取りまとめ・拡大推計を行う現行のスキームが最も妥当であると考えている。 ただし、循環量利用調査検討会での議論を踏まえ、平成 21 年度に産業廃棄物課において有識者の方々と交えて産業廃棄物処理状況調査の改善に関する検討を行い、その結果として平成 22 年4月に産業廃棄物排出・処理実態調査指針の改定を行うなど、これまでも適宜必要な修正を行ってきたところ。 残された課題については、統計の連続性の問題等もあるが、引き続き検討を行っていく。 (※以下全ての項目について同じ) <ul style="list-style-type: none"> 都道府県において把握しきれないデータについては、国においても推計を行わざるを得ないと現時点では考えている。
2	(イ) 推計の基礎数値となる原単位のぶれが大きい。設定した原単位の妥当性の確認ができない。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) ○経済活動量指標として用いる統計量の妥当性を検証する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動量指標として用いる統計量の妥当性について検証済み。結論として、既存の指標より優れた指標が無く、現時点では最も妥当な推計方法と考えている。
3	(ウ) 中間処理以降のフローが把握しきれない。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 自治体の負担増となるため、現時点では調査項目の単純な追加は検討していないが、その代わりに、企画課広域係の循環利用量調査の中で、中間処理の比率を設定頂いているところ。
4	(エ) 発生源での自己処理フローが把握しきれない。(一、産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の自己中間処理量については、処理処分量の調査の中で把握している。
			廃対課	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の自家処理量については、調査の中で把握している。
5	(オ) あわせ産廃 がダブルカウントされている可能性がある。(一、産)	△現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理量ベースでの統計という性質上、これまで通り産廃課では都道府県による産業廃棄物実態調査により、調査票上、「市町村への処理委託」などとして把握している。(一般廃棄物統計における扱いは廃対課からお願いします)
			廃対課	<ul style="list-style-type: none"> 自治体が一般廃棄物として処理をしたものを調査し把握している。
番号	(2)廃棄物の取り扱いに起因する課題			
6	(ア) 計量されないなどの理由により重量で把握できないものは単位換算が必要となる。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 日本全国における排出量の推計において、重量換算にて統一して取り扱うことは必要と考えており、現時点では重量以外の指標での統計を行うことは検討していない。
7	(イ) 汚泥における水分量など、廃棄物量に大きく影響する変動要因がある。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 上水汚泥のデータは厚生労働省から、下水汚泥のデータは国土交通省から提供頂いており、一定の精度を有していると考えている。 それ以外の汚泥についても、廃棄物としての排出時点を各自自治体が判断して報告しているものであり、性質上水分量にある程度のばらつきが生じることは避けられず、現時点では現行の算定方法が最も妥当と考えている。
8	(ウ) 有価物と廃棄物とが分離されず計上されている可能性がある。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物統計は、あくまで自治体が産業廃棄物と判断したものについて自治体の報告を集めているもので、有価物として市場にて流通しているものは含まれていないと考えている。また、仮に他の自治体において有価と捉えられるものが含まれていたとして、ある自治体が現場の事情において廃棄物と判断し報告頂いた結果について、環境省として修正するところではない。

課題		改善策(○:改善できる、△:方法により改善が期待できる・間接的な効果が期待できる)	関係課	対応状況
番号	(3)事業者のデータ管理に起因する課題			
9	(ア) 廃棄物管理者のいない事業所では、社内で廃棄物データが管理されておらず、その結果、廃棄物量が把握できない場合がある。(一、産)		産廃課 廃対課	・ 各自治体にて集計頂く際には、manifestの公布状況報告等の他の情報も併せて用いて、可能な限りの推計を行って頂いていると認識している。 ・ 自治体で一般廃棄物として処理したものを調査で把握している。
10	(イ) 建設業は、国交省の建設副産物調査が並存し、このデータが産廃調査に準用される。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産)	産廃課	・ 図表 18 で整理頂いた通り、そもそも調査目的と調査手法が異なる調査であり、問題とは認識していない。 ・ 各自治体においては、manifestの公布状況報告等の他の情報も併せて用いて、可能な限りの推計を行って頂いていると認識している。
番号	(4)一般廃棄物に関する課題			
11	(ア) 統計上把握できない一般廃棄物がある。事業系一般廃棄物と産業廃棄物とで処理量が区別できない可能性がある。(一)	△国において全国的な調査を実施する。(一) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(一)	廃対課	・ 一般廃棄物の調査は、自治体が生活ごみ、事業系ごみとして回収、処理したものを調査把握している。
12	(イ) 焼却施設での組成調査データはあるが分類項目のまとめ方が大きく、細分化した組成データ類は把握できない。(一)		廃対課	・ ごみ組成分析は、昭和 52 年 11 月 4 日付け環整 95「一般廃棄物処理事業に対する指導に伴う留意事項について」に基づき実施しており、これ以上の細分化は出来ない。
番号	(5)現状反映性の改善に関する課題			
13	(ア) 毎年度調査ではないため、年度変化が捕捉できない。(産)	△全国版の廃棄物統計について簡易推計を行い、早期公表する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	・ 行政ニーズと自治体の負担との兼ね合いから現状のスタイルを取っており、本統計調査のために自治体に毎年度の調査を強制する等、単純に負担増につながるような方向性での検討は現時点では行っていない。
14	(イ) 事業者間で取り組みに大きな差異がある場合、標本調査では、現状を十分に結果に反映できない。(産)	△現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △産業界による廃棄物関連統計や処理実績情報を有効活用する。(産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	・ 行政ニーズと自治体の負担との兼ね合いから現状のスタイルを取っており、本統計調査のために自治体に毎年度の調査を強制する等、単純に負担増につながるような方向性での検討は現時点では行っていない。
番号	(6)その他			
15	(ア) 迅速化とトレードオフの関係にある。(産)	○国において全国的な調査を実施する。(産)	産廃課	・ 公表時期の早期化については、既に取り組んでおり、近年は概要の報道発表は調査年度の12月に、報告書の公表も調査年度の3月には公表している。 ・ 既存のデータを活用した推計方法の精度向上、迅速化については、引き続き検討する。
【課題 2:迅速化】				
番号	(1)推計手法に起因する課題			
16	(ア) 事業者からの報告・回答が遅延しがちで、また複数次におよぶデータチェック・確認作業が発生し、これに膨大な時間と作業量を要している。(産)	○全国版の廃棄物統計について簡易推計を行い、早期公表する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △回答精度向上のため、排出事業者に対する廃棄物統計説明会を開催する。(産) ○集計作業に早期着手する。(一、産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	・ 民間事業者の作業上の物理的な制約から、厳しい締切での統計調査であることは認識しているが、温室効果ガスインベントリ算出のためのデータ提供、迅速化の行政ニーズがあることから1年前の速報値も求めることにしたものであり、一定の限界があることは致し方ないと考えている。 ・ 昨年のデータと比較を行う事による異常値の早期検出等、請負業者との相談を通じて、これまでも可能な範囲で改善のための検討を随時行っているところ。
17	(イ) わが国の産業廃棄物量を得るため、都道府県と環境省、2度の推計を経なければならない。(産)	○国において全国的な調査を実施する。(産) ○全国版の廃棄物統計について簡易推計を行い、早期公表する。(産) △現行の廃棄物統計が抱える課題を、環境省と地方自治体とで共有する。(一、産) △廃棄物統計の課題改善に向けたチェックポイントを整理、共有する。(産)	産廃課	・ 都道府県において把握しきれないデータについては、国においても推計を行わざるを得ない。 ・ 公表時期の早期化については、既に取り組んでおり、近年は概要の報道発表は調査年度の12月に、報告書の公表も調査年度の3月には公表している。
18	(ウ) 都道府県で統計項目等が統一されておらず、全国版集計時にはその調整が必要である。(産)	○国において全国的な調査を実施する。(産)	産廃課	・ 行政ニーズと自治体の負担との兼ね合いから現状のスタイルを取っており、単純に負担増につながるような方向性での検討は現時点では行っていない。
番号	(2)その他			
19	(ア) 精度向上や現状反映性の改善とトレードオフの関係にある。(産)	△国において全国的な調査を実施する。(産)	産廃課	・ 行政ニーズと自治体の負担との兼ね合いから現状のスタイルを取っており、単純に負担増につながるような方向性での検討は現時点では行っていない。 ・ 公表時期の早期化については、既に取り組んでおり、近年は概要の報道発表は調査年度の12月に、報告書の公表も調査年度の3月には公表している。
20	(イ) 都道府県側で十分な調査体制を確保することがむずかしい。(産)	○国において全国的な調査を実施する。(産)	産廃課	・ 行政ニーズと自治体の負担との兼ね合いから現状のスタイルを取っており、単純に負担増につながるような方向性での検討は現時点では行っていない。

■循環基本計画フォローアップに活用する上での課題と改善策に対する対応状況 <中長期的に実施が望まれる課題と改善策に対する対応状況(今後3~5年程度を目安に実施が望まれる課題と改善策に対する対応状況)>

番号	課題	改善策	対応状況				
			関係課				
21	都道府県、環境省の2度の推計を経て全国値を得るため、推計誤差が大きくなる。(産)	多量排出事業者実施状況報告書を最大限活用する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 多量排出事業者実施状況報告書や許可業者実績報告、産業廃棄物管理票の交付状況報告等、既存のデータを活用した統計手法については、産業廃棄物管理票の交付状況報告等、その他のデータとの組み合わせも含めて、当課において現在検討を行っているところ。 ただし、多量排出事業者実施報告書のみでは一部しか把握出来ない、許可業者実績報告はあくまで任意の調査、産業廃棄物管理票の交付状況報告は半分程度の自治体からしか報告が上がって来ていないなど、現時点では課題も残っており、代替手法として確立出来ているとは言えない状況のため、産業廃棄物排出・処理状況調査は継続しつつ、引き続き中・長期的な課題として検討を続ける。 			
	推計の基礎数値となる原単位のぶれが大きい。設定した原単位の妥当性の確認ができない。(産)						
	中間処理以降のフローが把握しきれない。(産)						
	発生源での自己処理フローが把握しきれない。(一、産)						
	計量されないなどの理由により重量で把握できないものは単位換算が必要となる。(産)						
	汚泥における水分量など、廃棄物量に大きく影響する変動要因がある。(産)						
	有価物と廃棄物とが分離されず計上されている可能性がある。(産)						
	廃棄物管理者のいない事業所では、社内で廃棄物データが管理されておらず、その結果、廃棄物量が把握できない場合がある。(一、産)						
	建設業は、国交省の建設副産物調査が並存し、このデータが産廃調査に準用される。(産)						
	毎年度調査ではないため、年度変化が捕捉できない。(産)						
	事業者間で取り組みに大きな差異がある場合、標本調査では、現状を十分に結果に反映できない。(産)						
	迅速化とトレードオフの関係にある。(産)						
	事業者からの報告・回答が遅延しがちで、また複数次におよぶデータチェック・確認作業が発生し、これに膨大な時間と作業量を要している。(産)						
	わが国の産業廃棄物量を得るため、都道府県と環境省、2度の推計を経なければならない。(産)						
	精度向上や現状反映性の改善とトレードオフの関係にある。(産)						
	都道府県側で十分な調査体制を確保することがむずかしい。(産)						
	都道府県、環境省の2度の推計を経て全国値を得るため、推計誤差が大きくなる。(産)				許可業者実績報告を最大限活用する。(産)	産廃課	<ul style="list-style-type: none"> 多量排出事業者実施状況報告書や許可業者実績報告、産業廃棄物管理票の交付状況報告等、既存のデータを活用した統計手法については、産業廃棄物管理票の交付状況報告等、その他のデータとの組み合わせも含めて、当課において現在検討を行っているところ。 ただし、多量排出事業者実施報告書のみでは一部しか把握出来ない、許可業者実績報告はあくまで任意の調査、産業廃棄物管理票の交付状況報告は半分程度の自治体からしか報告が上がって来ていないなど、現時点では課題も残っており、代替手法として確立出来ているとは言えない状況のため、産業廃棄物排出・処理状況調査は継続しつつ、引き続き中・長期的な課題として検討を続ける。
	推計の基礎数値となる原単位のぶれが大きい。設定した原単位の妥当性の確認ができない。(産)						
	中間処理以降のフローが把握しきれない。(産)						
	発生源での自己処理フローが把握しきれない。(一、産)						
計量されないなどの理由により重量で把握できないものは単位換算が必要となる。(産)							
汚泥における水分量など、廃棄物量に大きく影響する変動要因がある。(産)							
有価物と廃棄物とが分離されず計上されている可能性がある。(産)							
廃棄物管理者のいない事業所では、社内で廃棄物データが管理されておらず、その結果、廃棄物量が把握できない場合がある。(一、産)							
建設業は、国交省の建設副産物調査が並存し、このデータが産廃調査に準用される。(産)							
毎年度調査ではないため、年度変化が捕捉できない。(産)							
事業者間で取り組みに大きな差異がある場合、標本調査では、現状を十分に結果に反映できない。(産)							
迅速化とトレードオフの関係にある。(産)							
事業者からの報告・回答が遅延しがちで、また複数次におよぶデータチェック・確認作業が発生し、これに膨大な時間と作業量を要している。(産)							
わが国の産業廃棄物量を得るため、都道府県と環境省、2度の推計を経なければならない。(産)							
精度向上や現状反映性の改善とトレードオフの関係にある。(産)							
都道府県側で十分な調査体制を確保することがむずかしい。(産)							

1.3 検討会での検討経過

循環利用量調査改善検討会における検討委員名簿は以下のとおりである。

(1) 委員名簿

(委員)

座長	松本 亨	北九州市立大学国際環境工学部 教授
	小島 政章	株式会社竹中工務店生産本部技師長
	近藤 康之	早稲田大学政治経済学術院 教授
	阪口 修	一般社団法人 プラスチック循環利用協会 調査研究部長
	立尾 浩一	一般財団法人日本環境衛生センター東日本支局環境工学部調査課 課長
	谷川 昇	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 調査部長
	橋本 征二	立命館大学理工学部環境システム工学科 教授
	古山 輝夫	新日鐵住金株式会社 環境部 環境技術室 主幹
	細川 浩之	一般社団法人 セメント協会 生産・環境部門 リーダー
	茂木 敏	東京都環境局廃棄物対策部資源循環推進課 処理技術担当 係長
	渡邊 泰至	宮城県環境生活部震災廃棄物対策課 技術副参事兼技術補佐 (総括担当)

(環境省)

	望月 時男	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環指標情報分析官
	宮本 修治	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課課長補佐 (～H26. 10. 31)
	中川 健一	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課環境調査専門員 (H26. 10. 1～)
		大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課
		大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課
		地球環境局総務課低炭素社会推進室

(厚生労働省)

健康局水道課

(農林水産省)

大臣官房統計部統計企画管理官付

(経済産業省)

産業技術環境局リサイクル推進課

(国土交通省)

水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

(独立行政法人国立環境研究所)

温室効果ガスインベントリオフィス

(事務局)

株式会社 数理計画

(2) 検討経過

循環利用量調査改善検討会の検討経過（開催日程及び議題）は下表のとおりである。

表 1 平成26年度循環利用量調査改善検討会 検討経過

開催日程	議 題
第 1 回 平成 26 年 7 月 28 日 (月) 15 : 00～17 : 00	(1) 平成 26 年度循環利用量調査改善検討会実施計画案について (2) 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案 (3) その他 ・食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等との比較について(報告) ・廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量(速報値)の算出方法について(報告)
第 2 回 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 13 : 30～15 : 30	(1) 第1回検討会指摘事項を踏まえた資料の修正について (2) 循環利用量調査改善検討会実施計画の見直しについて (3) 廃棄物等発生量の平成 24 年度の確定値について (4) 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の比較結果について (5) その他 ・循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について(報告) ・廃棄物分科会における副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握について(報告) ・平成 25 年度廃棄物等の量(速報値)の算出にあたって必要となる関連統計の入手状況・見込みについて(報告)
第 3 回 平成 27 年 3 月 13 日 (金) 15 : 00～17 : 00	(1) 温室効果ガス排出インベントリに算出用に提供する平成 25 年度廃棄物等の量(速報値)の算出方法について ・温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成 25 年度廃棄物等の量(速報値)の算出にあたって必要となる関連統計の入手状況 ・廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成 25 年度速報値の推計結果 ・廃棄物等発生量の平成 25 年度速報値の算出方法 (2) 廃棄物等発生量の平成 25 年度速報値の算出結果 (3) 温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成 25 年度速報値の算出結果 (4) 第2回検討会指摘事項を踏まえた資料の修正について (5) 平成 26 年度循環利用量調査改善検討会報告書(案)

1.4 検討会での検討の成果

(ア) 平成24年度廃棄物等の量（確定値）の算出

- ・平成24年度の廃棄物等の量（確定値）を算出した。
- ・災害廃棄物の平成24年度確定値を算出するにあたり、収集区分別内訳比率の適用方法及び品目別内訳比率の設定を見直した。

(イ) 廃棄物分野における温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する平成25年度廃棄物等の量（速報値）の算出

- ・平成25年度の廃棄物等の量（速報値）を算出した。
- ・廃棄物分野における温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供するため、平成25年度速報値の取りまとめを行った。

(ウ) 上記(ア)を算出するに当たって検討すべき事項

- ・特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案を策定した。

(エ) その他

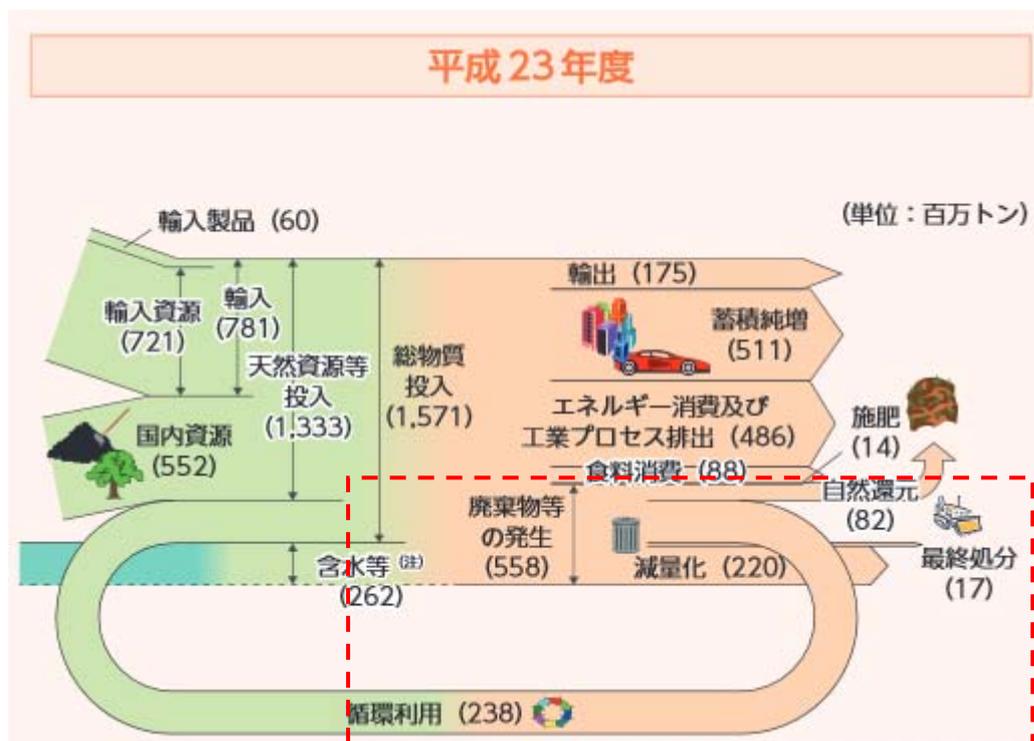
- ・食品廃棄物等に関する「循環利用量調査」と「食品循環資源の再生利用等実態調査等」（農林水産省）の定義、把握対象を整理するとともに、推計値による量の比較を行い、業種別に量の差異を確認した。
- ・廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値の推計に関し、推計に用いるアルミ缶材出荷量及び使用済み飲料缶（UBC）価格の関係について確認し、アルミ缶の平成25年度速報値を算出した。
- ・本調査及びPETボトルリサイクル推進協議会推計値の差について整理すると共に、本調査におけるペットボトルの分類、PETボトルリサイクル推進協議会推計値におけるペットボトルの対象について確認した。
- ・環境省統計と経団連統計等関連統計を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値・平成23年度値・平成24年度値を比較・整理することで、その差を明らかにするとともに、関連する過去データの修正状況を整理した。

2 迅速化対応

2.1 廃棄物等循環利用量と物質フローとの関連性

廃棄物等循環利用量は、「循環型社会形成推進基本計画の策定及び毎年度の進捗状況点検等」（以下、「循環資源フロー」という。）、「廃棄物分野における温室効果ガス排出量削減目標の達成度を評価する資料」（インベントリ算定資料）、環境白書等に活用される。

平成 23 年度のがが国の物質フローは次のとおりであり、本調査は破線部分を算出している。



※出典 「平成 26 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」

図 1 平成 23 年度のがが国物質フロー

2.2 廃棄物等循環利用量の算出フロー

廃棄物等循環利用量の算出フローは図 2 のとおりである。

一般廃棄物（ごみ、し尿）は「一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）」を、産業廃棄物は「産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）」を用いて廃棄物量を把握し、把握できない「有償物」等や焼却量、詳細な循環資源の内容については他の業界等の統計データを活用することで、廃棄物等の循環利用量を算出している。

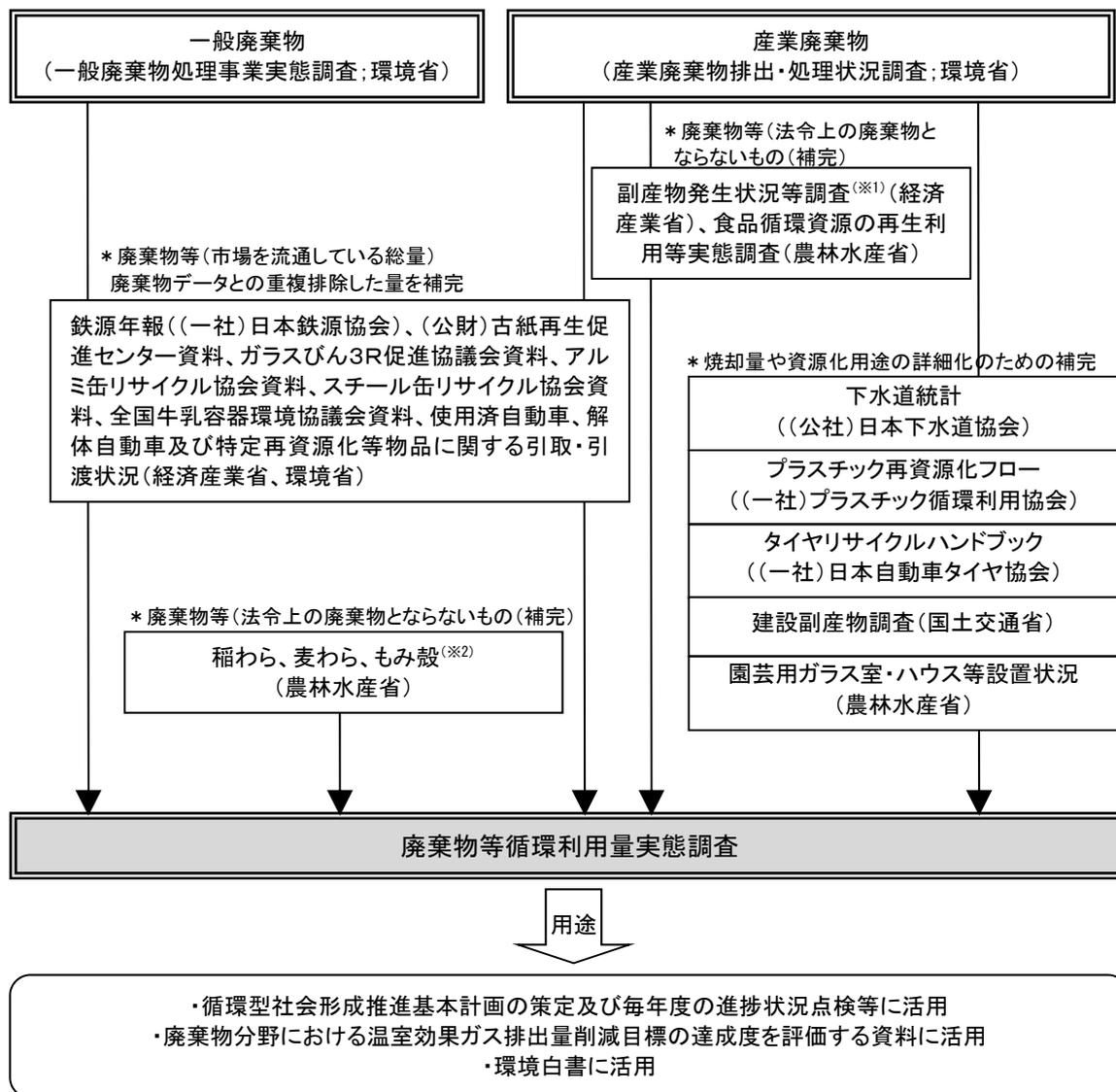


図 2 廃棄物等循環利用量の算出フロー

※1.「副産物発生状況等調査」は「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有償発生物)発生状況等に関する調査」(経済産業省)をいい、平成 26 年度まで毎年度実施されてきている。

※2.動物のふん尿など量の大きなものは産業廃棄物統計に含まれている。

2.3 循環利用量の算出に必要な統計資料

循環利用量の算出にあたっては表 2 に整理した統計資料を利用した。

表 2 循環利用量の算出に必要な統計データ

用途	循環利用量算定に必要な統計資料名		循環利用量の算出に用いる統計データ	循環利用量算出における統計データの活用方法	
基本データ	A	一般廃棄物処理事業実態調査	環境省	排出量、処理量全般	基本統計として活用
	B	産業廃棄物排出・処理状況調査	環境省	排出量、処理量全般 ※特別管理産業廃棄物(廃油・感染性廃棄物)の減量化量を含む	基本統計として活用
未把握の補完	1	資源有効利用促進法施行状況調査・産業分類別の副産物(産業廃棄物・有効発生物)発生状況等に関する調査	経済産業省	燃えがら、汚泥(スラッジ)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん	廃棄物等のうち有償物量を算出・加算
	2	作物統計(作物別作付(栽培)面積)	農林水産省	稲わら、もみ殻、麦わら	全量加算(業種指定以外のため産業廃棄物に含まれず)
未把握・資源化用途詳細化	3	鉄源年報	(一社)日本鉄源協会	産業機械類等に由来する金属スクラップ	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	4	生産動態統計	経済産業省	産業機械類等に由来する金属スクラップ	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	5	古紙需給統計、製紙向け以外の古紙利用製品に関する調査報告書	(公財)古紙再生促進センター	古紙	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	6	ガラスびんのマテリアルフロー、発生源別あきびん回収量の推移	ガラスびん3R促進協議会	ガラスびん	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	7	アルミ缶再生利用フロー	アルミ缶リサイクル協会	アルミ缶	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	8	スチール缶リサイクルの全体フロー	スチール缶リサイクル協会	スチール缶	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	9	紙パックマテリアルフロー	全国牛乳容器環境協議会	飲料用紙容器	市町村未関与量及び有償物量を算出・加算
	10	使用済み自動車、解体自動車及び特定再資源化等物品に関する引取り・引渡し状況	経済産業省・環境省	廃自動車	有償物である回収金属量を算出・加算
	11	下水道統計	(公社)日本下水道協会	下水汚泥	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
	12	プラスチック再資源化フロー	(一社)プラスチック循環利用協会	廃プラスチック	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
	13	廃タイヤ(使用済みタイヤ)リサイクルの状況	(一社)日本自動車タイヤ協会	廃タイヤ	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
	14	食品循環資源の再生利用等実態調査	農林水産省	食品廃棄物	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
	15	建設副産物実態調査	国土交通省	アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物	産業廃棄物との重複分の確認用に引用
	16	園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する調査	農林水産省	農業用プラスチック	詳細表で産業廃棄物内訳として引用
ごみ品目別の按分比の設定	17	容器包装廃棄物の使用・排出実態調査	環境省	家庭系ごみ品目別割合	家庭系一般廃棄物(粗大ごみ以外)の品目別細分化に活用
	18	事業系ごみ組成調査	東京二十三区清掃一部事務組合	事業系ごみ品目別割合	事業系一般廃棄物の品目別細分化に活用
	19	ごみ処理施設構造指針解説	(公社)全国都市清掃会議	粗大ごみ品目別割合	家庭系一般廃棄物(粗大ごみ)の品目別細分化に活用

2.4 循環利用量の算出スケジュール

循環利用量の値は、平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値をそれぞれ 11 月中旬、3 月中旬に算出した。詳細なスケジュールを図 3 に示した。

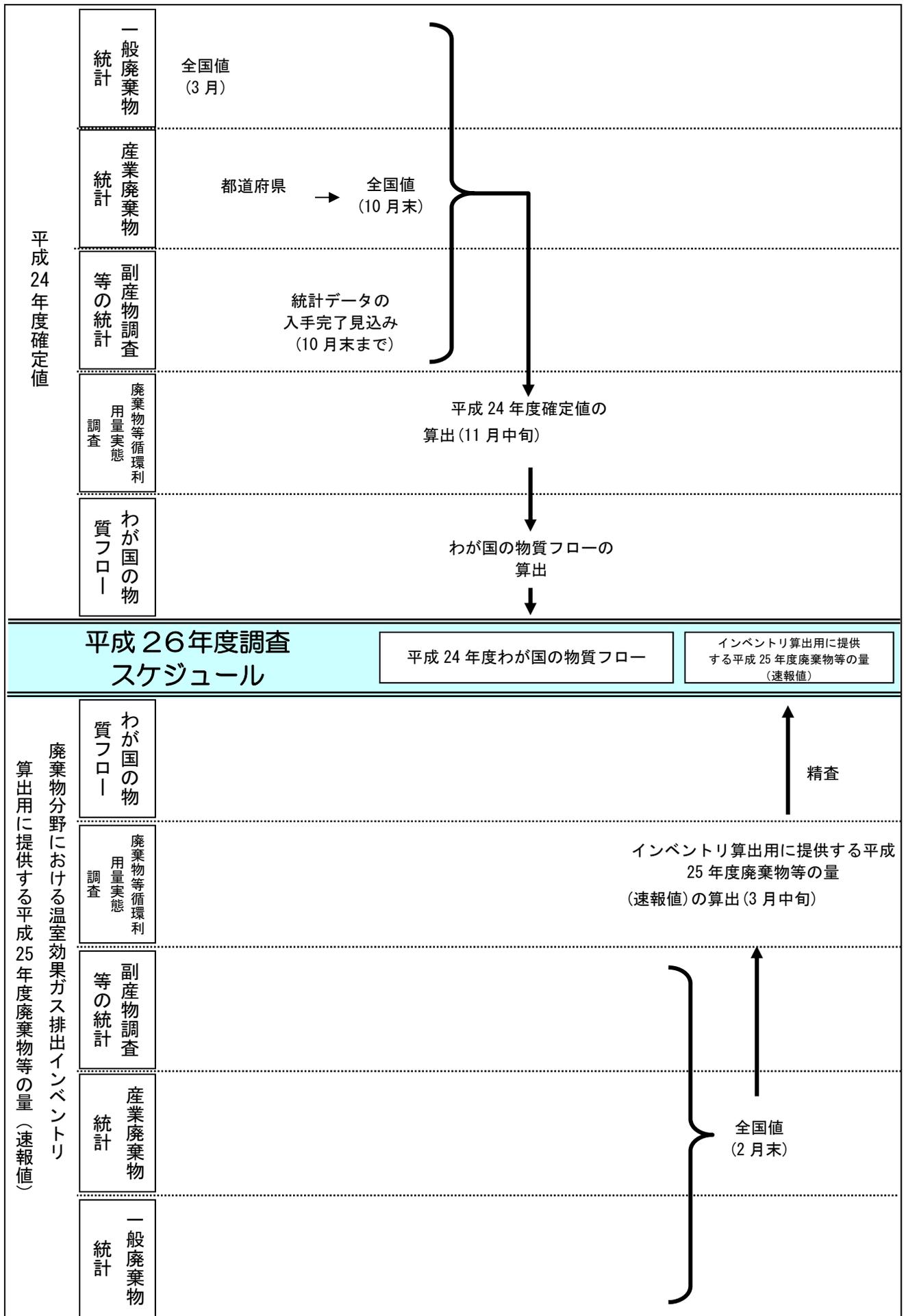


図 3 平成 26 年度廃棄物等循環利用量算出スケジュール

2.5 平成24年度確定値の算出

(1) 廃棄物等発生量の平成24年度の確定値

平成24年度における廃棄物等（災害廃棄物を含む）の発生量の合計は56,628万トン/年であった。その内訳として、一般廃棄物のごみの発生量は4,528万トン/年（全体の約8%）、災害廃棄物の発生量は1,209万トン/年（全体の約2%）、一般廃棄物のし尿（し尿・浄化槽汚泥）の発生量は2,075万トン/年（全体の約4%）、産業廃棄物の発生量は37,914万トン/年（全体の約67%）、廃棄物統計外の廃棄物等の「等」の発生量は10,903万トン/年（全体の約19%）であった。

表 3 廃棄物等発生量の平成24年度の確定値²

廃棄物等の発生																																																																																																																																														
56,628万t/年																																																																																																																																														
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 33%;">一般廃棄物</th> <th style="width: 33%;">産業廃棄物</th> <th style="width: 33%;">「等」</th> </tr> <tr> <td>計</td> <td>計</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>7,812</td> <td>37,914</td> <td>10,903</td> </tr> </table>		一般廃棄物	産業廃棄物	「等」	計	計	計	7,812	37,914	10,903																																																																																																																																				
一般廃棄物	産業廃棄物	「等」																																																																																																																																												
計	計	計																																																																																																																																												
7,812	37,914	10,903																																																																																																																																												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 33%;">一般廃棄物</th> <th style="width: 33%;">産業廃棄物</th> <th style="width: 33%;">「等」</th> </tr> <tr> <td>計</td> <td>計</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>7,812</td> <td>37,914</td> <td>10,903</td> </tr> <tr> <td>ごみ小計</td> <td>燃え殻</td> <td>ガラスびん</td> </tr> <tr> <td>4,528</td> <td>187</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>紙</td> <td>汚泥</td> <td>アルミ缶</td> </tr> <tr> <td>1,765</td> <td>16,464</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>廃油</td> <td>スチール缶</td> </tr> <tr> <td>172</td> <td>321</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>廃酸</td> <td>飲料用紙容器</td> </tr> <tr> <td>131</td> <td>260</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>廃アルカリ</td> <td>古紙</td> </tr> <tr> <td>52</td> <td>178</td> <td>1,089</td> </tr> <tr> <td>プラスチック</td> <td>廃プラスチック類</td> <td>自動車</td> </tr> <tr> <td>421</td> <td>569</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>厨芥</td> <td>紙くず</td> <td>稲わら</td> </tr> <tr> <td>1,447</td> <td>102</td> <td>855</td> </tr> <tr> <td>繊維</td> <td>木くず</td> <td>麦わら</td> </tr> <tr> <td>139</td> <td>623</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>木竹草類等</td> <td>繊維くず</td> <td>もみがら</td> </tr> <tr> <td>276</td> <td>7</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>陶磁器類等</td> <td>動植物性残さ</td> <td>(副産物)廃油</td> </tr> <tr> <td>125</td> <td>264</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>災害廃棄物</td> <td>ゴムくず</td> <td>(副産物)廃プラスチック類</td> </tr> <tr> <td>1,209</td> <td>3</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>し尿</td> <td>金属くず</td> <td>(副産物)紙くず</td> </tr> <tr> <td>2,075</td> <td>727</td> <td>566</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラスくず陶磁器くず</td> <td>(副産物)木くず</td> </tr> <tr> <td></td> <td>608</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋳さい</td> <td>(副産物)繊維くず</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,640</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>がれき類</td> <td>(副産物)動植物性残さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,889</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ばいじん</td> <td>(副産物)金属くず</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,514</td> <td>874</td> </tr> <tr> <td></td> <td>動物のふん尿</td> <td>(副産物)ガラスくず陶磁器くず</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8,543</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td></td> <td>動物の死体</td> <td>(副産物)鋳さい</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15</td> <td>3,511</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(副産物)動物のふん尿</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(副産物)動物の死体</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(副産物)ばいじん</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>201</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>産業機械等に由来する金属スクラップ²</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,347</td> </tr> </table>		一般廃棄物	産業廃棄物	「等」	計	計	計	7,812	37,914	10,903	ごみ小計	燃え殻	ガラスびん	4,528	187	129	紙	汚泥	アルミ缶	1,765	16,464	4	金属	廃油	スチール缶	172	321	43	ガラス	廃酸	飲料用紙容器	131	260	4	ペットボトル	廃アルカリ	古紙	52	178	1,089	プラスチック	廃プラスチック類	自動車	421	569	285	厨芥	紙くず	稲わら	1,447	102	855	繊維	木くず	麦わら	139	623	105	木竹草類等	繊維くず	もみがら	276	7	187	陶磁器類等	動植物性残さ	(副産物)廃油	125	264	24	災害廃棄物	ゴムくず	(副産物)廃プラスチック類	1,209	3	87	し尿	金属くず	(副産物)紙くず	2,075	727	566		ガラスくず陶磁器くず	(副産物)木くず		608	151		鋳さい	(副産物)繊維くず		1,640	0.3		がれき類	(副産物)動植物性残さ		5,889	138		ばいじん	(副産物)金属くず		1,514	874		動物のふん尿	(副産物)ガラスくず陶磁器くず		8,543	289		動物の死体	(副産物)鋳さい		15	3,511			(副産物)動物のふん尿			14			(副産物)動物の死体			0.1			(副産物)ばいじん			201			産業機械等に由来する金属スクラップ ²			2,347
一般廃棄物	産業廃棄物	「等」																																																																																																																																												
計	計	計																																																																																																																																												
7,812	37,914	10,903																																																																																																																																												
ごみ小計	燃え殻	ガラスびん																																																																																																																																												
4,528	187	129																																																																																																																																												
紙	汚泥	アルミ缶																																																																																																																																												
1,765	16,464	4																																																																																																																																												
金属	廃油	スチール缶																																																																																																																																												
172	321	43																																																																																																																																												
ガラス	廃酸	飲料用紙容器																																																																																																																																												
131	260	4																																																																																																																																												
ペットボトル	廃アルカリ	古紙																																																																																																																																												
52	178	1,089																																																																																																																																												
プラスチック	廃プラスチック類	自動車																																																																																																																																												
421	569	285																																																																																																																																												
厨芥	紙くず	稲わら																																																																																																																																												
1,447	102	855																																																																																																																																												
繊維	木くず	麦わら																																																																																																																																												
139	623	105																																																																																																																																												
木竹草類等	繊維くず	もみがら																																																																																																																																												
276	7	187																																																																																																																																												
陶磁器類等	動植物性残さ	(副産物)廃油																																																																																																																																												
125	264	24																																																																																																																																												
災害廃棄物	ゴムくず	(副産物)廃プラスチック類																																																																																																																																												
1,209	3	87																																																																																																																																												
し尿	金属くず	(副産物)紙くず																																																																																																																																												
2,075	727	566																																																																																																																																												
	ガラスくず陶磁器くず	(副産物)木くず																																																																																																																																												
	608	151																																																																																																																																												
	鋳さい	(副産物)繊維くず																																																																																																																																												
	1,640	0.3																																																																																																																																												
	がれき類	(副産物)動植物性残さ																																																																																																																																												
	5,889	138																																																																																																																																												
	ばいじん	(副産物)金属くず																																																																																																																																												
	1,514	874																																																																																																																																												
	動物のふん尿	(副産物)ガラスくず陶磁器くず																																																																																																																																												
	8,543	289																																																																																																																																												
	動物の死体	(副産物)鋳さい																																																																																																																																												
	15	3,511																																																																																																																																												
		(副産物)動物のふん尿																																																																																																																																												
		14																																																																																																																																												
		(副産物)動物の死体																																																																																																																																												
		0.1																																																																																																																																												
		(副産物)ばいじん																																																																																																																																												
		201																																																																																																																																												
		産業機械等に由来する金属スクラップ ²																																																																																																																																												
		2,347																																																																																																																																												

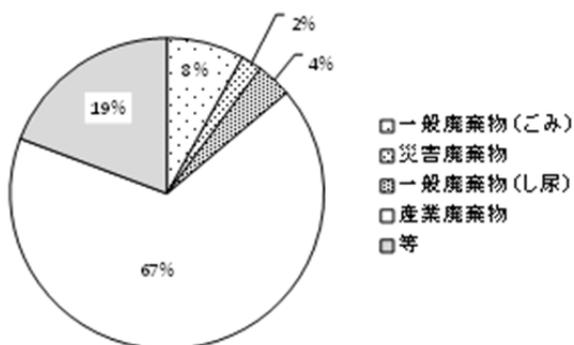


図 4 廃棄物等の発生状況(平成24年度確定値)

² 廃棄物等の「等」の自動車は、使用済み自動車の解体に伴い発生し、回収された鉄・非鉄金属のうち、廃棄物統計では把握されていない鉄・非鉄金属の量(破砕業者及び解体業者からの引取量)を集計している。(以降の廃棄物等の「等」の自動車についても全て同じ定義)

(2) 廃棄物等の「等」の発生量の平成24年度の確定値

廃棄物等発生量のうち廃棄物等の「等」の平成24年度確定値は表4のとおりである。また、算出方法の詳細は次頁のとおりである。

表4 廃棄物等の「等」の発生量の平成24年度の確定値

(単位:千t/年)

	算出方法分類	H24確定値			
		廃棄物等の量 A	副産物調査にあっては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあっては廃棄物及び他の項目との重複量 B	「等」の量 C=A-B	
副産物調査※1 H24年度確定値	①	燃えがら	1,629	1,827	0
		汚泥(スラッジ)	13,687	59,582	0
		廃油	2,842	2,605	237
		廃酸	2,271	2,549	0
		廃アルカリ	1,460	1,680	0
		廃プラスチック類	3,940	3,068	872
		紙くず	6,392	730	5,662
		木くず	2,670	1,159	1,511
		繊維くず	22	19	3
		動植物性残さ	4,011	2,628	1,383
		ゴムくず	7	22	0
		金属くず	14,556	5,816	8,740
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6,922	4,034	2,888
		鋳さい	51,163	16,051	35,112
		がれき類	102	1,492	0
		動物のふん尿	137	0	137
		動物の死体	1	0	1
ばいじん	17,121	15,114	2,007		
古紙	②	21,998	11,112	10,886	
産業機械類等に由来する金属スクラップ	②	43,898	20,432	23,466	
稲わら	③	-	-	8,549	
麦わら		-	-	1,053	
もみがら		-	-	1,867	
ガラスびん	④	-	-	1,291	
アルミ缶		-	-	35	
スチール缶		-	-	432	
飲料用紙容器		-	-	42	
自動車		-	-	2,851	
合計				109,027	

(算出方法分類)

- ① 副産物調査の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ② 副産物調査以外の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ③ 国内で発生した全量(統計値の全量)を廃棄物等の「等」とみなす。
- ④ 統計値のうちの一部の数値を廃棄物等の「等」とみなす。

※1 副産物調査:「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(経済産業省)」

※2 副産物調査、古紙及び産業機械等に由来する金属スクラップのA及びそれ以外の品目のCの値は次の統計資料による。

- ・副産物調査の各品目:経済産業省「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(H24年度確定値)」
- ・自動車:経済産業省・環境省「使用済自動車、解体自動車及び特定再資源化物品に関する引取・引渡状況の公表について」
- ・稲わら、麦わら、もみがら:農林水産省生産局生産流通振興課資料
- ・その他:関連業界団体公表の統計資料

表 5 廃棄物等の「等」の発生量の平成24年度の確定値の算出方法

(単位:千t)

算出方法	分類	A 廃棄物等の量		B 副産物調査にあっては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあっては廃棄物及び他の項目との重複量		C 「等」の量 (=A-B)		重複排除の考え方(*14)	
		量	説明	量	説明	量	説明		
副産物調査*1	①	燃えがら	1,629	経産省副産物調査発生量	*1	1,827	産業統計排出量のうち製造業、電気・ガス業分	*2	付加価値の高い副産物で、発生段階で未処理かつ有償で市場を流通しているものが存在しており、これらは廃棄物統計に含まれていない。
		汚泥	13,687	〃	*1	59,582	〃	*2	
		廃油	2,842	〃	*1	2,605	〃	*2	
		廃酸	2,271	〃	*1	2,549	〃	*2	
		廃アルカリ	1,460	〃	*1	1,680	〃	*2	
		廃プラスチック類	3,940	〃	*1	3,068	〃	*2	
		紙くず	6,392	〃	*1	730	〃	*2	
		木くず	2,670	〃	*1	1,159	〃	*2	
		繊維くず	22	〃	*1	19	〃	*2	
		動植物性残さ	4,011	〃	*1	2,628	〃	*2	
		ゴムくず	7	〃	*1	22	〃	*2	
		金属くず	14,556	〃	*1	5,816	〃	*2	
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6,922	〃	*1	4,034	〃	*2	
		鉱さい	51,163	〃	*1	16,051	〃	*2	
		がれき類	102	〃	*1	1,492	〃	*2	
		動物のふん尿	137	〃	*1	0	〃	*2	
		動物の死体	1	〃	*1	0	〃	*2	
ばいじん	17,121	〃	*1	15,114	〃	*2			
古紙	小計	21,998		11,112		10,886		家庭から持ち紙交換者によって回収される量や事業所から専門買出人、坪上業者によって回収される量については廃棄物統計に含まれていない。	
産業機械類等に由来する金属スクラップ	②	16,770	古紙消費量	*3	4,848	一般廃棄物の紙リサイクル量	*4	副産物調査では、主として副産物(平常時に発生するもの)が把握対象となっているため産業由来のスクラップのうち、機械類・建築からのスクラップがカウントされていないと考えられる。	
		299	製紙原料以外の分野における古紙利用製品の生産・古紙利用量	*3	560	産業廃棄物の紙くずマテリアルリサイクル量	*5		
		4,929	古紙の輸出量	*3	42	飲料用紙容器の「等」の量			
		43,898			5,662	副産物調査の紙くずの「等」の量			
		13,352	自家発生鉄スクラップ	*6	20,432		23,466		
		6,277	加工スクラップ	*6	963	一般廃棄物の金属リサイクル量	*4		
		20,842	老廃スクラップ	*6	7,103	産業廃棄物の金属くずマテリアルリサイクル量	*5		
208	輸入スクラップ	*6	35	アルミ缶の「等」の量					
3,219	アルミニウムくず、アルミニウム滓、銅くず、再生亜鉛	*7	432	スチール缶の「等」の量					
			2,851	廃自動車の「等」の量					
			8,740	副産物調査の金属くずの「等」量					
			305	災害廃棄物の金属くずのマテリアルリサイクル量	*4	災害廃棄物との重複排除	*14	一廃統計の災害廃棄物のうち金属くずの直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。	
			1	災害廃棄物の自動車のマテリアルリサイクル量	*4	災害廃棄物との重複排除	*14	一廃統計の災害廃棄物のうち自動車の直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、「等」の廃自動車と同様鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。	
			2	災害廃棄物の「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を品目別に按分した推計結果のうち金属くずのマテリアル	*4	災害廃棄物との重複排除	*14	一廃統計の災害廃棄物のうち「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」のうち、金属くずの直接資源化量と処理後再生利用量の合計値は、鉄源年報及び生産動態統計に含まれているため、重複排除する。	
稲わら	③	-	-	-	-	8,549	H17稲わら量より作付面積でH24量を推計	*8	農業から発生する稲わら、麦わら、もみがらは副産物であるため廃棄物統計には含まれていない。
麦わら		-	-	-	-	1,053	H17麦わら量より収穫量でH24量を推計	*8	
もみがら		-	-	-	-	1,867	H17もみがら量より作付面積でH24量を推計	*8	
ガラスびん		小計	-	-	-	-	1,291		
						1,057	リターナブルびん使用量	*9	酒販売店・スーパー等を経由して回収されるリターナブルびんは廃棄物統計には含まれていない。
						234	事業系回収量のうち廃棄量を差し引いた量	*9	事業所から排出されるガラスびんのうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
アルミ缶	④	小計	-	-	-	35			
						20	ボトラー・清掃事業者からの回収量	*10	事業所から排出されるアルミ缶のうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
						15	拠点回収(スーパー、コンビニ等)量	*10	拠点回収による回収分については廃棄物統計で把握されていない。
スチール缶						432	民間処理業者回収量	*11	事業所から排出されるスチール缶のうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
飲料用紙容器		小計	-	-	-	-	42		
						33	店頭回収(スーパー等)量	*12	生協・スーパー等による店頭回収量については廃棄物統計に含まれていない。
						9	事業系回収(学校給食)量	*12	学校給食からの回収量については廃棄物統計に含まれていない。
廃自動車	小計	-	-	-	-	2,851			
						2,699	破砕業者からの引取量	*13	使用済み自動車のうち、輸出される自動車については発生量に含めない。ASR以降については産業廃棄物としては産業廃棄物統計に含まれる。
						152	解体業者からの引取量	*13	

*1 産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(経済産業省)による

*2 産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)による

*3 古紙需給統計(古紙再生促進センター)による

*4 一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)を用いて求めた値

*5 産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)を用いて求めた値

*6 鉄源年報(日本鉄源協会)による

*7 生産動態統計(鉄鋼、非鉄金属、金属製品)(経済産業省)による

*8 農林水産省生産局生産流通振興課資料を用いて算出

*9 ガラスびんのマテリアル・フロー図(ガラスびん3R促進協議会)による

*10 アルミ缶再生利用フロー(アルミ缶リサイクル協会)による

*11 スチール缶リサイクルの全体フロー(スチール缶リサイクル協会)による

*12 紙バックマテリアルフロー(全国牛乳容器環境協議会)による

*13 使用済み自動車、解体自動車及び特定再資源化等物品に関する引取・引渡状況(経済産業省、環境省)による

*14 「重複排除の考え方」は、廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用実態調査報告書(廃棄物等循環利用実態調査編)(環境省)による

(3) 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移

平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 ヶ年分の廃棄物等発生量の推移を表 6 に示した。平成 24 年度における廃棄物等の発生量の合計（災害廃棄物を含む）は平成 23 年度に比べ 3,975 千 t/年増加した。発生量の増加量が最も大きかったのは、災害廃棄物で平成 23 年度に比べ 7,790 千 t/年増加した。一方、発生量の減少量が最も大きかったのは「等」の産業機械等に由来する金属スクラップで平成 23 年度に比べて 7,682 千 t/年減少した。

表 6 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移

単位：千t/年

品目	H20	H21	H22	H23	H24	前々年との差 (H24-H22)	対前々年比 (H24/H22)	前年との差 (H24-H23)	対前年比 (H24/H23)
合計									
(災害廃棄物を含む)	579,079	559,149	567,794	562,305	566,280	-1,514	99.7%	3,975	100.7%
(災害廃棄物を除く)	-	-	-	558,008	554,192	-	-	-3,816	99.3%
一般廃棄物									
(災害廃棄物を含む)	71,315	69,066	67,482	71,042	78,116	10,634	115.8%	7,073	110.0%
(災害廃棄物を除く)	-	-	-	66,745	66,028	-	-	-717	98.9%
ごみ小計	48,109	46,457	45,548	45,572	45,283	-265	99.4%	-289	99.4%
紙	17,944	16,737	16,995	17,315	17,653	658	103.9%	338	102.0%
金属	1,549	1,549	1,620	1,720	1,722	102	106.3%	2	100.1%
ガラス	1,586	1,502	1,391	1,343	1,314	-77	94.5%	-29	97.8%
ペットボトル	464	425	496	523	518	22	104.5%	-5	99.1%
プラスチック	4,595	4,073	3,719	3,861	4,206	487	113.1%	345	108.9%
厨芥	15,334	14,994	14,237	14,539	14,466	230	101.6%	-73	99.5%
繊維	1,919	2,078	1,830	1,580	1,385	-444	75.7%	-195	87.7%
木竹草類等	3,822	3,959	3,707	3,327	2,764	-944	74.5%	-563	83.1%
陶磁器類等	895	1,139	1,553	1,366	1,255	-298	80.8%	-111	91.9%
災害廃棄物	-	-	-	4,297	12,087	-	-	7,790	281.3%
し尿	23,206	22,609	21,934	21,173	20,745	-1,189	94.6%	-428	98.0%
産業廃棄物	403,661	389,746	385,988	381,206	379,137	-6,851	98.2%	-2,069	99.5%
燃え殻	2,053	1,821	1,835	1,836	1,869	35	101.9%	33	101.8%
汚泥	176,114	173,629	169,885	166,132	164,638	-5,246	96.9%	-1,493	99.1%
廃油	3,617	3,048	3,251	3,118	3,212	-39	98.8%	95	103.0%
廃酸	2,721	2,542	2,483	2,752	2,595	112	104.5%	-157	94.3%
廃アルカリ	2,648	1,867	2,563	1,889	1,778	-785	69.4%	-111	94.1%
廃プラスチック類	6,445	5,665	6,185	5,710	5,691	-495	92.0%	-19	99.7%
紙くず	1,383	1,265	1,153	1,118	1,020	-133	88.5%	-98	91.3%
木くず	6,262	6,294	6,121	6,233	6,229	108	101.8%	-4	99.9%
繊維くず	74	69	79	79	68	-11	86.1%	-11	86.0%
動植物性残さ	3,318	3,001	3,027	2,838	2,642	-385	87.3%	-196	93.1%
ゴムくず	41	27	32	32	34	2	106.0%	2	106.6%
金属くず	8,766	7,830	7,246	7,242	7,267	21	100.3%	25	100.3%
ガラスくず陶磁器くず	6,174	5,411	6,031	6,361	6,083	52	100.9%	-279	95.6%
鋸さい	18,440	14,109	16,006	15,493	16,398	392	102.4%	905	105.8%
がれき類	61,189	58,921	58,264	59,839	58,887	623	101.1%	-951	98.4%
ばいじん	16,550	15,923	16,823	15,903	15,138	-1,685	90.0%	-765	95.2%
動物のふん尿	87,698	88,162	84,847	84,459	85,434	586	100.7%	975	101.2%
動物の死体	168	161	156	172	153	-3	97.8%	-20	88.6%
「等」	104,103	100,338	114,323	110,057	109,027	-5,296	95.4%	-1,030	99.1%
ガラスびん	1,173	1,556	1,472	1,347	1,291	-181	87.7%	-56	95.8%
アルミ缶	43	35	36	39	35	-1	97.2%	-4	89.7%
スチール缶	454	420	420	424	432	12	102.9%	8	101.9%
飲料用紙容器	43	44	43	42	42	-1	98.1%	0	100.0%
古紙	11,749	10,731	11,090	10,994	10,886	-204	98.2%	-108	99.0%
自動車	2,855	3,229	3,022	2,411	2,851	-171	94.3%	440	118.2%
稲わら	8,798	8,782	8,803	8,522	8,549	-254	97.1%	-27	100.3%
麦わら	1,038	1,041	1,038	1,062	1,053	15	101.4%	-9	99.2%
もみがら	1,922	1,918	1,923	1,861	1,867	-56	97.1%	6	100.3%
(副産物)燃え殻	15					0		0	
(副産物)廃油	647	255	273	267	237	-35	87.0%	-30	88.8%
(副産物)廃酸		101	9			-9	0.0%	0	
(副産物)廃プラスチック類	140	150	723	372	872	148	120.5%	500	234.6%
(副産物)紙くず	4,822	5,258	5,118	4,919	5,662	544	110.6%	743	115.1%
(副産物)木くず	1,356	777	921	1,495	1,511	590	164.1%	16	101.1%
(副産物)繊維くず	3	43	7		3	-4	46.5%	3	
(副産物)動植物性残さ	1,365		2,017	1,363	1,383	-634	68.6%	21	101.5%
(副産物)金属くず	5,726	3,955	5,934	5,120	8,740	2,806	147.3%	3,620	170.7%
(副産物)ガラスくず陶磁器くず	582	2,810	323	659	2,888	2,565	893.4%	2,229	438.4%
(副産物)鋸さい	29,455	32,179	37,731	36,045	35,112	-2,620	93.1%	-934	97.4%
(副産物)動物のふん尿		3	4	4	137	133	3425.0%	133	3425.0%
(副産物)動物の死体		1	1	1	1	0	100.0%	0	100.0%
(副産物)ばいじん	1,461	1,060	1,250	1,962	2,007	757	160.5%	45	102.3%
産業機械等に由来する金属スクラップ	28,697	24,469	32,162	31,148	23,466	-8,696	73.0%	-7,682	75.3%

平成 20 年度から平成 24 年度までの 5 ヶ年分の廃棄物等発生量に関し、一般廃棄物、産業廃棄物、「等」及び廃棄物等の合計について、循環利用量、減量化量、最終処分量及び自然還元量（産業廃棄物と「等」のみ）をとりまとめ、その推移を表 7 に示した。平成 24 年度値を平成 23 年度値と比較すると、災害廃棄物の発生量、循環利用量、減量化量が 2 倍から 3 倍程度増加しているが、一般廃棄物のごみ及びし尿はいずれも減少傾向、産業廃棄物及び「等」の発生量も減少傾向となっている。

表 7 廃棄物等の発生量、循環利用量、減量化量、最終処分量、自然還元量の過去5年分の推移

単位：千t/年

		H20	H21	H22	H23	H24	前々年度との差 (H24-H22)	対前々年比 (H24/H22)	前年度との差 (H24-H23)	対前年比 (H24/H23)
合計	(災害含む)									
	発生量	579,079	559,150	567,794	562,305	566,280	-5,490	99.7%	3,975	100.7%
	循環利用量	246,303	228,748	246,545	241,426	254,531	-5,152	103.2%	13,105	105.4%
	減量化量	224,585	223,069	218,890	220,755	210,920	1,897	96.4%	-9,835	95.5%
	最終処分量	22,357	18,774	19,224	17,363	18,353	-1,861	95.5%	990	105.7%
	自然還元量	85,832	88,558	83,135	82,306	82,476	-829	99.2%	170	100.2%
	(災害除く)									
	発生量	-	-	-	558,008	554,192	-	-	-3,816	99.3%
	循環利用量	-	-	-	238,010	244,414	-	-	6,405	102.7%
	減量化量	-	-	-	220,329	209,442	-	-	-10,887	95.1%
最終処分量	-	-	-	17,363	17,860	-	-	497	102.9%	
自然還元量	-	-	-	82,306	82,476	-	-	170	100.2%	
一般廃棄物	(ごみ)									
	発生量	48,109	46,457	45,548	45,572	45,283	-20	99.4%	-289	99.4%
	循環利用量	9,776	9,501	9,446	9,375	9,263	-148	98.1%	-112	98.8%
	減量化量	32,800	31,883	31,264	31,377	31,372	145	100.3%	-5	100.0%
	最終処分量	5,533	5,072	4,837	4,821	4,648	-17	96.1%	-173	96.4%
	(災害)									
	発生量	-	-	-	4,297	12,087	-	-	7,790	281.3%
	循環利用量	-	-	-	3,416	10,117	-	-	6,700	296.1%
	減量化量	-	-	-	425	1,478	-	-	1,053	347.5%
	最終処分量	-	-	-	456	493	-	-	37	108.1%
(し尿)										
発生量	23,206	22,609	21,934	21,173	20,745	-762	94.6%	-428	98.0%	
循環利用量	271	239	249	237	172	-12	69.1%	-65	72.5%	
減量化量	22,811	22,260	21,554	20,832	20,463	-722	94.9%	-369	98.2%	
最終処分量	123	110	131	103	110	-28	84.1%	7	106.9%	
産業廃棄物	発生量	403,661	389,746	385,988	381,206	379,137	-4,782	98.2%	-2,069	99.5%
	循環利用量	143,911	130,411	134,290	129,786	137,421	-4,505	102.3%	7,636	105.9%
	減量化量	168,206	168,158	165,303	167,361	156,849	2,058	94.9%	-10,512	93.7%
	最終処分量	16,701	13,591	14,255	12,439	13,102	-1,816	91.9%	663	105.3%
	自然還元量	74,843	77,585	72,139	71,620	71,764	-520	99.5%	145	100.2%
等	発生量	104,103	100,338	114,323	110,057	109,027	-4,223	95.4%	-1,030	99.1%
	循環利用量	92,345	88,597	102,559	98,611	97,557	-3,904	95.1%	-1,054	98.9%
	減量化量	768	768	768	759	758	-9	98.7%	-1	99.9%
	最終処分量	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自然還元量	10,990	10,973	10,996	10,687	10,712	-309	97.4%	25	100.2%

(4) 廃棄物等循環利用量の平成24年度確定値の算出結果（廃棄物統計別）

平成 24 年度における廃棄物等の循環利用量の詳細を次頁以降に示した。

表 8 廃棄物等循環利用量の平成24年度確定値(1)

(単位:千t/年)	合計 (災害 廃棄物 を含む)	合計 (災害 廃棄物 を除く)	一般廃棄物(災害廃棄物を含む)												し尿	産業廃棄物			
			小計	一般廃棄物(災害廃棄物を除く)												小計	燃え殻	汚泥	有機性汚泥
				紙	金属	ガラス	ペットボ トル	プラスチッ ク	厨芥	繊維	木竹草類 等	陶磁器類 等	一般 廃棄物 (災害 廃棄物)						
1. 発生量																			
発生量	566,280	554,192	57,371	45,283	17,653	1,722	1,314	518	4,206	14,466	1,385	2,764	1,255	12,087	20,745	379,137	1,869	164,638	119,936
2. 区分パターン1																			
発生量	566,280	554,192	57,371	45,283	17,653	1,722	1,314	518	4,206	14,466	1,385	2,764	1,255	12,087	20,745	379,137	1,869	164,638	119,936
直接循環利用量	113,485	110,318	7,932	4,765	3,863	181	231	74	84	84	162	84		3,167	101	11,692	65	3,605	
直接リユース小計		896		42			42												
製品リユース		896		42			42												
部品リユース																			
直接マテリアルリサイクル小計		109,422		4,723	3,863	181	189	74	84	84	162	84			101	11,692	65	3,605	
燃料化(注1)		911		18					18							195			
製品化(注2)																			
製品化(建設資材)		18,088														1,269			
素材原料(鉄・非鉄金属)		27,280		181		181										3,633			
素材原料(その他製品原料)		55,434		4,504	3,863		189	74	47	84	162	84				2,681	65		
土壌改良・還元・土地造成		7,546													101	3,768		3,605	
中和剤など		145														145			
高炉還元(注2)		19		19					19										
直接自然還元量(注3)	77,679	77,679														71,764			
直接最終処分量	6,835	6,460	943	567	126	98	62	7	72	55	5	19	123	375	71	5,822	399	1,245	
埋立処分	6,835	6,460	943	567	126	98	62	7	72	55	5	19	123	375	71	5,822	399	1,245	
海洋投入処分																			
自家処理量(注5)	21	21	21	21	7	1	1	0	2	8	1	1	0						
プロセス1の量(中間処理等の量)	368,260	359,714	48,475	39,930	13,656	1,442	1,019	437	4,048	14,319	1,218	2,659	1,132	8,545	20,573	289,859	1,405	159,788	119,936
減量化量	210,899	209,421	32,829	31,351	11,572			200	3,114	13,042	1,085	2,339		1,478	20,463	156,849	79	141,588	108,807
焼却による減量化量	45,656	44,633	31,874	30,852	11,464			200	3,010	12,782	1,079	2,316		1,022	767	12,256		7,111	7,111
脱水・乾燥による減量化量		138,586		500	107				104	260	5	23			365	137,221	79	134,477	101,696
濃縮による減量化量		26,202													19,330	6,871			
処理後循環利用量	141,046	134,096	11,448	4,499	984	782	614	232	843	820	73	113	38	6,950	71	125,730	1,291	14,554	9,131
処理後リユース小計		1,069														150			
製品リユース		150														150			
部品リユース		919																	
処理後マテリアルリサイクル小計		133,027		4,499	984	782	614	232	843	820	73	113	38		71	125,580	1,291	14,554	9,131
燃料化(注1)		7,339		404					82	322						6,935			
製品化(注2)																			
製品化(建設資材)		68,109														68,109		134	134
素材原料(鉄・非鉄金属)		6,644		766		766										3,479			
素材原料(その他製品原料)		25,812		3,209	984	16	614	232	761	410	73	80	38			22,125	1,291	2,998	848
土壌改良・還元・土地造成		21,947													69	21,878		10,659	7,385
中和剤など		1,166														1,166			
処理後自然還元量(注4)	4,797	4,797																	
処理後最終処分量	11,518	11,400	4,198	4,080	1,100	661	405	5	92	458	60	207	1,094	117	40	7,280	35	3,646	1,998
埋立処分	11,518	11,400	4,198	4,080	1,100	661	405	5	92	458	60	207	1,094	117	40	7,280	35	3,646	1,998
海洋投入処分																			
うちプロセス2の量(焼却処理量)	51,376	50,049	36,734	35,407	12,733	658	313	211	3,194	13,615	1,165	2,561	956	1,327	793	13,090		7,570	7,570
直接焼却	51,376	50,049	36,734	35,407	12,733	658	313	211	3,176	13,486	1,139	2,444	470	1,323		13,090		7,570	7,570
処理後焼却			1,420	1,418	639				18	130	27	117	467	4	793				
焼却による減量化量	45,656	44,633	31,874	30,852	11,464			200	3,010	12,782	1,079	2,316		1,022	767	12,256		7,111	7,111
焼却処理後循環利用量	1,296	1,099	1,296	1,099	368	86	10	6	97	410	35	74	14	197					
焼却処理後リユース小計																			
製品リユース																			
部品リユース																			
焼却処理後マテリアルリサイクル小計		1,099		1,099	368	86	10	6	97	410	35	74	14						
燃料化(注1)																			
製品化(注2)																			
製品化(建設資材)																			
素材原料(鉄・非鉄金属)		70		70		70													
素材原料(その他製品原料)		1,029		1,029	368	16	10	6	97	410	35	74	14						
土壌改良・還元・土地造成																			
中和剤など																			
焼却処理後最終処分量	3,590	3,482	3,564	3,456	901	572	304	5	87	423	52	171	942	108	26				
埋立処分	3,590	3,482	3,564	3,456	901	572	304	5	87	423	52	171	942	108	26				
海洋投入処分																			
3. 区分パターン2																			
発生量	566,280	554,192	57,371	45,283	17,653	1,722	1,314	518	4,206	14,466	1,385	2,764	1,255	12,087	20,745	379,137	1,869	164,638	119,936
循環利用量	254,531	244,414	19,380	9,263	4,848	963	845	306	927	904	235	197	38	10,117	172	137,421	1,356	18,160	9,131
リユース		1,966		42			42									150			
直接リユース		896		42			42												
処理後リユース		1,069																	
マテリアルリサイクル	242,448		9,221	4,848	963	803	306	927	904	235	197	38			172	137,271	1,356	18,160	9,131
直接マテリアルリサイクル	109,422		4,723	3,863	181	189	74	84	84	162	84				101	11,692	65	3,605	
処理後マテリアルリサイクル	133,027		4,499	984	782	614	232	843	820	73	113	38			71	125,580	1,291	14,554	9,131
減量化量	210,920	209,421	32,850	31,372	11,579	1	200	3,115	13,049	1,086	2,340	0	1,478	20,463	156,849	79	141,588	108,807	
焼却による減量化量	45,656	44,633	31,874	30,852	11,464			200	3,010	12,782	1,079	2,316		1,022	767	12,256		7,111	7,111
脱水・乾燥による減量化量		138,586		500	107				104	260	5	23			365	137,221	79	134,477	101,696
濃縮による減量化量		26,202													19,330	6,871			
自家処理量(注5)	21	21	21	7	1	1	0	2	8	1	1	0							
最終処分量	18,353	17,860	5,140	4,648	1,226	758	467	12	164	513	65	226	1,217	493	110	13,102	434	4,891	1,998
直接最終処分量	6,835	6,460	943	567	126	98	62	7	72	55	5	19	123	375	71	5,822	399	1,245	
処理後最終処分量	11,518	11,400	4,198	4,080	1,100	661	405	5	92</										

表 9 廃棄物等循環利用量の平成24年度確定値(2)

産業廃棄物	汚泥											廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類				紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
	有機性汚泥		無機性汚泥			製造業	農業廃ビニール	廃タイヤ	その他廃プラスチック													
	下水汚泥	製造業有機性汚泥	上水汚泥	建設業、製薬業、畜養等無機性汚泥																		
					製造業					農業廃ビニール	廃タイヤ				その他廃プラスチック							

1. 発生量

発生量	76,046	43,890	44,703	10,870	33,833	3,212	2,595	1,778	5,691	3,061	123	1,010	1,497	1,020	6,229	68	2,642
-----	--------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	----	-------

2. 区分パターン1

発生量	76,046	43,890	44,703	10,870	33,833	3,212	2,595	1,778	5,691	3,061	123	1,010	1,497	1,020	6,229	68	2,642
直接循環利用量			3,605		3,605	171	133	12	47	32			15	53	39	1	38
直接リユース小計																	
製品リユース																	
部品リユース																	
直接マテリアルリサイクル小計			3,605		3,605	171	133	12	47	32			15	53	39	1	38
燃料化(注1)						171			25	17			8				
製品化(コンポスト)																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)									22	15			7	53	39	1	38
土壌改良・還元・土地造成			3,605		3,605												
中和剤など						133		12									
高炉還元(注2)																	
直接自然還元(注3)																	
直接最終処分量			1,245		1,245	2	1	0	220	100	19	51	49	4	28	2	13
埋立処分																	
海洋投入処分			1,245		1,245	2	1	0	220	100	19	51	49	4	28	2	13
自家処理量(注5)																	
プロセス1の量(中間処理等の量)	76,046	43,890	39,852	10,870	28,982	3,040	2,461	1,767	5,423	2,929	103	959	1,433	963	6,163	65	2,590
減量化量	73,650	35,157	32,781	9,565	23,216	1,896	1,546	1,446	1,586	1,059	9	518	417	1,075	23	831	
焼却による減量化量	5,741	1,370				1,896			1,586	1,059	9	518	417	1,075	23	83	
脱水・乾燥による減量化量	67,909	33,787	32,781	9,565	23,216		1,546	1,446								748	
濃縮による減量化量																	
処理後循環利用量	1,988	7,143	5,424	707	4,717	1,088	882	293	3,088	1,427	80	882	698	507	4,897	37	1,696
処理後リユース小計									150			150					
製品リユース									150			150					
部品リユース																	
処理後マテリアルリサイクル小計	1,988	7,143	5,424	707	4,717	1,088	882	293	2,938	1,427	80	732	698	507	4,897	37	1,696
燃料化(注1)						1,088			1,696	753		574	369		4,151		1,125
製品化(コンポスト)																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)								9									
素材原料(その他製品原料)			2,150		2,150				1,242	674	80	158	330	507	746	37	37
土壌改良・還元・土地造成			242	7,143	3,274	707	2,587										570
中和剤など								873	293								
処理後自然還元(注4)																	
処理後最終処分量	407	1,591	1,648	598	1,050	56	34	27	749	442	14	77	216	39	190	6	63
埋立処分																	
海洋投入処分	407	1,591	1,648	598	1,050	56	34	27	749	442	14	77	216	39	190	6	63
うちプロセス2の量(焼却処理量)	5,858	1,713				1,955			1,763	1,177	10	576	439	1,181	24	88	
直接焼却	5,858	1,713				1,955			1,763	1,177	10	576	439	1,181	24	88	
処理後焼却																	
焼却による減量化量	5,741	1,370				1,896			1,586	1,059	9	518	417	1,075	23	83	
焼却処理後循環利用量																	
焼却処理後リユース小計									150			150					
製品リユース									150			150					
部品リユース																	
焼却処理後マテリアルリサイクル小計																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)																	
土壌改良・還元・土地造成																	
中和剤など																	
焼却処理後最終処分量																	
埋立処分																	
海洋投入処分																	

3. 区分パターン2

発生量	76,046	43,890	44,703	10,870	33,833	3,212	2,595	1,778	5,691	3,061	123	1,010	1,497	1,020	6,229	68	2,642
循環利用量	1,988	7,143	9,029	707	8,322	1,258	1,015	305	3,135	1,459	80	882	714	560	4,936	37	1,734
リユース									150			150					
直接リユース																	
処理後リユース									150			150					
マテリアルリサイクル	1,988	7,143	9,029	707	8,322	1,258	1,015	305	2,985	1,459	80	732	714	560	4,936	37	1,734
直接マテリアルリサイクル	1,988	7,143	5,424	707	4,717	1,088	882	293	2,938	1,427	80	732	698	507	4,897	37	1,696
処理後マテリアルリサイクル																	
減量化量	73,650	35,157	32,781	9,565	23,216	1,896	1,546	1,446	1,586	1,059	9	518	417	1,075	23	831	
焼却による減量化量	5,741	1,370				1,896			1,586	1,059	9	518	417	1,075	23	83	
脱水・乾燥による減量化量	67,909	33,787	32,781	9,565	23,216		1,546	1,446								748	
濃縮による減量化量																	
自家処理量(注5)																	
最終処分量	407	1,591	2,893	598	2,295	56	35	28	970	542	34	128	265	43	218	8	76
直接最終処分量			1,245		1,245	2	1	0	220	100	19	51	49	4	28	2	13
処理後最終処分量	407	1,591	1,648	598	1,050	56	34	27	749	442	14	77	216	39	190	6	63
自然還元量																	
直接自然還元(注3)																	
処理後自然還元(注4)																	

注1) 燃料化・焼却・固形化等の処理を経たもの、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクル量の内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2) 高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3) 直接自然還元量：家畜ふん尿のうち、何らの処理をされことなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される糞、糞、まわりのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。

注4) 「産業廃棄物発生・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元量」として扱っている。

注5) 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として利用するか、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

表 10 廃棄物等循環利用量の平成24年度確定値(3)

発生量	産業廃棄物								廃棄物統計外の個別製品統計データ										
	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器	紙さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	ガラスびん3R廃棄物	アルミ缶リサイクル協会資料	スチール缶リサイクル協会資料	全国牛乳容器処理場協議会資料	(公財)古紙再生促進センター資料	環境省、経済産業省、(一社)日本自動車工業会資料	農林水産省農産園芸局農産課資料	繊維	木材	その他	
	小計	ガラスびん	アルミ缶	スチール缶	飲料用紙容器	古紙	自動車	稲わら	まわら										

1. 発生量	34	7,267	6,063	16,398	58,887	15,138	85,434	153	109,027	1,291	35	432	42	10,886	2,851	8,549	1,053
--------	----	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-----	---------	-------	----	-----	----	--------	-------	-------	-------

2. 区分パターン1

発生量	34	7,267	6,063	16,398	58,887	15,138	85,434	153	109,027	1,291	35	432	42	10,886	2,851	8,549	1,053
直接循環利用量	0	3,633	94	1,847	291	1,652		11	93,760	854				10,886			
直接リユース小計									854	854							
製品リユース									854	854							
部品リユース																	
直接マテリアルリサイクル小計	0	3,633	94	1,847	291	1,652		11	92,906					10,886			
燃料化(注1)									698								
製品化(コンポスト)																	
製品化(建設資材)			94	885	291				16,818								
素材原料(鉄・非鉄金属)		3,633							23,466								
素材原料(その他製品原料)	0			849		1,652			49,243					10,886			
土壌改良・還元・土地造成				113				11	3,676								
中和剤など																	
高炉還元(注2)																	
直接自然還元量(注3)								71,764		5,915						5,614	301
直接最終処分量	1	41	558	667	699	1,913	26	2									
埋立処分																	
海洋投入処分	1	41	558	667	699	1,913	26	2									
自家処理量(注5)																	
プロセス1の量(中間処理等の量)	33	3,594	5,431	13,883	57,898	11,573	13,644	140	9,352	437	35	432	42		2,851	2,935	752
減量化量	4					2,417	3,880	61	758							236	280
焼却による減量化量	4							61	758							236	280
脱水・乾燥による減量化量						2,417											
濃縮による減量化量							3,880										
処理後循環利用量	22	3,470	4,481	13,685	56,938	8,992	9,748	61	3,797	437	35	432	42		2,851		
処理後リユース小計									919						919		
製品リユース																	
部品リユース									919						919		
処理後マテリアルリサイクル小計	22	3,470	4,481	13,685	56,938	8,992	9,748	61	2,878	437	35	432	42		1,932		
燃料化(注1)																	
製品化(コンポスト)																	
製品化(建設資材)			4,481	6,555	56,938												
素材原料(鉄・非鉄金属)		3,470							2,399		35	432			1,932		
素材原料(その他製品原料)	22			6,290		8,992			479	437			42				
土壌改良・還元・土地造成				840			9,748	61									
中和剤など																	
処理後自然還元量(注4)									4,797							2,699	473
処理後最終処分量	7	123	949	198	959	163	16	17									
埋立処分																	
海洋投入処分	7	123	949	198	959	163	16	17									
うちプロセス2の量(焼却処理量)	5							65	758							236	280
直接焼却																	
処理後焼却	5							65	758							236	280
焼却による減量化量	4							61	758							236	280
焼却処理後循環利用量																	
焼却処理後リユース小計																	
製品リユース																	
部品リユース																	
焼却処理後マテリアルリサイクル小計																	
製品化(建設資材)																	
素材原料(鉄・非鉄金属)																	
素材原料(その他製品原料)																	
土壌改良・還元・土地造成																	
中和剤など																	
焼却処理後最終処分量																	
埋立処分																	
海洋投入処分																	

3. 区分パターン2

発生量	34	7,267	6,063	16,398	58,887	15,138	85,434	153	109,027	1,291	35	432	42	10,886	2,851	8,549	1,053
循環利用量	22	7,103	4,575	15,532	57,229	10,644	9,748	72	97,557	1,291	35	432	42	10,886	2,851		
リユース									1,774	854					919		
直接リユース									854	854							
処理後リユース															919		
マテリアルリサイクル	22	7,103	4,575	15,532	57,229	10,644	9,748	72	95,784	437	35	432	42	10,886	1,932		
直接マテリアルリサイクル	0	3,633	94	1,847	291	1,652		11	92,906					10,886			
処理後マテリアルリサイクル	22	3,470	4,481	13,685	56,938	8,992	9,748	61	2,878	437	35	432	42		1,932		
減量化量	4					2,417	3,880	61	758							236	280
焼却による減量化量	4							61	758							236	280
脱水・乾燥による減量化量						2,417											
濃縮による減量化量							3,880										
自家処理量(注5)																	
最終処分量	8	164	1,508	866	1,658	2,076	42	19									
直接最終処分量	1	41	558	667	699	1,913	26	2									
処理後最終処分量	7	123	949	198	959	163	16	17									
自然還元量								71,764		10,712						8,313	774
直接自然還元量(注3)								71,764		5,915						5,614	301
処理後自然還元量(注4)									4,797							2,699	473

注1) 燃料化：焼却・固形化等の処理を経たのち、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクルの内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2) 高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3) 直接自然還元量：家畜ふん尿のうち、何らの処理をされことなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される稲わら、まわら、もみからのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。

注4) 処理後自然還元量：「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表において「直接自然還元量」として扱っている。

注5) 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として利用するが、直接農家等に依頼して処分させ、または自ら処分している量とする。

表 11 廃棄物等循環利用量の平成24年度確定値(4)

単位:千t/年	廃棄物統計外の個別製品統計データ														鉄源年報、 生産動態統計
	産業分類別の副産物(産業廃棄物・有機発生物)発生状況等に関する調査:経済産業省														
	農林水産 省農産園 芸局農産 課資料	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残 さ	金属くず	ガラス陶磁器	鉛さい	動物のふん 尿	動物の死体	ばいじん	産業機械等 に由来する 鉄スクラップ	
もみから															

1. 発生量

発生量	1,867	237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
-----	-------	-----	-----	-------	-------	---	-------	-------	-------	--------	-----	---	-------	--------

2. 区分パターン1

発生量	1,867	237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
直接循環利用量		237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
直接リユース小計														
製品リユース														
部品リユース														
直接マテリアルリサイクル小計		237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
燃料化(注1)		237	460											
製品化(コポスト)														
製品化(建設資材)										16,818				
素材原料(鉄・非鉄金属)														23,466
素材原料(その他製品原料)			412	5,662	1,511	3		8,740	2,888	16,139			2,007	
土壌改良・還元・土地造成							1,383			2,155	137	1		
中和剤など														
高炉還元(注2)														
直接自然還元量(注3)														
直接最終処分量														
埋立処分														
海洋投入処分														
自家処理量(注5)														
プロセス1の量(中間処理等の量)	1,867													
減量化量	242													
焼却による減量化量	242													
脱水・乾燥による減量化量														
濃縮による減量化量														
処理後循環利用量														
処理後リユース小計														
製品リユース														
部品リユース														
処理後マテリアルリサイクル小計														
燃料化(注1)														
製品化(コポスト)														
製品化(建設資材)														
素材原料(鉄・非鉄金属)														
素材原料(その他製品原料)														
土壌改良・還元・土地造成														
中和剤など														
処理後自然還元量(注4)	1,625													
処理後最終処分量														
埋立処分														
海洋投入処分														
うちプロセス2の量(焼却処理量)	242													
直接焼却														
処理後焼却	242													
焼却による減量化量	242													
焼却処理後循環利用量														
焼却処理後リユース小計														
製品リユース														
部品リユース														
焼却処理後マテリアルリサイクル小計														
製品化(建設資材)														
素材原料(鉄・非鉄金属)														
素材原料(その他製品原料)														
土壌改良・還元・土地造成														
中和剤など														
焼却処理後最終処分量														
埋立処分														
海洋投入処分														

3. 区分パターン2

発生量	1,867	237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
循環利用量		237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
リユース														
直接リユース														
処理後リユース														
マテリアルリサイクル		237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
直接マテリアルリサイクル		237	872	5,662	1,511	3	1,383	8,740	2,888	35,112	137	1	2,007	23,466
処理後マテリアルリサイクル														
減量化量	242													
焼却による減量化量	242													
脱水・乾燥による減量化量														
濃縮による減量化量														
自家処理量(注5)														
最終処分量														
直接最終処分量														
処理後最終処分量														
自然還元量	1,625													
直接自然還元量(注3)														
処理後自然還元量(注4)	1,625													

注1) 燃料化：破砕・固形化等の処理を経たのち、燃料としての利用に向かうものについては、最終的に熱源として利用されることとなるが、再資源化等のプロセスから出た時点では物量として把握できることから、マテリアルリサイクル量の内数と考え、その量を「燃料化」とする。

注2) 高炉還元：一般廃棄物(ごみ)のうち、高炉への還元剤として含まれるプラスチック製容器包装などの量を「高炉還元」とする。

注3) 直接自然還元量：家畜ふん尿のうち、何らの処理をされことなく、農地に還元されている量、及び農業から排出される糞、まわら、もみからのうち、直接農地へのすき込み利用を行った量を「直接自然還元量」とする。

なお、「産業廃棄物排出・処理状況調査」における産業廃棄物の「動物のふん尿」のうち「直接再生利用量」は本表においては「直接自然還元量」として扱っている。

注4) 処理後自然還元量：農家から排出される糞、まわら、もみからのうち、畜舎敷料等に利用後に農地に還元された量を「処理後自然還元量」とする。

注5) 自家処理量：計画収集区域内で、市区町村等により計画収集される以外の生活系一般廃棄物ごみを自家肥料又は飼料として利用するか、直接農家等に依頼して処分せ、または自ら処分している量とする。

(5) 災害廃棄物の平成24年度確定値の算出結果

災害廃棄物の平成24年度確定値の算出結果は以下のとおりである。

表 12 災害廃棄物の平成24年度確定値の算出結果

物質フローで必要な項目
GHGインベントリ算出で必要な項目

単位:トン/年

処理項目	一般廃棄物(災害廃棄物)の区分																				量	漁網	タイヤ	その他家電	消火器	ガスボンベ	土石類	津波堆積物	その他	海洋投入	漂着ごみ	除染廃棄物
	小計	木くず	金属くず	コンクリートがら	その他がれき類	石綿含有廃棄物等	P C B 廃棄物	有害物、危険物	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	家電4品目	パソコン	自動車	F R P 船	鋼船	その他船舶													
発生量	12,087,384	828,539	307,002	5,200,035	395,813	2,555	0	988	727,433	477,829	481,101	6,998	2,586	6,024	0	1,313	1,128	0	0	25,982	8,077	10,105	8,242	564	105	1,437,709	2,063,628	91,761	0	299	1,566	
循環利用量	10,116,618	602,459	304,612	4,754,391	342,207	34	0	812	202,204	87,419	230,106	6,906	476	5,959	0	1,313	1,040	0	0	12,842	1,282	9,905	8,236	564	102	1,422,933	2,044,670	75,998	148	0		
直接循環利用量	3,166,763	112,125	207,438	2,407,998	56,167	23	0	370	3,924	4	3,514	10	112	4,964	0	68	488	0	0	207	1,282	3,076	8,206	562	93	140,801	214,591	740	0	0		
処理後循環利用量	6,949,855	490,334	97,174	2,346,393	286,040	11	0	442	198,280	87,415	226,592	6,896	364	995	0	1,245	552	0	0	12,635	0	6,829	30	2	9	1,282,132	1,830,079	75,258	148	0		
焼却施設	197,010	9,742	24	0	24	11	0	0	162,240	6,872	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7,478	0	136	0	0	0	0	0	10,676	0	0	0	
粗大ごみ処理施設	4,310	437	3,161	0	0	0	0	0	21	0	200	122	338	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
ごみ堆肥化施設	3,877	3,503	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	116	0	
ごみ飼料化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
メタン化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ燃料化施設	136,784	90,800	0	0	0	0	0	77	23,862	1,219	0	0	0	0	0	552	0	0	0	4,202	0	2,464	0	0	0	0	0	13,600	8	0	0	
その他の資源化等を行う施設	6,273,139	381,026	93,989	2,346,393	286,016	0	0	365	12,157	199	2,082	6,774	19	988	0	1,245	0	0	0	955	0	4,005	30	2	5	1,281,961	1,830,079	24,845	24	0	0	
セメント等への直接投入	334,935	4,826	0	0	0	0	0	0	0	79,325	224,310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	224	0	0	0	0	171	0	26,079	0	0	0	
最終処分量	492,777	33,322	2,390	10,226	53,158	2,462	0	2	52,963	41,503	239,408	92	485	26	0	0	7	0	0	2,344	6,096	57	0	0	3	13,189	18,958	15,763	0	7	315	
直接最終処分量	375,287	0	14	8,411	49,587	2,443	0	0	24,086	17	237,312	0	49	5	0	0	0	0	0	0	5,919	4	0	0	0	13,090	18,851	15,500	0	0	0	
埋立処分	375,287	0	14	8,411	49,587	2,443	0	0	24,086	17	237,312	0	49	5	0	0	0	0	0	0	5,919	4	0	0	0	13,090	18,851	15,500	0	0	0	
海洋投入処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
処理後最終処分量	117,490	33,322	2,376	1,815	3,572	19	0	2	28,877	41,486	2,097	92	436	21	0	0	7	0	0	2,344	177	53	0	0	3	99	107	263	7	7	315	
埋立処分	117,490	33,322	2,376	1,815	3,572	19	0	2	28,877	41,486	2,097	92	436	21	0	0	7	0	0	2,344	177	53	0	0	3	99	107	263	7	7	315	
焼却処理後	107,523	33,008	333	93	106	17	0	0	28,681	40,337	1,612	13	196	3	0	7	0	0	0	2,334	177	53	0	0	0	38	53	138	7	7	315	
焼却以外の中間処理後	9,967	314	2,043	1,722	3,466	1	0	1	196	1,149	485	79	241	18	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	3	61	53	125	0	0	0	
焼却処理量	1,326,832	235,404	1,648	462	523	87	0	174	659,721	394,994	7,975	64	969	14	0	0	88	0	0	20,426	876	337	0	0	2	187	265	1,014	35	1,566		
直接焼却	1,323,118	235,082	0	0	226	86	0	174	659,684	394,909	7,845	0	792	0	0	0	88	0	0	20,423	876	335	0	0	0	0	0	995	35	1,566		
処理後焼却	3,714	322	1,648	462	297	0	0	0	37	86	130	64	176	14	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	2	187	265	19	0	0	0	
減量化量 ^{注1}	1,477,989																															

注1: 物質フローでは「減量化量」(小計)が必要となるため、本調査では、上記表の「発生量」(小計)から「循環利用量」(小計)及び「最終処分量」(小計)を差し引いた値を「減量化量」(小計)とした。

注2: 本表に計上されている「除染廃棄物」の量については、市町村等が一般廃棄物処理事業として処理したものの量であり、国が直轄して処理したものの量は含まれていない。

2.6 平成25年度速報値算出時に推計を行った品目（廃棄物等の「等」のアルミ缶）

平成 25 年度速報値を算出するにあたり、平成 27 年 3 月中に廃棄物等の「等」のアルミ缶の統計値が入手できない見込みであることから、推計方法を以下のとおり選定し、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成 25 年度速報値を推計した。

(1) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値算出に使用する基データ

活動量

循環利用量調査で算出した廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成 19 年度～平成 24 年度の確定値

経済活動指標

下記 4 つの経済活動指標から推計を行い、より推計結果が良好な(=乖離率の低い)経済活動指標を選択

経済活動指標① :アルミ缶材出荷量^{注1}

経済活動指標② :使用済み飲料缶(UBC)価格^{注2}

経済活動指標③ :アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮^{注3})

経済活動指標④ :使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)

注 1:アルミ缶材出荷量は、「アルミニウム缶関連統計(一般社団法人日本アルミニウム協会)」より把握

注 2:使用済み飲料缶(UBC)価格は、「アルミ指標相場・スクラップ価格(日刊市況通信)」より把握

注 3:アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)=アルミ缶材出荷量-輸出アルミ缶重量+輸入アルミ缶重量

※輸出アルミ缶重量、輸入アルミ缶重量は、アルミ缶リサイクル協会の調査結果より把握

(2) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値算出に用いる原単位についての外れ値の検討

廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成 25 年度速報値算出を行うにあたり、算出に用いる平成 19 年度から平成 24 年度の間原単位（＝活動量／経済活動指標）について³、下表に示したとおり外れ値候補の有無について検討を行った結果⁴、外れ値候補となるデータはなかった。

表 13 「経済活動指標①：アルミ缶材出荷量」を用いた原単位の外れ値候補の判定

年度	活動量	経済活動指標①	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値 原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:トン	単位:トン/トン	単位:トン/トン				
H19	66	422,950	0.15605	0.10456	0.05149	0.02646	1.95	
H20	43	422,567	0.10176		0.00280		0.11	
H21	35	415,987	0.08414		0.02042		0.77	
H22	36	414,432	0.08687		0.01769		0.67	
H23	39	415,027	0.09397		0.01059		0.40	
H24	35	415,317	0.08427					

表 14 「経済活動指標②：使用済み飲料缶(UBC)価格」を用いた原単位の外れ値候補の判定

年度	活動量 単位:千トン	経済活動指標② デフレーター処理前	デフレーター	経済活動指標② デフレーター処理後	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値 原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
		単位:円/kg		単位:円/kg	単位:千トン/ 円/kg	単位:千トン/ 円/kg				
H19	66	163	101.95	166	0.39777	0.38206	0.01571	0.04613	0.34	
H20	43	123	105.21	129	0.33229		0.04978		1.08	
H21	35	81	99.81	81	0.43427		0.05220		1.13	
H22	36	111	100.23	112	0.32287		0.05920		1.28	
H23	39	91	101.57	92	0.42312		0.04106		0.89	
H24	35	76	100.51	76	0.46123					

表 15 「経済活動指標③：アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)」を用いた原単位の外れ値候補の判定

年度	活動量	経済活動指標③	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値 原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
	単位:千トン	単位:トン	単位:トン/トン	単位:トン/トン				
H19	66	426,169	0.15487	0.10339	0.05147	0.02645	1.95	
H20	43	426,206	0.10089		0.00250		0.09	
H21	35	420,466	0.08324		0.02015		0.76	
H22	36	420,030	0.08571		0.01769		0.67	
H23	39	422,725	0.09226		0.01113		0.42	
H24	35	425,395	0.08228					

表 16 「経済活動指標④：使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)」を用いた原単位の外れ値候補の判定

年度	活動量 単位:千トン	経済活動指標④ デフレーター処理前	デフレーター	経済活動指標④ デフレーター処理後	原単位	原単位の平均値	残差の絶対値 原単位-原単位の平均値	標準偏差	標準化残差	判定結果 ●外れ値判定 2以上 (95%)
		単位:円/kg		単位:円/kg	単位:千トン/ 円/kg	単位:千トン/ 円/kg				
H19	66	176	99.66	175	0.376286	0.34047	0.03581	0.06952	0.52	
H20	43	163	101.95	166	0.259155		0.08132		1.17	
H21	35	123	105.21	129	0.270466		0.07001		1.01	
H22	36	81	99.81	81	0.446677		0.10620		1.53	
H23	39	111	100.23	112	0.349775		0.00930		0.13	
H24	35	91	101.57	92	0.379726					

³平成 24 年度原単位を外れ値の検討対象から外した理由

平成 25 年度速報値の算出にあたっては、活動量が入手できる最新年度(平成 24 年度)の原単位(活動量／経済活動指標)を過去の年度(平成 23 年度以前)の原単位を用いて複数の手法で推計し、最新年度の原単位の推計精度が最も高い推計手法を選択するため、平成 24 年度の原単位は外れ値の検討対象外とした。

⁴外れ値候補の検討方法

「原単位－原単位の平均値」を残差とした時、標準化残差(＝残差／原単位の標準偏差)が 2 以上である(95%信頼区間に入らない)場合、その原単位を外れ値候補とする。外れ値候補となった原単位は、外れ値候補となった年次の活動量及び経済活動指標の調査対象にその年度特有の変更点(調査対象の変更等)など明確に外れ値とすべき理由がある場合や専門家の判断により、外れ値として除外する。

(3) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値の算出手法と算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定手順

「等」のアルミ缶の発生量の平成 25 年度速報値は、下記式のとおり算出する。

$$\text{平成 25 年度速報値} = \text{平成 25 年度原単位(推計値)} \times \text{平成 25 年度の経済活動指標(実績値)}$$

上記式における平成 25 年度原単位について、2.6 (1)に示したどの経済活動指標を用いた原単位とするか、及びどの推計手法（下表に示した推計手法 A, B, C）を用いて推計するかを、下記の手順に基づき検討する。

【平成 25 年度速報値の算出に用いる経済活動指標と原単位推計手法の選定手順】

1) 推計手法 A, B, C を用いて、経済活動指標別の下記 4 種類の平成 24 年度の原単位を推計する。

- ①アルミ缶材出荷量を経済活動指標として用いた原単位
- ②使用済み飲料缶(UBC)価格を経済活動指標として用いた原単位
- ③アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)を経済活動指標として用いた原単位
- ④使用済み飲料缶(UBC)価格(1 年度遅らせて指標を適用)を経済活動指標として用いた原単位

2) 1) で得られた平成 24 年度の原単位推計値を用いて、経済活動指標別かつ推計手法別に、平成 24 年度推計値(発生量)を下記式で推計する。

$$\text{平成 24 年度推計値(発生量)} = \text{平成 24 年度の原単位(推計値)} \times \text{平成 24 年度の経済活動指標}$$

3) 2) で得られた経済活動指標別かつ推計手法別の平成 24 年度推計値(発生量)と、今年度循環利用量調査における平成 24 年度確定値(発生量)から乖離率*を算出する。

$$\text{※乖離率(\%)} = \left| \frac{\text{平成 24 年度推計値(発生量)} - \text{平成 24 年度確定値(発生量)}}{\text{平成 24 年度確定値(発生量)}} \right|$$

4) 平成 24 年度確定値(発生量)との乖離率が最も低い値となる原単位(推計値)の経済活動指標及び推計手法を、平成 25 年度速報値推計に用いる原単位とする。

表 17 原単位推計手法

分類	方法
推計手法 A	昨年度原単位を利用
推計手法 B	直近 3 カ年の原単位を用い、4 つのモデル式から最適式を選択
推計手法 C	直近 5 カ年の原単位を用い、4 つのモデル式から最適式を選択

なお、上記の推計手法のうち、推計手法 B, C は表 6 に示した 4 つのモデル式（直線式、指数曲線式、反比例式、成長式）から得られた計算対象年度の値と確定値から決定係数(R²)を求め、4 つのモデル式から最適な（決定係数の値が高い）モデル式を選択し、推計原単位を決定する。

表 18 推計手法 B, C に適用するモデル式

モデル式	モデル式の特徴
(1)直線式 Y=a*X+b	過去の伸び率が将来も継続するモデル式
(2)指数曲線式 Y=a*exp(b*X)	将来的に伸び率が徐々に増加するモデル式
(3)反比例式 Y=a/X+b	将来値が逡減するモデル式
(4)成長式 Y=K/(1+exp(-a*X+b))	設定した目標値に向かって収束するモデル式

※X:年次、Y:推計値、a,b:係数、K:目標値(推計に用いる原単位のうちの最大値の 110%の値と仮定)、exp:e を底とするべき乗

※B 式、C 式は上記(1)～(4)の組み合わせがあることから、以降 B 式の(1)を B-1 式というように略する

(4) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値の算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果

平成25年度速報値の算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果を以下に示す。

(7) 過去年度（平成19年度～平成23年度）原単位を用いた推計手法別の乖離率の算出結果

4つの経済活動指標について、推計別の廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成24年度原単位、原単位を用いて推計した推計値、及び乖離率を示す。

経済活動指標①:アルミ缶材出荷量

「経済活動指標①:アルミ缶材出荷量」を用いて推計した場合は、推計手法C-3(直近5ヶ年の原単位を用い、反比例式で推計)の乖離率6.0%が最も低かった。

表 19 「経済活動指標①:アルミ缶材出荷量」の各手法における決定係数の推計

年度	原単位 確定値	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B 3ヶ年の推計式				推計手法C 5ヶ年の推計式			
			直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	直線式	指数曲線式	反比例式	成長式
			B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4
H19	0.156047						0.132365	0.128642	0.151993	0.139975
H20	0.101759						0.118460	0.114408	0.108339	0.126436
H21	0.084137		0.083408	0.083485	0.083301	0.082917	0.104556	0.101749	0.093788	0.109672
H22	0.086866		0.088324	0.088228	0.089097	0.088869	0.090651	0.090491	0.086512	0.090674
H23	0.093970		0.093241	0.093241	0.092575	0.093299	0.076746	0.080478	0.082147	0.071188
H24	0.084273	0.093970	0.098157	0.098539	0.094894	0.096480	0.062842	0.071574	0.079236	0.053140
定数 a			0.004916	0.070731	-0.069560	0.413291	-0.013905	0.144646	0.087308	-0.457587
定数 b			0.068659	0.055262	0.106487	-0.160014	0.146270	-0.117261	0.064685	-1.943457
K 値						0.103367				0.171651
決定係数			0.9381	0.9455	0.8521	0.8913	0.5522	0.6185	0.9164	0.4818
Rank関数の順位		1	2	1	4	3	3	2	1	4

表 20 「経済活動指標①:アルミ缶材出荷量」の平成24年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア)	経済活動指標	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A	B-2	C-3	A	B-2	C-3	A	B-2	C-3
			千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	%	%
H24	35.0	415,317	39.0	40.9	32.9	4.0	5.9	-2.1	11.5%	16.9%	6.0%

経済活動指標②:使用済み飲料缶(UBC)価格

「経済活動指標②:使用済み飲料缶(UBC)価格」を用いて推計した場合は、推計手法A(平成23年度原単位で推計)の乖離率8.3%が最も低かった。

表 21 「経済活動指標②:使用済み飲料缶(UBC)価格」の各手法における決定係数の推計

年度	原単位	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B 3ヶ年の推計式				推計手法C 5ヶ年の推計式			
			直線式	指数曲線式	反比例式	成長式	直線式	指数曲線式	反比例式	成長式
			B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4
H19	0.397773						0.373808	0.372088	0.384175	0.378912
H20	0.332287						0.377936	0.375632	0.382233	0.384997
H21	0.434269		0.398993	0.395121	0.408693	0.411229	0.382064	0.379210	0.381585	0.390793
H22	0.322869		0.393420	0.390017	0.391071	0.403610	0.386192	0.382823	0.381261	0.396303
H23	0.423123		0.387847	0.384980	0.380497	0.395292	0.390321	0.386470	0.381067	0.401532
H24	0.461232	0.423123	0.382275	0.380007	0.373448	0.386252	0.394449	0.390151	0.380938	0.406486
定数 a			-0.005573	0.410835	0.211471	-0.127227	0.004128	0.368576	0.003884	0.079510
定数 b			0.415712	-0.013000	0.338203	-2.204127	0.369680	0.009481	0.380290	-1.264856
K 値						0.477696				0.477696
決定係数			0.0083	0.0089	0.0539	0.0043	0.0160	0.0165	0.0006	0.0138
Rank関数の順位		1	3	2	1	4	2	1	4	3

表 22 「経済活動指標②:使用済み飲料缶(UBC)価格」の平成24年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア)	経済活動 指標	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A	B-3	C-2	A	B-3	C-2	A	B-3	C-2
			千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	%	%
H24	35.0	76	32.1	28.3	29.6	-2.9	-6.7	-5.4	8.3%	19.0%	15.4%

経済活動指標③:アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)

「経済活動指標③:アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)」を用いて推計した場合は、推計手法 C-3(直近5ヶ年の原単位を用い、反比例式で推計)の乖離率 5.2%が最も低かった。

表 23 「経済活動指標③:アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)」の各手法における決定係数の推計

年度	原単位 確定値	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B				推計手法C			
			3ヶ年の推計式				5ヶ年の推計式			
			直線式 B-1	指数曲線式 B-2	反比例式 B-3	成長式 B-4	直線式 C-1	指数曲線式 C-2	反比例式 C-3	成長式 C-4
H19	0.154868						0.131473	0.127815	0.150974	0.138982
H20	0.100890						0.117433	0.113373	0.107188	0.125377
H21	0.083241		0.082560	0.082627	0.082465	0.082129	0.103393	0.100562	0.092593	0.108497
H22	0.085708		0.087069	0.086987	0.087778	0.087548	0.089353	0.089199	0.085295	0.089374
H23	0.092259		0.091578	0.091578	0.090965	0.091631	0.075313	0.079120	0.080917	0.069818
H24	0.082276	0.092259	0.096087	0.096411	0.093090	0.094612	0.061273	0.070180	0.077998	0.051803
定数 a			0.004509	0.070814	-0.063752	0.392325	-0.014040	0.144098	0.087571	-0.463262
定数 b			0.069034	0.051428	0.103716	-0.268352	0.145514	-0.119904	0.063402	-1.951672
K 値						0.101484				0.170355
決定係数			0.9360	0.9431	0.8490	0.8909	0.5634	0.6308	0.9225	0.4932
Rank関数の順位		1	2	1	4	3	3	2	1	4

表 24 「経済活動指標③:アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)」の平成24年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア) 千トン	経済活動指標 トン	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A 千トン	B-2 千トン	C-3 千トン	A 千トン	B-2 千トン	C-3 千トン	A %	B-2 %	C-3 %
H24	35.0	425,395	39.2	41.0	33.2	4.2	6.0	-1.8	12.1%	17.2%	5.2%

経済活動指標④:使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)

「経済活動指標④:使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)」を用いて推計した場合は、推計手法 C-2(直近5ヶ年の原単位を用い、指数曲線式で推計)の乖離率 1.0%が最も低かった。

表 25 「経済活動指標④:使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)」の各手法における決定係数の推計

年度	原単位	推計手法A 昨年度と 同じ原単位	推計手法B				推計手法C			
			3ヶ年の推計式				5ヶ年の推計式			
			直線式 B-1	指数曲線式 B-2	反比例式 B-3	成長式 B-4	直線式 C-1	指数曲線式 C-2	反比例式 C-3	成長式 C-4
H19	0.376286						0.313572	0.307893	0.340772	0.318866
H20	0.259155						0.327022	0.320403	0.340496	0.336660
H21	0.270466		0.315985	0.306286	0.301481	0.337493	0.340472	0.333422	0.340404	0.353413
H22	0.446677		0.355639	0.348309	0.363971	0.371969	0.353922	0.346970	0.340358	0.369010
H23	0.349775		0.395294	0.396098	0.401466	0.400792	0.367372	0.361068	0.340330	0.383383
H24	0.379726	0.349775	0.434948	0.450444	0.426462	0.423918	0.380822	0.375740	0.340312	0.396501
定数 a			0.039654	0.208264	-0.749888	0.350982	0.013450	0.295871	0.000552	0.163189
定数 b			0.197022	0.128571	0.551443	0.267388	0.300122	0.039829	0.340220	-0.451313
K 値						0.491344				0.491344
決定係数			0.2019	0.1730	0.3276	0.2448	0.0749	0.0793	0.0000	0.0673
Rank関数の順位		1	3	4	1	2	2	1	4	3

表 26 「経済活動指標④:使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)」の平成24年度推計値の算出と、乖離率の推計結果

年度	確定値 (ア) 千トン	経済活動指標 円/kg	推計値(イ)			確定値と推計値の差(ウ)=(イ)-(ア)			乖離率(エ)= (ウ)/(ア)		
			A 千トン	B-3 千トン	C-2 千トン	A 千トン	B-3 千トン	C-2 千トン	A %	B-3 %	C-2 %
H24	35.0	92	32.2	39.3	34.6	-2.8	4.3	-0.4	7.9%	12.3%	1.0%

(イ) 平成25年度速報値算出に用いる経済活動指標及び原単位推計手法の選定結果

下表のとおり、経済活動指標①～④の乖離率を比較した結果、最も乖離率が低いのは、「経済活動指標④：使用済み飲料缶（UBC）価格（1年度遅らせて適用）」の推計手法 C-2（直近5ヶ年の原単位を用い、指数曲線式で推計）で得られた原単位となった。

表 27 各経済活動指標の乖離率の比較

	経済活動指標① アルミ缶材出荷量 (原単位の単位：トン/トン)			経済活動指標② 使用済み飲料缶（UBC）価格 (原単位の単位：千トン/(円/kg))			経済活動指標③ アルミ缶材出荷量－アルミ缶輸 出量＋アルミ缶輸入力 (原単位の単位：トン/トン)			経済活動指標④ 使用済み飲料缶（UBC）価格 (1年度遅らせて適用) (原単位の単位： 千トン/(円/kg))		
	A	B-2	C-3	A	B-3	C-2	A	B-2	C-3	A	B-3	C-2
原単位	0.09397	0.09854	0.07924	0.42312	0.37345	0.39015	0.09226	0.09641	0.07800	0.34977	0.42646	0.37574
乖離率	11.5%	16.9%	6.0%	8.3%	19.0%	15.4%	12.1%	17.2%	5.2%	7.9%	12.3%	1.0%
選択												●

以上により、平成25年度速報値の算出方法は下記の式のとおり決定した。

平成25年度速報値(廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量)
 = 直近5ヶ年の原単位を用いて指数曲線式で推計した原単位(経済活動指標として使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)を用いる)
 × 平成25年度の経済活動指標(使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用))

(5) 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値の算出結果

下表のとおり、「経済活動指標④：使用済み飲料缶（UBC）価格（1年度遅らせて適用）」を活動指標とした原単位を推計手法C-2（直近5ヶ年の指数曲線式）により推計した結果は0.454（千トン/（円/kg））となり、平成25年度の経済活動指標75.5（円/kg）に乗じた結果、廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値は34.3千トンとなった。

表 28 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成25年度速報値の算出結果

平成25年度 原単位 （推計値）	経済活動指標④ 使用済み飲料缶 （UBC）価格（1年度遅 らせて適用） 平成25年度値	廃棄物等の 「等」のアルミ缶の発生量 の平成25年度速報値
千トン/（円/kg）	円/kg	千トン
0.454	75.5	34.3

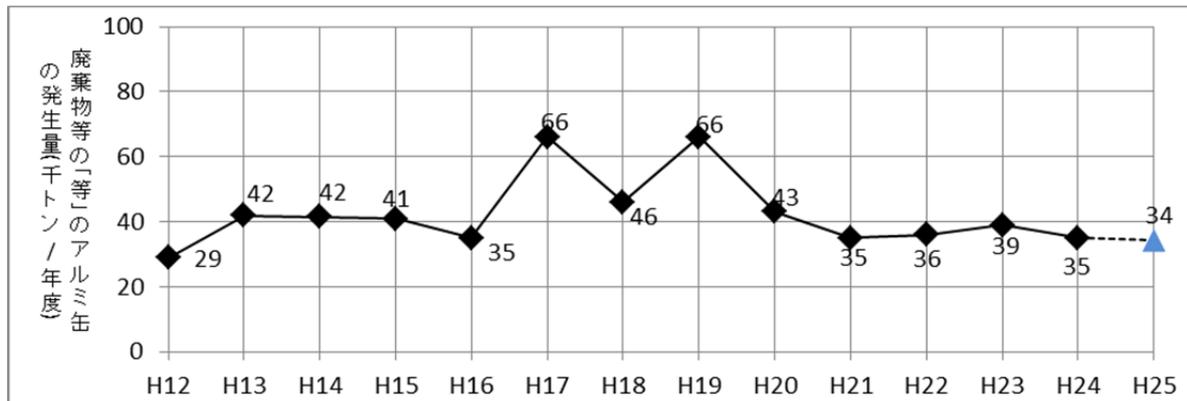


図 5 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の推移及び推計値(平成 25 年度)

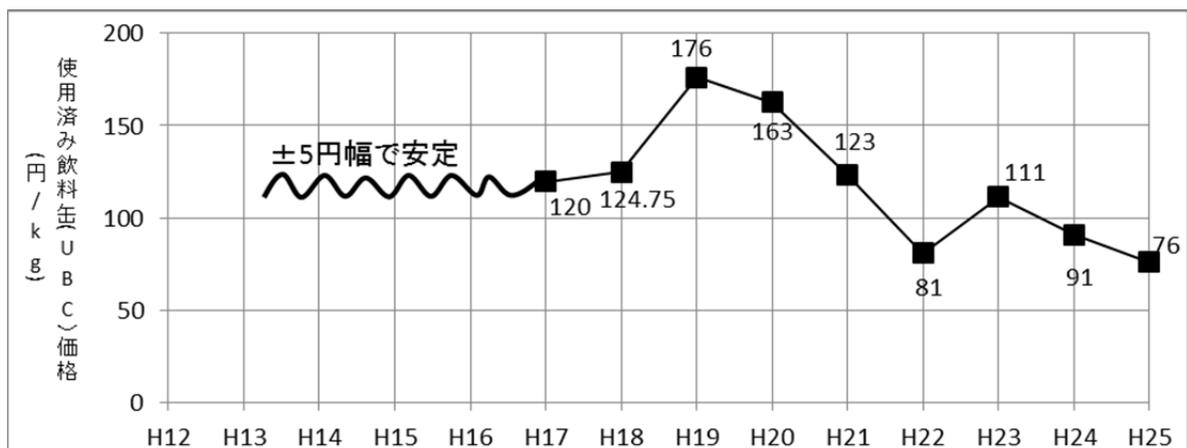


図 6 使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて適用)の推移(推計に利用した経済活動指標)

3 精度向上対応

3.1 災害廃棄物の平成24年度確定値の算出方法

(1) 算出方法の概要

「平成 25 年度一般廃棄物処理事業実態調査（平成 24 年度実績）」（以下、「一廃統計（平成 23 年度実績）」という）から、災害廃棄物の平成 24 年度確定値を算出する方法は、平成 24 年度速報値時点の算出方法と同様とし、利用している組成調査や加重平均に用いたデータの更新・追加を行った。

(7) 一廃統計（平成24年度実績）の収集区分に基づく災害廃棄物の平成24年度確定値の算出

本調査における災害廃棄物の平成 24 年度確定値の算出では、GHG インベントリ用途を踏まえ、一廃統計における 30 の収集区分別⁵に発生量、循環利用量、減量化量、最終処分量等の推計を行う。

一廃統計（平成 24 年度実績）における災害廃棄物の調査結果では、表 29 に示したとおり、搬入量及び資源化量については、収集区分合計及び収集区分別に値が把握できるが、焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量及び最終処分量については、収集区分合計値しか把握できない。

このため、本調査では、収集区分合計値しか把握できない焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却処理量及び最終処分量について、収集区分別に把握されている量を用いて収集区分別内訳比率を作成し、収集区分別合計値に乗じて按分を行う。

得られた収集区分別のごみ処理状況を、本調査における算出結果の取りまとめ形式に従って集計して災害廃棄物の平成 24 年度確定値を算出する。

表 29 一廃統計から把握できる量と収集区分の関係

一廃統計の災害廃棄物のごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	
搬入量	直接資源化	●	●	
	直接埋立	●	●	
	海洋投入	●	●	
	中間処理施設	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
	その他の施設	●	●	
焼却施設(直接焼却)	●	●		
焼却施設以外の中間処理	粗大ごみ処理施設	●		
	ごみ堆肥化施設	●		
	ごみ飼料化施設	●		
	メタン化施設	●		
	ごみ燃料化施設	●		
	資源化等を行う施設	●		
	セメント等への直接投入	●		
その他の施設	●			
焼却施設での処理量	直接焼却	●		
	粗大ごみ処理施設	●		
	ごみ堆肥化施設	●		
	ごみ飼料化施設	●		
	メタン化施設	●		
	ごみ燃料化施設	●		
	資源化等を行う施設	●		
セメント等への直接投入	●			
その他の施設	●			
資源化量	直接資源化量	●	●	
	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
セメント等への直接投入	●	●		
焼却施設	●	●		
最終処分量	直接最終処分量(海洋投入含む)	●	●	
	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
セメント等への直接投入	●	●		
その他の施設	●	●		
焼却施設	●	●		

●:一廃統計で値が把握できる量

(イ) 一廃統計の（平成24年度実績）の収集区分のうち、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目への按分

一廃統計（平成 24 年度実績）の収集区分のうち、「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」については、地方公共団体における東日本大震災により発生した災害廃棄物に関する公表資料等から、ごみ処理状況に応じた品目別内訳比率を設定して内訳品目への按分を行う。

⁵ 一廃統計における災害廃棄物の収集区分は、「木くず」「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」「石綿含有廃棄物等」「PCB 廃棄物」「有害物、危険物」「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「家電 4 品目」「パソコン」「自動車」「FRP 船」「鋼船」「その他船舶」「量」「漁網」「タイヤ」「その他家電」「消火器」「ガスボンベ」「土石類」「津波堆積物」「その他」「海洋投入」「漂着ごみ」「除染廃棄物※平成 24 年度実績より追加

(2)一廃統計（平成24年度実績）の収集区分に基づく災害廃棄物の平成24年度確定値の算出のために必要な推計項目

(7) 災害廃棄物の平成24年度確定値の算出のために必要な推計項目

災害廃棄物の平成24年度確定値の算出のために必要な推計項目を、下記表30に示した。

表中の●で示した項目は、一廃統計（平成24年度実績）の災害廃棄物に関する取りまとめ結果から直接把握が可能な項目であり、災害廃棄物の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、資源化量及び最終処分量の収集区分別合計値と、収集区分別の資源化量の値をそのまま利用する。

表中の○で示した項目は、本調査で推計を行う項目であり、

- ・収集区分別に値が必要な直接最終処分（埋立処分、海洋投入処分）及び焼却処理量（直接焼却、処理後焼却）の推計方法については、「(3)収集区分別の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量の推計」に示した。
- ・収集区分のうち品目別に値が必要な「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目の推計方法については、「(4)一廃統計の収集区分のうち、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目への按分」に示した。
- ・減量化量については、一廃統計からは把握できないため、以下の算出式を用いて収集区分合計値のみ算出を行う。

$$\text{減量化量} = \text{発生量} - (\text{循環利用量} + \text{最終処分量})$$

表 30 災害廃棄物の平成24年度確定値の算出のために必要な推計項目

- :平成25年度一廃統計(平成24年度実績)の災害廃棄物に関する取りまとめ結果から直接把握が可能な項目
- :平成26年度本調査の平成24年度確定値で値を推計する項目
- :物質フロー作成に必要な項目
- :GHGインベントリ算出に必要な項目

単位:トン/年

処理項目	災害廃棄物の区分																														
	小計	木くず	金属くず	コンクリートがら	その他がれき類	石綿含有廃棄物等	PCB廃棄物	有害物、危険物	資源ごみ、粗大ごみ	混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ	プラスチック類	その他可燃物	その他不燃物	家電4品目	パソコン	自動車	FRP船	鋼船	その他船舶	量	漁網	タイヤ	その他家電	消火器	ガスボンベ	土石類	津波堆積物	その他	海洋投入	漂着ごみ	除染廃棄物
発生量	●																														
循環利用量	●																														
処理後循環利用量																															
焼却施設																															
粗大ごみ処理施設		○																													
ごみ焼却施設		○																													
メタン化施設		○																													
ごみ燃料化施設		○																													
その他の資源化等を行う施設		○																													
セメント等への直接投入		○																													
最終処分量	●																														
直接最終処分量																															
埋立処分		○																													
海洋投入処分		○																													
処理後最終処分量																															
埋立処分		○																													
焼却処理後		○																													
焼却以外の中間処理後		○																													
焼却処理量																															
直接焼却		○																													
処理後焼却		○																													
減量化量 ²⁾	●																														

注1:物質フローでは「減量化量」(小計)が必要となるため、本調査では、上記表の「発生量」(小計)から「循環利用量」(小計)及び「最終処分量」(小計)を差し引いた値を「減量化量」(小計)とした。

(イ)一廃統計（平成24年度実績）の取りまとめと循環利用量調査における平成24年度確定値算出のために必要な推計項目の関係

一廃統計（平成 24 年度実績）の取りまとめと、循環利用量調査における平成 24 年度確定値算出のために必要な推計項目の対応関係を下表に示す。

表 31 一廃統計における整理と、循環利用量調査における整理との関係

一廃統計(平成24年度実績)における整理

循環利用量調査における平成24年度確定値算出過程での整理

対応番号	一廃統計(平成24年度実績)の災害廃棄物のごみ処理状況
	直接資源化
	直接埋立
	海洋投入
	搬入量
	中間処理施設
	粗大ごみ処理施設
	ごみ堆肥化施設
	ごみ飼料化施設
	メタン化施設
	ごみ燃料化施設
	資源化等を行う施設
	セメント等への直接投入
	その他の施設
	焼却施設(直接焼却)
No.1	理焼
No.2	施設
No.3	設以
No.4	理に外
No.5	量おの
No.6	け中間
No.7	る間処
No.8	処処
No.9	焼却
No.10	直接焼却
No.11	粗大ごみ処理施設
No.12	ごみ堆肥化施設
No.13	ごみ飼料化施設
No.14	メタン化施設
No.15	ごみ燃料化施設
No.16	資源化等を行う施設
No.17	セメント等への直接投入
No.18	その他の施設
No.19	直接資源化量
No.20	粗大ごみ処理施設
No.21	ごみ堆肥化施設
No.22	ごみ飼料化施設
No.23	メタン化施設
No.24	ごみ燃料化施設
No.25	資源化等を行う施設
No.26	セメント等への直接投入
No.27	焼却施設
No.28	直接最終処分量(海洋投入含む)
No.29	粗大ごみ処理施設
No.30	ごみ堆肥化施設
No.31	ごみ飼料化施設
No.32	メタン化施設
No.33	ごみ燃料化施設
No.34	資源化等を行う施設
No.35	セメント等への直接投入
No.36	その他の施設
	最終処分量
	焼却施設

対応記号	循環利用量調査における算出過程での整理
(あ)	発生量
	No.18 + No.27+ No.1+No.2+No.3+No.4+No.5+No.6+No.7+No.8+No.9
(い)	循環利用量
	No.18 + No.19+No.20+No.21+No.22+No.23+No.24+No.25+No.26
	直接循環利用量
	No.18
	処理後循環利用量
	No.19+No.20+No.21+No.22+No.23+No.24+No.25+No.26
	焼却施設
	No.26
	粗大ごみ処理施設
	No.19
	ごみ堆肥化施設
	No.20
	ごみ飼料化施設
	No.21
	メタン化施設
	No.22
	ごみ燃料化施設
	No.23
	その他の資源化等を行う施設
	No.24
	セメント等への直接投入
	No.25
(う)	最終処分量
	No.27+No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	直接最終処分量
	No.27
	埋立処分
	No.27接分
	海洋投入処分
	No.27接分
	処理後最終処分量
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	埋立処分
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35+No.36
	焼却処理後
	No.36
	焼却以外の中間処理後
	No.28+No.29+No.30+No.31+No.32+No.33+No.34+No.35
	焼却処理量
	No.9+No.10+No.11+No.12+No.13+No.14+No.15+No.16+No.17
	直接焼却
	No.9
	処理後焼却
	No.10+No.11+No.12+No.13+No.14+No.15+No.16+No.17
	減量化量 ^{注1}
	(あ)-{(い)+(う)}

※「減量化量」は(あ)発生量- [(い)循環利用量+(う)最終処分量]で算出する。

※直接最終処分量の埋立処分及び海洋投入処分は下記の様に按分した。

- 一廃統計の直接最終処分量(海洋投入含む)の合計量を、一廃統計の搬入量ベースの埋立処分合計値と海洋投入処分合計値で按分する。
埋立処分=直接最終処分量(海洋投入含む)×埋立処分/(埋立処分+海洋投入)
海洋投入=直接最終処分量(海洋投入含む)×海洋投入/(埋立処分+海洋投入)
- 埋立処分の合計量と海洋投入の合計量に、搬入量から作成したそれぞれの内訳比率を乗じて収集区別別に按分する。

(3) 収集区分別の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量の推計

(7) 焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量を収集区分別に按分する収集区分別内訳比率の設定方法

収集区分別の焼却以外の中間処理施設における処理量、焼却施設での処理量、最終処分量の推計については、収集区分別に値が把握できる搬入量又は資源化量を基に設定した(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率又は(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率のいずれかを用いて、収集区分別の量への按分を行う。

(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率の推計式

収集区分別内訳比率 A_i = ごみ処理状況 i の収集区分別搬入量 / ごみ処理状況 i の搬入量合計

i : 直接最終処量(海洋投入含む)、粗大ごみ処理施設への搬入量、ごみ堆肥化施設への搬入量、ごみ飼料化施設への搬入量、メタン化施設への搬入量、ごみ燃料化施設への搬入量、資源化等を行う施設への搬入量、セメント等への直接投入、その他の施設、焼却施設(直接焼却)

(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率の推計式

収集区分別内訳比率 B_j = 中間処理施設 j の収集区分別処理後再生利用量 / 中間処理施設 j の処理後再生利用量計

j : 粗大ごみ処理施設、ごみ堆肥化施設、ごみ飼料化施設、メタン化施設、ごみ燃料化施設、資源化等を行う施設、セメント等への直接投入、焼却施設(直接焼却)

表 32 (再掲) 一廃統計から把握できる値と収集区分の関係

一廃統計の災害廃棄物の ごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	
搬入量	直接資源化	●	●	
	直接埋立	●	●	
	海洋投入	●	●	
	中間 処理 施設	粗大ごみ処理施設	●	●
		ごみ堆肥化施設	●	●
		ごみ飼料化施設	●	●
		メタン化施設	●	●
		ごみ燃料化施設	●	●
		資源化等を行う施設	●	●
		セメント等への直接投入	●	●
		その他の施設	●	●
焼却施設(直接焼却)	●	●		
焼却 施設以 外の 中間 処理 施設	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
	その他の施設	●	●	
焼却 施設 での 処理 量	直接焼却	●	●	
	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
その他の施設	●	●		
資源化量	直接資源化量	●	●	
	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
焼却施設	●	●		
最終 処分量	直接最終処量(海洋投入含む)	●	●	
	粗大ごみ処理施設	●	●	
	ごみ堆肥化施設	●	●	
	ごみ飼料化施設	●	●	
	メタン化施設	●	●	
	ごみ燃料化施設	●	●	
	資源化等を行う施設	●	●	
	セメント等への直接投入	●	●	
焼却施設	●	●		

●: 一廃統計で値が把握できる量

本調査で直接用いる値

下表に示したとおり、(A)の搬入量から作成する収集区分別内訳比率は全てのごみ処理状況で用いることができ、(B)の処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率は「その他の施設」及び「直接最終処分量（海洋投入含む）」を除いたごみ処理状況で用いることができる。(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率しか適用できないごみ処理状況については(A)の収集区分別内訳比率を用いることとし、それ以外のごみ処理状況については、(A)搬入量から作成する収集区分別内訳比率と(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率の2通りの収集区分別内訳比率を用いることができる。

表 33 作成可能な内訳比率の範囲A1～A11、B1～B8は表 32(再掲)に記載

一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況		(A)搬入量から作成した内訳比率の適用範囲	(B)処理後再生利用量から作成した内訳比率の適用範囲
処理施設以外の中間	焼却	A3	B1
	粗大ごみ処理施設	A4	B2
	ごみ堆肥化施設	A5	B3
	ごみ飼料化施設	A6	B4
	メタン化施設	A7	B5
	ごみ燃料化施設	A8	B6
	資源化等を行う施設	A9	B7
	セメント等への直接投入	A10	
	その他の施設		
	焼却施設での処理量	直接焼却	A11
最終処分量	粗大ごみ処理施設	A3	B1
	ごみ堆肥化施設	A4	B2
	ごみ飼料化施設	A5	B3
	メタン化施設	A6	B4
	ごみ燃料化施設	A7	B5
	資源化等を行う施設	A8	B6
	セメント等への直接投入	A9	B7
	その他の施設	A10	
	焼却施設	A11	B8
	中間処理後残渣	直接最終処分量(海洋投入含む)	A1, A2

収集区分内訳比率の設定方法の基本的な考え方は、以下のとおり。

- ・ (A)搬入量から作成する収集区分内訳比率と (B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を両方適用できる場合にあつて、ごみ処理量の概念が「直接処理に向かった廃棄物量であるもの」については、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用する。
- ・ (A)搬入量から作成する収集区分内訳比率と (B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を両方適用できる場合にあつて、ごみ処理量の概念が「中間処理後の廃棄物量であるもの」については、(B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を適用する。
- ・ 搬入量から作成する収集区分内訳比率のみ適用できる場合にあつては、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用する。

平成 24 年度確定値の算出にあたっては、上記の考え方に従つて次のとおり設定した。

- ・ 中間処理後に焼却処理に向かった廃棄物量である「焼却以外の中間処理施設における処理量（その他の施設を除く）」及び直接焼却施設に向かった廃棄物量である「直接焼却」は、中間処理施設や焼却施設（直接焼却）に向かった廃棄物量である (A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用した。
- ・ 中間処理後に焼却処理に向かった廃棄物量である「処理後焼却量（その他の施設を除く）」及び中間処理後に最終処分に向かった廃棄物量である「中間処理後残渣（その他の施設を除く）」は、中間処理後に再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量である (B)処理後再生利用量から作成する収集区分別内訳比率を適用した。
- ・ 搬入量のデータのみ利用可能である「その他の施設」及び「直接最終処分量」については、(A)搬入量から作成する収集区分内訳比率を適用した。

表 34 一廃統計から把握できる量及びごみ処理量の概念と適用する収集区分別内訳比率の関係

●一廃統計で把握できる量								
一廃統計の一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況		収集区分合計値	収集区分別	ごみ処理量の概念		適用する比率		
搬入量	直接資源化	●	●	直接資源化に向かった廃棄物量				
	直接埋立	●	● A1	直接埋立に向かった廃棄物量				
	海洋投入	●	● A2	海洋投入に向かった廃棄物量				
	粗大ごみ処理施設	●	● A3	粗大ごみ処理施設に向かった廃棄物量				
	ごみ堆肥化施設	●	● A4	ごみ堆肥化施設に向かった廃棄物量				
	ごみ飼料化施設	●	● A5	ごみ飼料化施設に向かった廃棄物量				
	メタン化施設	●	● A6	メタン化施設に向かった廃棄物量				
	ごみ燃料化施設	●	● A7	ごみ燃料化施設に向かった廃棄物量				
	資源化等を行う施設	●	● A8	資源化等を行う施設に向かった廃棄物量				
	セメント等への直接投入	●	● A9	セメント等への直接投入に向かった廃棄物量				
	その他の施設	●	● A10	その他の施設に向かった廃棄物量				
焼却以外の中間処理施設における処理量	焼却施設(直接焼却)	●	● A11	焼却施設(直接焼却)に向かった廃棄物量				
	粗大ごみ処理施設	●	●	粗大ごみ処理施設で中間処理に向かった廃棄物量		A3		
	ごみ堆肥化施設	●	●	ごみ堆肥化施設で中間処理に向かった廃棄物量		A4		
	ごみ飼料化施設	●	●	ごみ飼料化施設で中間処理に向かった廃棄物量		A5		
	メタン化施設	●	●	メタン化施設で中間処理に向かった廃棄物量		A6		
	ごみ燃料化施設	●	●	ごみ燃料化施設で中間処理に向かった廃棄物量		A7		
	資源化等を行う施設	●	●	資源化等を行う施設で中間処理に向かった廃棄物量		A8		
	セメント等への直接投入	●	●	セメント等への直接投入に向かった廃棄物量		A9		
	その他の施設	●	●	その他の施設で中間処理に向かった廃棄物量		A10		
	焼却施設での処理量	直接焼却	●	●	直接焼却施設に向かった廃棄物量		A11	
		粗大ごみ処理施設	●	●	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B1	
ごみ堆肥化施設		●	●	ごみ堆肥化施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B2		
ごみ飼料化施設		●	●	ごみ飼料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B3		
メタン化施設		●	●	メタン化施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B4		
ごみ燃料化施設		●	●	ごみ燃料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B5		
資源化等を行う施設		●	●	資源化等を行う施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B6		
セメント等への直接投入		●	●	セメント等への直接投入後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		B7		
その他の施設		●	●	その他の施設の中間処理後の廃棄物のうち、焼却施設に向かった廃棄物量		A10		
資源化量		直接資源化量	●	●	直接資源化に向かった廃棄物量又は資源化量			
		粗大ごみ処理施設	●	● B1	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量			
	ごみ堆肥化施設	●	● B2	ごみ堆肥化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	ごみ飼料化施設	●	● B3	ごみ飼料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	メタン化施設	●	● B4	メタン化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	ごみ燃料化施設	●	● B5	ごみ燃料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	資源化等を行う施設	●	● B6	資源化等を行う施設の中間処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	セメント等への直接投入	●	● B7	セメント等への直接投入後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
	焼却施設	●	● B8	焼却施設での焼却処理後の廃棄物のうち、再生利用に向かった廃棄物量又は再生利用量				
最終処分量	直接最終処分量(海洋投入含む)	●	●	直接最終処分に向かった廃棄物量		A1, A2		
	粗大ごみ処理施設	●	●	粗大ごみ処理施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B1		
	ごみ堆肥化施設	●	●	ごみ堆肥化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B2		
	ごみ飼料化施設	●	●	ごみ飼料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B3		
	メタン化施設	●	●	メタン化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B4		
	ごみ燃料化施設	●	●	ごみ燃料化施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B5		
	資源化等を行う施設	●	●	資源化等を行う施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B6		
	セメント等への直接投入	●	●	セメント等への直接投入後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B7		
	その他の施設	●	●	その他の施設の中間処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		A10		
焼却施設	●	●	焼却施設での焼却処理後の廃棄物のうち、最終処分に向かった廃棄物量		B8			

(4)一廃統計の収集区分のうち、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳品目への按分

(ア)「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定方法

災害廃棄物の GHG インベントリ算出については、一廃統計（平成 24 年度実績）で公表されている災害廃棄物の収集区分別に推計方法の検討が行われるため、本調査における平成 24 年度確定値の算出では、一廃統計（平成 24 年度実績）の収集区分別に整理を行っている。

ただし、収集区分のうち「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」については、GHG インベントリにおける利用用途を踏まえ、品目別内訳比率による按分を行う。

按分に必要となる品目別内訳比率と、一廃統計（平成 24 年度実績）のごみ処理状況の対応関係を表 35 に示す。中間処理施設、直接最終処分及び直接資源化ごとに、「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率を設定することにより、一廃統計（平成 24 年度実績）における災害廃棄物のごみ処理状況の全て項目について品目別内訳比率が適用可能となり、本調査における平成 24 年度確定値を品目別に按分することができる。

表 35 品目別内訳比率と、一廃統計における災害廃棄物のごみ処理状況の対応関係

中間処理施設、直接最終処分、直接資源化における収集区分ごとの品目別内訳比率	収集区分				
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
焼却施設	C1	C2	C3	C4	C5
資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5
セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
ごみ飼料化施設					
メタン化施設					
ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
直接最終処分	J1	J2	J3	J4	J5
直接資源化	K1	K2	K3	K4	K5

一廃統計における一般廃棄物(災害廃棄物)のごみ処理状況	収集区分					
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	
処理施設外における中間処理施設	粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5
	ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5
	ごみ飼料化施設					
	メタン化施設					
	ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5
	資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5
	セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5
	その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5
	直接焼却	C1	C2	C3	C4	C5
	焼却施設での処理量	G1	G2	G3	G4	G5
ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5	
ごみ飼料化施設						
メタン化施設						
ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5	
資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5	
セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5	
その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5	
直接資源化量	K1	K2	K3	K4	K5	
資源化量	G1	G2	G3	G4	G5	
ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5	
ごみ飼料化施設						
メタン化施設						
ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5	
資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5	
セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5	
焼却施設	C1	C2	C3	C4	C5	
直接最終処分量	J1	J2	J3	J4	J5	
最終処分量	G1	G2	G3	G4	G5	
粗大ごみ処理施設	G1	G2	G3	G4	G5	
ごみ堆肥化施設	H1	H2	H3	H4	H5	
ごみ飼料化施設						
メタン化施設						
ごみ燃料化施設	I1	I2	I3	I4	I5	
資源化等を行う施設	D1	D2	D3	D4	D5	
セメント等への直接投入	F1	F2	F3	F4	F5	
その他の施設	E1	E2	E3	E4	E5	
焼却施設	C1	C2	C3	C4	C5	

※ごみ飼料化施設及びメタン化施設については、一般廃棄物(災害廃棄物)では一廃統計上値が計上されていない。

次に、「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」をどのような内訳品目に整理するののかについては、GHG インベントリにおける用途と地方公共団体の災害廃棄物の実態調査結果等に基づき下記のように設定する。

- 地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いたごみ処理状況別の品目別内訳比率の設定
 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」のごみ処理状況別の内訳比率については、地方公共団体の災害廃棄物実態調査結果から把握した品目名のまま比率を設定、又は通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を除く)における品目名のまま内訳比率を設定する。
- ごみ処理状況別に把握した内訳品目の統合
 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」のごみ処理状況別に把握した内訳品目について、GHG インベントリにおける用途を踏まえ下記の方針で統合する。
- 1) 災害廃棄物の GHG インベントリでは、一廃統計の収集区分別に推計方法が検討されるため、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した廃棄物のうち、災害廃棄物の収集区分*1として把握できるものについては、災害廃棄物で公表されている収集区分の名称のまま品目として設定する。
 ※1 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」以外の収集区分
 - 2) 地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いて「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した品目のうち、1) で設定した品目を除き、プラスチック類(化石燃料由来の廃棄物)として把握できるものについては、GHG インベントリ算出用途から「プラスチック類」として設定する。
 - 3) 地方公共団体の災害廃棄物実態調査等を用いて「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の内訳として設定した品目のうち、1) 及び 2) で設定した品目として整理できないものについては、GHG インベントリ算出用途から、可燃系の廃棄物と不燃系の廃棄物に分けて整理を行い、それぞれ「その他可燃物」「その他不燃物」として整理を行う。

上記の内訳品目の設定方針に従い、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の5収集区分のそれぞれについて、下図のとおり7品目に按分して整理する。

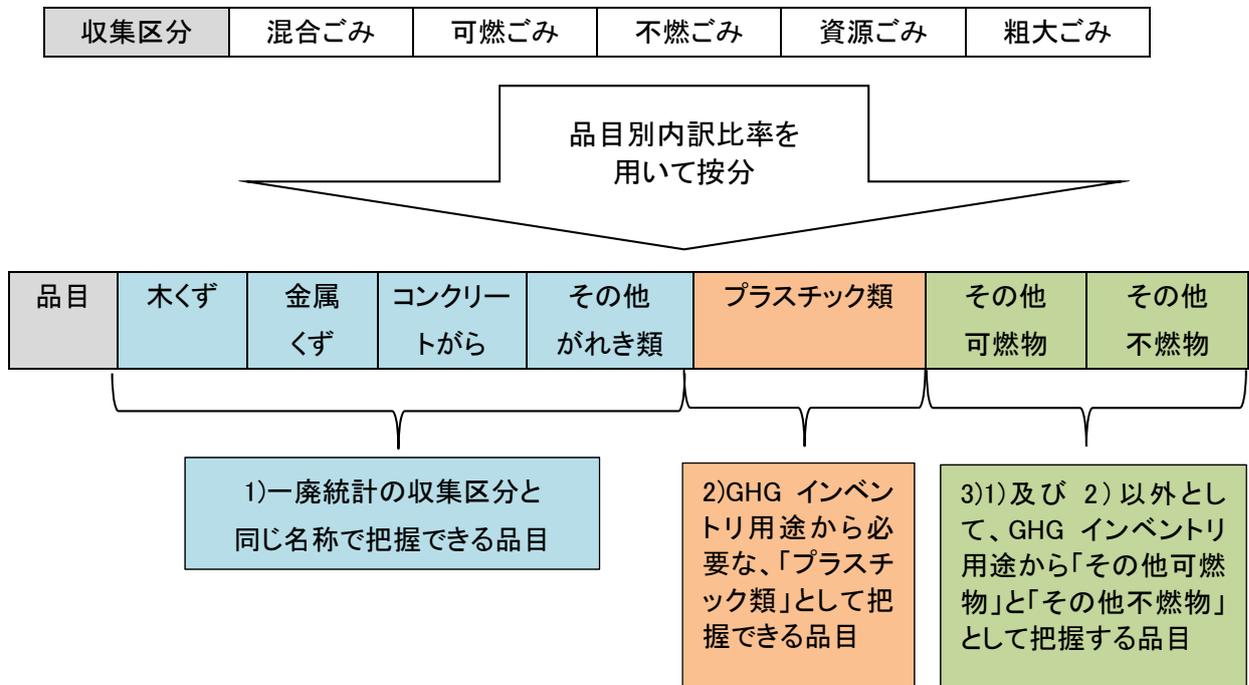


図 7 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する内訳品目の設定

(5) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定

地方公共団体の災害廃棄物に関する公表資料等を用いた「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値を以降の表に示す。

表 36 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出への適用案)																																																																																																																																																																																																								
	混合ごみ		可燃ごみ		不燃ごみ	資源ごみ		粗大ごみ	混合ごみ		可燃ごみ		不燃ごみ	資源ごみ		粗大ごみ																																																																																																																																																																																														
	既設焼却炉					既設焼却炉																																																																																																																																																																																																								
焼却施設	<p>○設定方法 宮城県「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量、及び宮城県の「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の推計重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物発生量で加重平均して比率を設定する。</p>					<p>○設定方法 一廃統計(平成24年度実績)の焼却施設の「不燃ごみ」については、平成23年度と同様、全量が太平洋セメント大船渡工場で焼却処理されていることから、太平洋セメント大船渡工場の現地調査結果(搬入される不燃ごみは、20mm以下の土砂類)を踏まえ、すべて「その他不燃物」と設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 仙台市の「平成24年度一般廃棄物処理年報(平成24年度実績)」から、「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全発生量で加重平均して比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 仙台市の「平成24年度一般廃棄物処理年報(平成24年度実績)」から、「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>					<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成24年度確定値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>																																																																																																																																																																					
	○設定値					○設定値					○設定値					○設定値																																																																																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>33.5%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.2%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>45.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	33.5%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.5%	その他可燃	13.2%	その他不燃物	45.8%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>43.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>51.3%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	43.6%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	51.3%	その他不燃物	1.8%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.8%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.6%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.8%	その他可燃	31.6%	その他不燃物	24.5%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>56.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	56.7%	その他不燃物	1.9%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.4%	合計
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	33.5%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	7.5%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	13.2%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	45.8%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	43.6%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	51.3%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	1.8%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	100.0%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	14.8%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	31.6%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	56.7%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	1.9%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	24.4%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
<p>仮設焼却炉</p> <p>宮城県、仙台市、岩手県の仮設焼却炉のごみ組成データを基に、仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、平成24年度速報値の品目別焼却処理量を算出する。</p>					<p>仮設焼却炉</p> <p>宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県の仮設焼却炉のごみ組成データを基に、仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、平成24年度確定値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出における基本方針、品目別内訳比率の設定方法、試算した設定値及びその適用方法については、「後述の焼却処理施設の品目別内訳比率の設定方法」で詳述する。</p>																																																																																																																																																																																																									
その他の資源化等を行う施設 その他の施設	○設定方法(焼却施設に同じ)					○設定方法(焼却施設に同じ)					○設定方法(焼却施設に同じ)					○設定方法(焼却施設に同じ)					○設定方法(焼却施設に同じ)																																																																																																																																																																																									
	○設定値					○設定値					○設定値					○設定値					○設定値																																																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>33.5%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.2%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>45.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	33.5%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.5%	その他可燃	13.2%	その他不燃物	45.8%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>43.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>51.3%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	43.6%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	51.3%	その他不燃物	1.8%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>84.4%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.3%	コンクリートがら	84.4%	その他がれき類	4.2%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	1.1%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.8%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.6%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.8%	その他可燃	31.6%	その他不燃物	24.5%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>87.8%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	87.8%	その他がれき類	5.8%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.8%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>					品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.4%	合計
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	33.5%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	7.5%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	13.2%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	45.8%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	43.6%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	51.3%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	1.8%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	10.3%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	84.4%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	4.2%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	1.1%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	14.8%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	31.6%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	87.8%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	5.8%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	0.8%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																																													
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																																													
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																																													
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																																													
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																																													
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																																													
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																																													
その他不燃物	24.4%																																																																																																																																																																																																													
合計	100.0%																																																																																																																																																																																																													

表 37 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出への適用案)																																																																												
	混合ごみ	可燃ごみ	収集区分 不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	収集区分 不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																								
セメントへの直接投入	混合ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。	○設定方法 可燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 平成25年度に行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。 ○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>67.5%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>16.5%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	67.5%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	16.5%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.3%	その他不燃物	9.6%	合計	100.0%	○設定方法 不燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とする。 ○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	資源ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。	粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。	混合ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。	○設定方法 可燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 平成25年度に行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「可燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。 ○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>68.4%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>15.6%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	68.4%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	15.6%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.5%	その他不燃物	9.3%	合計	100.0%	(セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。 ○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	資源ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。	粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	67.5%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	16.5%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.3%																																																																																	
その他不燃物	9.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	68.4%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	15.6%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.5%																																																																																	
その他不燃物	9.3%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
粗大ごみ処理施設	○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成23年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。 ○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>19.3%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.4%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>26.6%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	19.3%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.8%	プラスチック類	14.4%	その他可燃	28.8%	その他不燃物	26.6%	合計	100.0%	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成24年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。 ○設定値 ・実績年度の更新 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>20.4%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	20.4%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.8%	プラスチック類	15.2%	その他可燃	28.8%	その他不燃物	24.7%	合計	100.0%	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																				
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	19.3%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.8%																																																																																	
プラスチック類	14.4%																																																																																	
その他可燃	28.8%																																																																																	
その他不燃物	26.6%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	20.4%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.8%																																																																																	
プラスチック類	15.2%																																																																																	
その他可燃	28.8%																																																																																	
その他不燃物	24.7%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
ごみ堆肥化施設	ごみ堆肥化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					ごみ堆肥化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																																																												
ごみ飼料化施設	ごみ飼料化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					ごみ飼料化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																																																												

表 38 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度速報値算出)					品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出への適用案)																																							
	収集区分					収集区分																																							
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																			
メタン化施設	メタン化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					メタン化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																							
ごみ燃料化施設	○設定方法 ごみ燃料化施設での平成24年度処理実績については、平成23年度と同様に、「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみであり、いわき市の処理実績と一致することが確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 ごみ燃料化施設での平成24年度処理実績については、平成23年度と同様に、「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみであり、いわき市の処理実績と一致することが確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	100.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	0.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	100.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	0.0%																																												
合計	100.0%																																												
直接資源化	○設定方法 宮城県「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 宮城県より入手した最終版の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>12.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	4.9%	金属くず	12.1%	コンクリートがら	77.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	6.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>その他可燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	2.7%	金属くず	2.9%	コンクリートがら	51.9%	その他がれき類	2.0%	プラスチック類	0.2%	その他可燃物	0.0%	その他不燃物	40.3%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	4.9%																																												
金属くず	12.1%																																												
コンクリートがら	77.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	6.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	2.7%																																												
金属くず	2.9%																																												
コンクリートがら	51.9%																																												
その他がれき類	2.0%																																												
プラスチック類	0.2%																																												
その他可燃物	0.0%																																												
その他不燃物	40.3%																																												
合計	100.0%																																												
直接埋立	○設定方法 宮城県「宮城県災害廃棄物処理実行計画(最終版)」の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 宮城県より入手した最終版の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。 (自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)	○設定方法 (左記に同じ)																																			
	○設定値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新 <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃物</td><td>16.9%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>83.1%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃物	16.9%	その他不燃物	83.1%	合計	100.0%	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)	○設定値 (左記に同じ)
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃	0.0%																																												
その他不燃物	100.0%																																												
合計	100.0%																																												
品目	内訳比率(%)																																												
木くず	0.0%																																												
金属くず	0.0%																																												
コンクリートがら	0.0%																																												
その他がれき類	0.0%																																												
プラスチック類	0.0%																																												
その他可燃物	16.9%																																												
その他不燃物	83.1%																																												
合計	100.0%																																												

(6) 焼却処理施設の品目別内訳比率の設定方法

平成 24 年度の災害廃棄物の処理実績については、震災後に新設された仮設焼却炉が本格稼働したことから、平成 23 年度処理実績に比べて焼却施設での「混合ごみ」、「可燃ごみ」等の焼却処理量が増加している。

このため、平成 24 年度確定値算出においては、平成 24 年度の速報値の算出と同様に、仮設焼却炉での焼却処理量の増加を考慮し、焼却施設における品目別焼却処理量の推計精度を高めるため、宮城県、仙台市、岩手県、釜石市及び福島県（※一廃統計（平成 24 年度実績）より、福島県の国代行仮設焼却炉の平成 24 年度の処理実績が計上されていることから設定対象に追加）の仮設焼却炉のごみ組成データを基に仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、既設焼却炉と仮設焼却炉に分けて平成 24 年度確定値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出における基本方針、品目別内訳比率の設定方法、試算した設定値及びその適用方法については、次に示すとおりである。

(7) 品目別焼却処理量の算出における基本方針

- 災害廃棄物の品目別焼却処理量は、仮設焼却炉と既設焼却炉に分けて算出する
- 仮設焼却炉の品目別焼却処理量は、災害廃棄物を受け入れていることから地域や処理区によりごみ組成が異なる可能性が高いため、宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県の仮設焼却炉から得られた組成データを基に設定した年度別、処理区又は炉別の品目別内訳比率を、一廃統計で把握された平成 24 年度の仮設焼却炉の処理量に乗じて算出する
- 既設焼却炉の品目別焼却処理量は、震災発生時の災害廃棄物の推計重量や通常時の一般廃棄物の品目別内訳比率に基づいて設定した平成 24 年度確定値の品目別内訳比率を、一廃統計で把握された平成 24 年度の既設焼却炉の処理量に乗じて算出する

(4) 仮設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法及び設定値

① 仮設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法の基本的な考え方

- 施設設計時のごみ組成データは除外する
- 一廃統計における災害廃棄物は湿重量で把握されているため、湿重量比のごみ組成データを用いる（乾重量比のごみ組成データは、p.64 の（参考 5）に示した仙台市のごみ組成別の水分量（%）を基に湿重量比のごみ組成データを推計する。）
- 同一の処理区（又は炉）内で複数のごみ組成データがある場合は、単純平均もしくはごみ試料の採取重量で加重平均した上で、当該処理区（又は炉）の組成データとして用いる
- 仮設焼却炉の品目別内訳比率は、宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県ごとに分け、可能な範囲で組成データを収集し、年度別、処理区又は炉別に設定する。ただし、設定できない処理区又は炉については、当該県市の組成データを加重平均した品目別内訳比率を設定する ※なお、各県市の処理状況は特徴が異なることから4県市平均等の品目別内訳比率は設定しない
- 宮城県、岩手県（釜石市除く）及び福島県のごみ組成における「ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類」のうち「プラスチック類」の割合については、仙台市の仮設焼却炉の「プラスチック類」及び「ゴム・皮革類」の合計が「ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類」と仮定し、仙台市の「プラスチック類」と「ゴム・皮革類」の比で按分して求める

②設定した仮設焼却炉の品目別内訳比率

①の基本的な考え方に従って、宮城県、仙台市、岩手県及び釜石市提供のごみ組成データを基に設定した品目別内訳比率は、以下のとおりである。宮城県の平成24年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、宮城県提供のごみ組成データを基に、処理区別・炉別に品目別内訳比率を設定する。

表 39 宮城県の平成24年度速報値時点の仮設焼却炉の処理区別・炉別の品目別内訳比率値

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		気仙沼 処理区 ストーカ炉	気仙沼 処理区 キルン炉	南三陸 処理区 ストーカ炉	石巻 ブロック キルン炉 (J1)	石巻 ブロック キルン炉 (J2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M1)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M3)	宮城 東部 ブロック ストーカ炉	宮城 東部 ブロック キルン炉
ごみの種類		混合 廃棄物	混合 廃棄物	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	0.1%	2.0%	14.8%	4.4%	21.9%	2.3%	6.2%	14.3%	0.1%	10.2%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	0.6%	5.6%	8.6%	4.8%	16.3%	4.5%	4.1%	6.4%	0.2%	14.3%
	木・竹・わら類	71.5%	66.7%	71.3%	61.4%	43.5%	64.9%	81.6%	57.5%	75.6%	33.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	3.2%	13.3%	0.7%	9.9%	18.3%	13.3%	2.9%	5.8%	4.8%	6.9%
	その他(5mm 通過)	24.3%	12.2%	4.6%	19.5%	0.0%	15.0%	5.2%	16.0%	19.2%	35.6%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁶ (トン) 平成24年度実績		5,705	3,459	36,460	54,578	54,760	45,584	41,495	53,061	21,698	31,123

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		名取 処理区 ストーカ炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 1号炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 2号炉	岩沼 処理区 キルン炉 3号炉	亘理 処理区 ストーカ炉	山元 処理区 キルン炉 1号炉	山元 処理区 ストーカ炉 2号炉
ごみの種類		混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	3.8%	2.4%	10.7%	7.0%	6.2%	1.1%	2.0%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	6.3%	7.5%	11.3%	20.9%	9.9%	1.3%	3.4%
	木・竹・わら類	60.3%	68.7%	62.6%	63.2%	53.9%	74.5%	80.6%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	18.1%	9.3%	3.9%	7.0%	11.3%	23.1%	4.1%
	その他(5mm 通過)	11.5%	12.1%	11.6%	1.9%	18.7%	0.0%	9.9%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁶ (トン) 平成24年度実績		45,852	11,069	10,972	15,259	111,664	49,983	27,093

宮城県 仮設焼却 炉平均
混合 廃棄物
7.5%
7.7%
61.5%
0.0%
10.7%
12.6%
100%

⁶ 「仮設焼却炉の維持管理状況(測定結果等)について(平成25年12月9日更新)(宮城県公表資料)」の処分(焼却)した災害廃棄物の月ごとの種類別及び数量から処理区別炉別の焼却処理量を把握

表 40 宮城県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の処理区別・炉別の品目別内訳比率

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		気仙沼 処理区 ストーカ炉	気仙沼 処理区 キルン炉	南三陸 処理区 ストーカ炉	石巻 ブロック キルン炉 (J1)	石巻 ブロック キルン炉 (J2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M1)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M3)	宮城 東部 ブロック ストーカ炉	宮城 東部 ブロック キルン炉
ごみの種類		混合 廃棄物	混合 廃棄物	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	0.1%	2.0%	14.8%	4.4%	21.9%	2.3%	6.2%	14.3%	0.1%	10.2%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	0.6%	5.6%	8.6%	4.8%	16.3%	4.5%	4.1%	6.4%	0.2%	14.3%
	木・竹・わら類	71.5%	66.7%	71.3%	61.4%	43.5%	64.9%	81.6%	57.5%	75.6%	33.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	3.2%	13.3%	0.7%	9.9%	18.3%	13.3%	2.9%	5.8%	4.8%	6.9%
	その他(5mm 通過)	24.3%	12.2%	4.6%	19.5%	0.0%	15.0%	5.2%	16.0%	19.2%	35.6%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁷ (トン) 平成 24 年度実績		5,705	3,459	36,460	50,633	49,255	48,659	44,535	56,493	21,698	31,123

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		名取 処理区 ストーカ炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 1号炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 2号炉	岩沼 処理区 キルン炉 3号炉	亘理 処理区 ストーカ炉	山元 処理区 キルン炉 1号炉	山元 処理区 ストーカ炉 2号炉
ごみの種類		混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	3.8%	2.4%	10.7%	7.0%	6.2%	1.1%	2.0%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	6.3%	7.5%	11.3%	20.9%	9.9%	1.3%	3.4%
	木・竹・わら類	60.3%	68.7%	62.6%	63.2%	53.9%	74.5%	80.6%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	18.1%	9.3%	3.9%	7.0%	11.3%	23.1%	4.1%
	その他(5mm 通過)	11.5%	12.1%	11.6%	1.9%	18.7%	0.0%	9.9%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁷ (トン) 平成 24 年度実績		45,852	11,069	10,972	15,259	111,664	49,983	27,093

宮城県 仮設焼却 炉平均
混合 廃棄物
7.1%
7.3%
58.8%
0.0%
13.9%
12.9%
100%

⁷ 「仮設焼却炉の維持管理状況(測定結果等)について(平成26年7月1日更新)(宮城県公表資料)」の処分(焼却)した災害廃棄物の月ごとの種類別及び数量から処理区別炉別の焼却処理量を把握

仙台市の平成 24 年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、仙台市提供のごみ組成データを基に、仮置場別に品目別内訳比率を設定する。

表 41 仙台市の平成24年度速報値時点の仮設焼却炉の炉別の品目別内訳比率

県・市			仙台市	仙台市	仙台市	仙台市 仮設焼却 炉平均
処理区・炉			蒲生 搬入場 キルン炉	荒浜 搬入場 キルン炉	井土 搬入場 ストーカ炉	
ごみの種類			混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	
ごみ 組成 (%)	不 燃 物	ガラス類	0.1%	0.1%	0.0%	
		陶器・石類	8.9%	11.7%	6.1%	10.0%
		金属類	1.7%	2.0%	2.5%	2.0%
	可 燃 物	ゴム・皮革類	0.0%	0.1%	—	0.0%
		プラスチック類	17.2%	11.5%	10.2%	12.4%
		厨芥類	—	—	—	—
		木類	44.6%	39.3%	34.9%	39.5%
		紙類	0.4%	0.4%	0.6%	0.4%
		布類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雑 物	可燃	13.2%	17.2%	19.3%	16.8%
		不燃	13.9%	17.6%	26.4%	18.6%
計			100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁸ (トン) 平成 24 年度実績			28,808	83,884	27,470	

表 42 仙台市の平成24年度確定値の仮設焼却炉の炉別の品目別内訳比率

県・市			仙台市	仙台市	仙台市	仙台市 仮設焼却 炉平均
処理区・炉			蒲生 搬入場 キルン炉	荒浜 搬入場 キルン炉	井土 搬入場 ストーカ炉	
ごみの種類			混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	
ごみ 組成 (%)	不 燃 物	ガラス類	0.1%	0.1%	0.0%	
		陶器・石類	8.9%	11.7%	6.1%	10.0%
		金属類	1.7%	2.0%	2.5%	2.0%
	可 燃 物	ゴム・皮革類	0.0%	0.1%	—	0.0%
		プラスチック類	17.2%	11.5%	10.2%	12.4%
		厨芥類	—	—	—	—
		木類	44.6%	39.3%	34.9%	39.5%
		紙類	0.4%	0.4%	0.6%	0.4%
		布類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雑 物	可燃	13.2%	17.2%	19.3%	16.8%
		不燃	13.9%	17.6%	26.4%	18.6%
計			100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ⁹ (トン) 平成 24 年度実績			28,808	83,884	27,470	

⁸ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 1 月末時点)」から搬入場別の焼却処理量を把握

⁹ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から搬入場別の焼却処理量を把握

注)仙台市の仮設焼却炉におけるごみ組成データでは、手で分別可能な程度の大きさ以上のごみを「可燃物」及び「不燃物」のごみの種類別に分類し、分類できずに残ったごみ(手で掴めない程度の小さなごみ。紙類、食べかす(厨芥)、陶器の破片、金属片等。)を「雑物」と分類している。「雑物」については、さらに分析し、石片等(石・ガラス・金属類等)を「雑物(不燃)」とし、それ以外のごみを「雑物(可燃)」と分類している。

岩手県の平成 24 年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、岩手県及び釜石市提供のごみ組成データを基に、地域別・炉別に品目別内訳比率を設定する。

表 43 岩手県の平成24年度速報値時点の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		岩手県	岩手県	岩手県	岩手県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		宮古区 1号炉 ストーカ炉	宮古区 2号炉 ストーカ炉	釜石市 旧熔融炉 シャフト炉	
ごみの種類		混合廃 棄物	混合廃 棄物		混合 廃棄物
ごみ 組成 (%)	紙・布類	4.8%	5.1%	岩手県 仮設焼却 炉平均を適用	5.0%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	5.7%	4.5%		5.1%
	木・竹・わら類	84.3%	84.8%		84.6%
	厨芥類(動植物性残さ、卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%		0.0%
	不燃物類	1.6%	2.3%		1.9%
	その他(5mm 通過)	3.7%	3.2%		3.4%
計		100%	100%		100%
焼却処理量 ¹⁰ (トン) 平成 24 年度実績		28,600		21,600	

※岩手県宮古区の組成データは、平成 24 年 3 月実績のみであるため、平成 24 年 3 月実績で設定。

表 44 岩手県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		岩手県	岩手県	県・市	釜石市	
処理区・炉		宮古区 1号炉 ストーカ炉	宮古区 2号炉 ストーカ炉	処理区・炉		釜石市 旧熔融炉 シャフト炉
ごみの種類		混合廃 棄物	混合廃 棄物	ごみの種類		可燃ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	4.8%	5.1%	ごみ 組成 (%)	紙類	0.1%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	5.7%	4.5%		布類	6.8%
	木・竹・わら類	84.3%	84.8%		厨芥類	0.0%
	厨芥類(動植物性残さ、卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%		木・竹・わら類	49.0%
	不燃物類	1.6%	2.3%		プラスチック類	5.9%
	その他(5mm 通過)	3.7%	3.2%		金属類	3.3%
	計	100%	100%		不燃物類	20.9%
焼却処理量 ¹¹ (トン) 平成 24 年度実績		28,604		その他(5mm 通過)	14.0%	
				計	100%	
				焼却処理量 ¹¹ (トン) 平成 24 年度実績	21,611	

※岩手県宮古区の組成データは、平成 24 年 3 月実績のみであるため、平成 24 年 3 月実績で設定。

¹⁰ 「岩手県災害廃棄物処理詳細計画 第二次(平成 25 年度)改訂版(平成 25 年 5 月)」から地域別の焼却処理量を把握

¹¹ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

福島県の平成 24 年度の仮設焼却炉の品目別内訳比率については、一廃統計（平成 24 年度実績）の災害焼却施設のごみ組成分析結果を基に、地域別・炉別に品目別内訳比率を設定する。

表 45 福島県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		福島県	福島県	福島県	福島県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		相馬市・ 新地町 1号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 2号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 3号炉 ストーカ炉	
ごみの種類		可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	9.4%	7.8%	4.5%	6.5%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	7.5%	20.4%	12.3%	13.1%
	木・竹・わら類	58.1%	53.8%	57.0%	56.5%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	12.4%	8.8%	19.3%	15.1%
	その他(5mm 通過)	12.7%	9.2%	6.8%	8.8%
	計	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ¹² (トン) 平成 24 年度実績		5,796	5,600	12,229	

¹² 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

(ウ) 既設焼却炉の品目別内訳比率の設定方法及び設定値

平成 24 年度速報値の算出に用いた焼却施設の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法に準じて設定する(設定方法の詳細は p. 47 の 3. 1 (5) のとおり。)

表 46 既設焼却施設の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」に適用する品目別内訳比率

品目	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
木くず	34.6%	38.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金属くず	0.0%	0.2%	0.0%	10.0%	29.1%
コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他がれき類	0.0%	3.0%	0.0%	17.6%	0.0%
プラスチック類	7.7%	0.0%	0.0%	31.7%	14.9%
その他可燃物	13.7%	56.7%	0.0%	36.4%	31.5%
その他不燃物	44.0%	1.9%	100.0%	4.2%	24.4%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

(エ) 品目別焼却処理量の算出方法

品目別焼却処理量は、仮設焼却炉と既設焼却炉の焼却処理量に分けて、それぞれで設定した品目別内訳比率を乗じて算出する。なお、平成 24 年度の仮設焼却炉及び既設焼却炉の焼却処理量は、一廃統計の平成 24 年度確定値から把握する。

品目別焼却処理量の算出式は、「①宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県」と「②5 縣市以外の地方公共団体」に分けて、以下のとおりとする。

①宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県

品目別焼却処理量＝

{当該県市の既設焼却炉の焼却処理量(合計)×既設焼却炉の品目別内訳比率} +
Σ{当該県市の仮設焼却炉の炉別焼却処理量×当該県市の仮設焼却炉の炉別品目別内訳比率}

- ◇ 当該県市の品目別焼却処理量は、当該県市の既設焼却炉の品目別焼却処理量と当該県市の仮設焼却炉の品目別焼却処理量の合計とする
- ◇ 当該県市の既設焼却炉の品目別焼却処理量は、当該県市の既設焼却炉の焼却処理量に、既設焼却炉に設定した品目別内訳比率を乗じて算出する
- ◇ 当該県市の仮設焼却炉の品目別焼却処理量は、当該県市の仮設焼却炉の炉別の焼却処理量に、仮設焼却炉に設定した炉別の品目別内訳比率を乗じて炉別の品目別焼却処理量を算出し、それを当該県市ごとに合計する

②5 縣市以外の地方公共団体

品目別焼却処理量＝

{当該地方公共団体の焼却処理量×既設焼却炉の品目別内訳比率}

- ◇ 当該地方公共団体の品目別焼却処理量は、当該地方公共団体の焼却処理量に、既設焼却炉に設定した品目別内訳比率を乗じて算出する

(7)「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率(まとめ)
 以下に、平成24年度速報値算出に用いた品目別内訳比率と、平成24年度確定値算出に用いる品目別内訳比率を、適用する中間処理施設又は処理単位ごとに示す。

表 47 平成24年度速報値に用いた品目別内訳比率(仮設焼却施設)

自治体	ブロック/ 処理区	焼却施設	一般廃棄物 の種類	ごみ組成(%)								
				木くず	金属くず	コンクリート がら	その他 がれき 類	プラス チック 類	その他 可燃物	その他 不燃物		
宮城県 (仙台市 を除く)	気仙沼	階上地区ストーカ炉(219t/日)	可燃混合物	71.5	—	—	—	—	—	1.0	27.5	
		階上地区ロータリーキルン炉(219t/日)	可燃混合物	66.7	—	—	—	—	—	7.9	25.5	
		小泉地区ストーカ炉(219t/日)	可燃混合物	71.5	—	—	—	—	—	1.0	27.5	
		小泉地区ロータリーキルン炉(109t/日)	可燃混合物	66.7	—	—	—	—	—	7.9	25.5	
	南三陸	1号焼却炉(堅型ストーカ:95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	—	—	23.4	5.3	
		2号焼却炉(堅型ストーカ:95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	—	—	23.4	5.3	
		3号焼却炉(堅型ストーカ:95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	—	—	23.4	5.3	
	石巻	(J-1) 1号焼却炉(ロータリーキルン:300t/日)	可燃混合物	61.4	—	—	—	—	—	9.2	29.4	
		(J-2) 2号焼却炉(ロータリーキルン:300t/日)	可燃混合物	43.5	—	—	—	—	—	38.2	18.3	
		(M-1) 3号焼却炉(ストーカ:300t/日)	可燃混合物	64.9	—	—	—	—	—	6.8	28.3	
		(M-2) 4号焼却炉(ストーカ:300t/日)	可燃混合物	81.6	—	—	—	—	—	10.3	8.1	
		(M-3) 5号焼却炉(ストーカ:300t/日)	可燃混合物	57.5	—	—	—	—	—	20.7	21.8	
	宮城東部	1号焼却炉(ストーカ:110t/日)	木くずチップ	75.6	—	—	—	—	—	0.3	24.1	
		2号焼却炉(ロータリーキルン:210t/日)	可燃混合物	33.0	—	—	—	—	—	24.5	42.5	
	亶理 名取	名取	1号焼却炉(ストーカ:95t/日)	可燃混合物	60.3	—	—	—	—	—	10.1	29.6
			2号焼却炉(ストーカ:95t/日)	可燃混合物	60.3	—	—	—	—	—	10.1	29.6
		岩沼	1号焼却炉(ストーカ:50t/日)	可燃混合物	68.7	—	—	—	—	—	9.9	21.4
			2号焼却炉(ストーカ:50t/日)	可燃混合物	62.6	—	—	—	—	—	21.9	15.5
			3号焼却炉(ロータリーキルン:95t/日)	可燃混合物	63.2	—	—	—	—	—	27.9	8.9
		亶理	1号焼却炉(チェーンストーカ:105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	—	—	16.0	30.1
			2号焼却炉(チェーンストーカ:105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	—	—	16.0	30.1
			3号焼却炉(チェーンストーカ:105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	—	—	16.0	30.1
			4号焼却炉(チェーンストーカ:105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	—	—	16.0	30.1
5号焼却炉(チェーンストーカ:105t/日)			可燃混合物	53.9	—	—	—	—	—	16.0	30.1	
山元	1号焼却炉(ロータリーキルン, 200t/日)	可燃混合物	74.5	—	—	—	—	—	2.4	23.1		
	2号焼却炉(ストーカ, 100t/日)	可燃混合物	80.6	—	—	—	—	—	5.4	14.0		
岩手県	宮古区		可燃物	84.6	—	—	—	—	—	10.1	5.4	
	山田町	仮設焼却炉(ストーカ:95t/日)	可燃物	84.6	—	—	—	—	—	10.1	5.4	
	釜石市	旧溶融炉(シャフト:109t/日)	可燃物	84.6	—	—	—	—	—	10.1	5.4	
仙台市	灌生搬入場	仮設焼却炉(キルン:90t/日)	可燃物	44.6	1.7	—	9.1	17.2	—	13.6	13.9	
	荒浜搬入場	仮設焼却炉(キルン:300t/日)	可燃物	39.3	2.0	—	11.8	11.5	—	17.7	17.6	
	井土搬入場	仮設焼却炉(ストーカ:90t/日)	可燃物	34.9	2.5	—	6.1	10.2	—	19.8	26.4	

※ごみ組成データの区分については、下表のとおりGHGインベントリにおける用途と一廃統計の収集区分に基づき、「木くず」「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」「プラスチック類」「その他可燃物」「その他不燃物」の合計7品目の内訳比率として設定した。

表 48 7品目別内訳比率の設定

7品目	ごみ組成データの区分	
	宮城県、岩手県	仙台市
木くず	木・竹・わら類	木類
金属くず		金属類
コンクリートがら		
その他がれき類		ガラス類、陶器・石類
プラスチック類		プラスチック類
その他可燃物	紙・布類、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	ゴム・皮革類、厨芥類、紙類、布類、雑物(可燃)
その他不燃物	不燃物類、その他(5mm通過)	雑物(不燃)

表 49 平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(仮設焼却施設)

自治体	ブロック/ 処理区	焼却施設	一般廃棄物 の種類	ごみ組成 (%)							
				木くず	金属く ず	コンク リート がら	その他 がれき 類	プラス チック 類	その他 可燃物	その他 不燃物	
宮城県 (仙台市 を除く)	気仙沼	階上地区ストーカ炉 (219t/日)	可燃混合物	71.5	—	—	—	0.6	0.4	27.5	
		階上地区ロータリーキルン炉 (219t/日)	可燃混合物	66.7	—	—	—	5.6	2.2	25.5	
		小泉地区ストーカ炉 (219t/日)	可燃混合物	71.5	—	—	—	0.6	0.4	27.5	
		小泉地区ロータリーキルン炉 (109t/日)	可燃混合物	66.7	—	—	—	5.6	2.2	25.5	
	南三陸	1号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	8.6	14.8	5.3	
		2号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	8.6	14.8	5.3	
		3号焼却炉 (堅型ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	71.3	—	—	—	8.6	14.8	5.3	
		(J-1) 1号焼却炉 (ロータリーキルン: 300t/日)	可燃混合物	61.4	—	—	—	4.8	4.4	29.4	
		(J-2) 2号焼却炉 (ロータリーキルン: 300t/日)	可燃混合物	43.5	—	—	—	16.2	22.0	18.3	
	石巻	(M-1) 3号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	64.9	—	—	—	4.5	2.3	28.3	
		(M-2) 4号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	81.6	—	—	—	4.1	6.2	8.1	
		(M-3) 5号焼却炉 (ストーカ: 300t/日)	可燃混合物	57.5	—	—	—	6.4	14.4	21.8	
		1号焼却炉 (ストーカ: 110t/日)	木くずチップ	75.6	—	—	—	0.2	0.1	24.1	
	宮城東部	2号焼却炉 (ロータリーキルン: 210t/日)	可燃混合物	33.0	—	—	—	14.3	10.2	42.5	
		名取	1号焼却炉 (ストーカ: 95t/日)	可燃混合物	60.3	—	—	—	6.3	3.9	29.6
	2号焼却炉 (ストーカ: 95t/日)		可燃混合物	60.3	—	—	—	6.3	3.9	29.6	
	亶理 名取	岩沼	1号焼却炉 (ストーカ: 50t/日)	可燃混合物	68.7	—	—	—	7.4	2.5	21.4
			2号焼却炉 (ストーカ: 50t/日)	可燃混合物	62.6	—	—	—	11.2	10.7	15.5
		3号焼却炉 (ロータリーキルン: 95t/日)	可燃混合物	63.2	—	—	—	20.9	7.1	8.9	
		亶理	1号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	9.8	6.2	30.1
			2号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	9.8	6.2	30.1
			3号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	9.8	6.2	30.1
			4号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	9.8	6.2	30.1
			5号焼却炉 (チェーンストーカ: 105t/日)	可燃混合物	53.9	—	—	—	9.8	6.2	30.1
		山元	1号焼却炉 (ロータリーキルン, 200t/日)	可燃混合物	74.5	—	—	—	1.3	1.1	23.1
			2号焼却炉 (ストーカ, 100t/日)	可燃混合物	80.6	—	—	—	3.4	2.0	14.0
岩手県	宮古区	仮設焼却炉 (ストーカ: 95t/日)	可燃物	84.6	—	—	—	5.1	5.0	5.4	
	山田町	仮設焼却炉 (ストーカ: 95t/日)	可燃物	84.6	—	—	—	5.1	5.0	5.4	
	釜石市	旧熔融炉 (シャフト: 109t/日)	可燃物	49.0	3.3	—	—	5.9	6.9	34.9	
福島県	相馬市・ 新地町	仮設焼却炉1号炉 (ストーカ: 150t/日)	可燃ごみ	58.1	—	—	—	7.5	9.4	25.0	
		仮設焼却炉2号炉 (ストーカ: 150t/日)	可燃ごみ	53.8	—	—	—	20.4	7.9	18.0	
		仮設焼却炉3号炉 (ストーカ: 270t/日)	可燃ごみ	57.0	—	—	—	12.3	4.6	26.2	
仙台市	蒲生搬入場	仮設焼却炉 (キルン: 90t/日)	可燃物	44.6	1.7	—	9.1	17.2	13.6	13.9	
	荒浜搬入場	仮設焼却炉 (キルン: 300t/日)	可燃物	39.3	2.0	—	11.8	11.5	17.7	17.6	
	井土搬入場	仮設焼却炉 (ストーカ: 90t/日)	可燃物	34.9	2.5	—	6.1	10.2	19.8	26.4	

※ごみ組成データの区分については、下表のとおり GHG インベントリにおける用途と一廃統計の収集区分に基づき、「木くず」「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」「プラスチック類」「その他可燃物」「その他不燃物」の合計7品目の内訳比率として設定した。

表 50 7品目別内訳比率の設定

7品目	ごみ組成データの区分		
	宮城県、岩手県、福島県	仙台市	釜石市
木くず	木・竹・わら類	木類	木・竹・わら類
金属くず		金属類	金属類
コンクリートがら			
その他がれき類		ガラス類、陶器・石類	
プラスチック類	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類のうち「プラスチック類」に相当する量の割合 ※3	プラスチック類	プラスチック類
その他可燃物※1	紙・布類、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類のうち「ゴム・皮革類」に相当する量の割合 ※3	ゴム・皮革類、厨芥類、紙類、布類、雑物(可燃)	厨芥類、紙類、布類
その他不燃物※2	不燃物類、その他(5mm通過)	雑物(不燃)	不燃物類、その他(5mm通過)

※1. 「その他可燃物」は、紙類、布類、ゴム・皮革類、厨芥類の他、可燃物の混合物を含む(前に掲げる「木くず」「プラスチック類」の混合物を含む)。

※2. 「その他不燃物」は、不燃物類、その他(孔眼寸法約5mmのふるいを通過したもの)の他、不燃物の混合物を含む(「金属くず」「コンクリートがら」「その他がれき類」の混合物を含む)。

※3. 宮城県、岩手県、福島県の「ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類」の「プラスチック類」と「その他可燃物」の割合は、「ビニール・合成樹脂」を「プラスチック類」として、仙台市のごみ組成データの「プラスチック類」及び「ゴム・皮革類」の比を用いて、「プラスチック類」及び「ゴム・皮革類」に相当する量の割合に按分した。

表 51 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(既設焼却施設)

施設 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
焼却 施設 (既設)	木くず	33.5%	43.6%	0.0%	0.0%	0.0%	34.6%	38.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.2%	0.0%	10.0%	29.1%	0.0%	0.2%	0.0%	10.0%	29.1%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	3.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	17.6%	0.0%
	プラスチック類	7.5%	0.0%	0.0%	31.7%	14.8%	7.7%	0.0%	0.0%	31.7%	14.9%
	その他可燃物	13.2%	51.3%	0.0%	36.4%	31.6%	13.7%	56.7%	0.0%	36.4%	31.5%
	その他不燃物	45.8%	1.8%	100.0%	4.2%	24.5%	44.0%	1.9%	100.0%	4.2%	24.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 52 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(その他の資源化等を行う施設、その他の施設)

施設 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
その 他の 資源 化等 を行 う 施設、 その 他の 施設	木くず	33.5%	43.6%	0.0%	0.0%	0.0%	34.6%	38.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.2%	10.3%	10.0%	29.1%	0.0%	0.2%	5.5%	10.0%	29.1%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	84.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.8%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	3.0%	4.2%	17.6%	0.0%	0.0%	3.0%	5.8%	17.6%	0.0%
	プラスチック類	7.5%	0.0%	0.0%	31.7%	14.8%	7.7%	0.0%	0.0%	31.7%	14.9%
	その他可燃物	13.2%	51.3%	0.0%	36.4%	31.6%	13.7%	56.7%	0.0%	36.4%	31.5%
	その他不燃物	45.8%	1.8%	1.1%	4.2%	24.5%	44.0%	1.9%	0.8%	4.2%	24.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 53 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(粗大ごみ処理施設)

施設 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
粗大 ごみ 処理 施設	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	19.3%	20.4%	20.4%	20.4%	20.4%	20.4%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%	10.8%
	プラスチック類	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	14.4%	15.2%	15.2%	15.2%	15.2%	15.2%
	その他可燃物	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%	28.8%
	その他不燃物	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	26.6%	24.7%	24.7%	24.7%	24.7%	24.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

表 54 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(ごみ堆肥化施設)

施設名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
ごみ堆肥化 施設	木くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	金属くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	コンクリートがら	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他がれき類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	プラスチック類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他可燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他不燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	合計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※ごみ堆肥化施設での災害廃棄物の平成24年度処理実績はなし

表 55 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(ごみ飼料化施設)

施設名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
ごみ飼料化 施設	木くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	金属くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	コンクリートがら	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他がれき類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	プラスチック類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他可燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他不燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	合計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※ごみ飼料化施設での災害廃棄物の平成24年度処理実績はなし

表 56 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(メタン化施設)

施設名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
メタン化 施設	木くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	金属くず	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	コンクリートがら	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他がれき類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	プラスチック類	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他可燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他不燃物	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	合計	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※メタン化施設での災害廃棄物の平成24年度処理実績はなし

表 57 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(ごみ燃料化施設)

施設 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
ごみ 燃料化 施設	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック類	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 58 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(セメント等への直接投入)

施設 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
セメント等 への 直接 投入	木くず	/	67.5%	0.0%	/	/	/	68.4%	0.0%	/	/
	金属くず	/	0.8%	0.0%	/	/	/	0.8%	0.0%	/	/
	コンクリートがら	/	16.5%	0.0%	/	/	/	15.6%	0.0%	/	/
	その他がれき類	/	0.4%	0.0%	/	/	/	0.4%	0.0%	/	/
	プラスチック類	/	0.0%	0.0%	/	/	/	0.0%	0.0%	/	/
	その他可燃物	/	5.3%	0.0%	/	/	/	5.5%	0.0%	/	/
	その他不燃物	/	9.6%	100.0%	/	/	/	9.3%	100.0%	/	/
	合計	/	100.0%	100.0%	/	/	/	100.0%	100.0%	/	/

※セメント等への直接投入された災害廃棄物のうち、混合ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績はなし

表 59 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(直接資源化)

処理 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
直接 資源化	木くず	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	4.9%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%
	金属くず	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	12.1%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%
	コンクリートがら	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	51.9%	51.9%	51.9%	51.9%	51.9%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	プラスチック類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	6.0%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%	40.3%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 60 平成24年度速報値の算出に用いた品目別内訳比率及び
平成24年度確定値に用いる品目別内訳比率(直接埋立)

処理 名称	品目	平成24年度速報値算出					平成24年度確定値算出への適用案				
		混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	可燃 ごみ	不燃 ごみ	資源 ごみ	粗大 ごみ
直接 埋立	木くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	金属くず	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	コンクリートがら	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他がれき類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他可燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.9%	16.9%	16.9%	16.9%	16.9%
	その他不燃物	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.1%	83.1%	83.1%	83.1%	83.1%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(参考 5) 仙台市の仮設焼却炉における組成ごとの水分割合

仙台市の仮設焼却炉における組成ごとの水分割合は下記のとおりである。

表 61 仙台市の仮設焼却炉における組成品目別の水分割合

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
県・市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市		
仮置場・処理区等	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場		
試料採取日	H24.7	H24.8	H24.9	H24.11	H24.7	H24.9	H24.10	H24.11	H24.7	H24.8	H24.10	H24.11		
ごみの採取場所	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前		
ごみの種類	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき		
ごみ試料の採取重量(kg)	338.37	299.43	175.81	210.82	293.84	219.18	183.44	142.69	389.11	340.46	180.00	176.72		
水分割合 (%)	不燃物	ガラス類	0.8	1.7	1.7	0.0	4.5	1.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
		陶器・石類	6.8	7.7	4.2	6.9	4.7	5.0	4.1	1.3	8.1	4.7	5.2	9.8
		金属類	1.0	1.3	1.1	0.5	0.1	1.5	0.1	2.7	6.4	1.2	1.4	2.1
	可燃物	ゴム・皮革類	12.5	5.9			33.8							
		プラスチック類	9.5	9.3	5.7	23.8	4.3	18.2	11.0	16.6	8.8	10.9	7.5	17.4
		厨芥類												
		木類	30.6	35.4	28.6	39.3	31.2	43.2	40.4	51.5	32.5	42.5	36.6	40.5
		紙類	46.4	17.4	17.2	42.7	25.0	21.6	22.7	42.3	22.2	19.3	27.2	34.0
	雑物	布類	16.0						0.0					
		可燃	38.6	26.9	20.4	32.9	29.9	31.1	33.2	31.6	35.1	32.3	33.7	34.1
	不燃	26.3	12.5	13.1	20.1	22.2	24.1	24.7	27.9	27.0	24.3	23.6	25.1	

上記の水分割合を採取重量で加重平均して算出した品目別の水分割合を、他県市にも適用した。

表 62 仙台市の仮設焼却炉における水分割合(加重平均値)

ごみの種類	加重平均
紙・布類	28.8%
ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	11.9%
木・竹・わら類	38.7%
不燃物類	5.4%
その他(5mm 通過)	28.3%

3.2 食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等との比較

(1) 平成25年度第4回検討会における委員指摘事項要旨

- 農林水産省では、食品リサイクル法に基づく定期報告結果、及び食品循環資源の再生利用等実態調査結果を用いて推計した、食品廃棄物等の量を取りまとめている(以降、農水統計という)。
- 農水統計の食品廃棄物等の量と、循環利用量調査で捉えられている量には、値の桁数が異なるような差異が生じており、両調査の量の差異については本検討会で検討すべき課題と考える。

(2) 農水統計の現時点での利用状況

(ア) 循環利用量等の整理における農水統計の利用状況

循環利用量調査で整理している廃棄物等の量については、一般廃棄物は「一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)(以降、一廃統計という)」、産業廃棄物は「産業廃棄物排出・処理状況調査(環境省)(以降、産廃統計という)」、製造業から排出される「等」は「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)の発生状況等に関する調査(経済産業省)(以降、副産物調査という)」から量を把握しており、農水統計の量は利用していない。

(イ) 温室効果ガスインベントリ算出用提供データの整理における農水統計の利用状況

温室効果ガスインベントリの算出に必要な廃棄物等のコンポスト化に向かう量については、昨年度、平成25年度循環利用量調査改善検討会において、「動植物性残さのうちコンポスト化に向かう量の算出方法の改正について」検討を行った。検討の結果、温室効果ガスインベントリに提供するコンポスト化に向かう量については、一廃統計、産廃統計、副産物調査で把握された量及び農水統計で把握された食品廃棄物等のコンポスト化に向かう量も含めて整理することとなり、対応済みである。

(3) 食品廃棄物等に関する循環利用量調査と食品循環資源の再生利用等実態調査等との比較

(7) 農水統計の食品廃棄物等の定義

農水統計の食品廃棄物等とは、食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業及び外食産業に由来する食品廃棄物等である。食品リサイクル法に基づく定期報告の調査対象業種及び「食品廃棄物等」の定義は、以下のとおりである。

◆調査対象業種

食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業及び外食産業*

※宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業、結婚式場業が該当

(出典:食品廃棄物等の発生量及び再生利用量等の内訳(農林水産省)を基に作成)

■表1 食品廃棄物等の発生量

【食品廃棄物等】

食品廃棄物等とは

- ① 食品が食用に供された後に、又は食用に供されずに廃棄されたもの(食べ残し、製品廃棄等)
- ② 食品の製造、加工又は調理の過程において副次的に得られた物品のうち、食用に供することができないもの(野菜の皮や魚の骨)をいいます。

なお、固形状のものに限定していないため、廃食用油や飲料等の液状物も対象です。

また、「等」には食品の製造工程等で発生する動植物性の残さで飼料等の原料として有償で取引されるものも含まれます。

(出典:食品リサイクル法に基づく定期報告書に係る用語集(農林水産省)より抜粋)

※表1とは、食品リサイクル法に基づく定期報告書の記入表である表1のこと。

【参考】循環利用量調査の廃棄物等の定義

循環利用量調査の廃棄物等の定義は、以下のとおりである。

(1)廃棄物

一般廃棄物及び産業廃棄物の排出及び処理量については、一般廃棄物が一廃統計、産業廃棄物が産廃統計にて、毎年度の状況把握が行われている。この調査で把握されているものを、「廃棄物」とした。

(2)「等」

(1)の廃棄物統計データ以外であって、以下の潜在的な廃棄物(副産物)を、「等」として把握した。

- ①事業活動に伴う産業系の副産物であって、有償売却などの行為により廃棄物の処理及び清掃に関する法律の廃棄物の定義から除外される金属スクラップ、紙くずなど。
- ②事業活動に伴う産業系の副産物のうち、事業系一般廃棄物(廃棄物処理法の業種指定廃棄物から除外されるもの)であって、市町村等の計画処理量に含まれていない、稲わら、麦わら、もみがら、古紙など。

(出典:廃棄物等循環利用量実態調査報告書(環境省)より抜粋)

(4) 把握対象の比較

① 把握対象の比較

循環利用量調査は、家庭及びすべての産業から排出される廃棄物等を対象としているが、食品廃棄物等のみに着目した場合、廃棄物等の種類としては、厨芥（事業系一廃）、汚泥（産廃）、汚泥（等）、廃油（産廃）、廃油（等）、廃酸（産廃）、廃酸（等）、廃アルカリ（産廃）、廃アルカリ（等）、動植物性残さ（産廃）及び動植物性残さ（等）が該当する可能性がある。

農水統計の食品廃棄物等と循環利用量調査で捉えている食品廃棄物等に由来する廃棄物等との関係を式で整理すると以下のとおりである。

<食品廃棄物等(農水統計)に着目した場合>

食品廃棄物等(農水統計)	
≡ 食品卸売業、食品小売業、外食産業の厨芥(事業系一廃)	
+	食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の食品由来の汚泥(産廃)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の汚泥(等)
+	食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の食品由来の廃油(産廃)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の廃油(等)
+	食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の食品由来の廃酸(産廃)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の廃酸(等)
+	食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の食品由来の廃アルカリ(産廃)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の廃アルカリ(等)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の動植物性残さ(産廃)
+	食料品製造業、飲料製造業の食品由来の動植物性残さ(等)

また、排出源を食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業として、循環利用量調査と農水統計の食品廃棄物等に関する廃棄物等の量の把握関係を比較した結果は下表のとおりである。

表 63 食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の循環利用量調査及び農水統計の食品廃棄物等に関する廃棄物等の把握関係

(○:各統計資料で把握している箇所)

排出源		農水統計 食品廃棄物等	循環利用量調査										
			厨芥 一廃	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		動植物性残さ	
				産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等
食料品製造業	食品由来	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食品由来以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
飲料製造業	食品由来	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食品由来以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
食品卸売業	食品由来	○	○ ^{※1}	○	未把握	○	未把握	○	未把握	○	未把握	/	/
	食品由来以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
食品小売業	食品由来	○	○ ^{※1}	○	未把握	○	未把握	○	未把握	○	未把握	/	/
	食品由来以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
外食産業	食品由来	○	○ ^{※1}	○	未把握	○	未把握	○	未把握	○	未把握	/	/
	食品由来以外	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※1 一廃統計では市町村が関与した事業系一般廃棄物のみ把握している。事業系一般廃棄物の全量は把握していない。

②把握対象の推計値

把握対象の比較により、循環利用量調査では、食品卸売業、食品小売業及び外食産業の廃棄物等のうち、「等」の量が未把握となっていることが分かった。未把握の「等」の量は、事業系一般廃棄物のうち市町村が関与せずに民間の処理業者が処理を行ったものや、副産物のうち有価で販売されたものが該当していると考えられる。

これらの未把握量がどの程度かは現時点では不明であるが、次頁の表 64、表 65 で推計している循環利用量調査の把握量の内訳が正しいと仮定した場合（推計方法は p. 73 の（参考 7）参照）、下記のとおり、発生量及び循環利用量ともに、『農水統計の把握量（循環利用量調査の未把握分含む）』<『循環利用量調査の把握量』となる。

農水統計の食品卸売業、食品小売業及び外食産業の発生量 $22(\text{卸})+122(\text{小})+192(\text{外})=336 \text{ 万トン}$	<	循環利用量調査の食品卸売業、食品小売業及び外食産業の発生量 $420(\text{事業系})+68(\text{産廃})=488 \text{ 万トン}$
農水統計の食品卸売業、食品小売業及び外食産業の循環利用量 $11(\text{卸})+45(\text{小})+38(\text{外})=94 \text{ 万トン}$	<	循環利用量調査の食品卸売業、食品小売業及び外食産業の循環利用量 $265(\text{事業系})+16(\text{産廃})=281 \text{ 万トン}$

未把握分を含む農水統計の量（発生量：336万トン、循環利用量：94万トン）が、現在、循環利用量調査で把握している量（発生量：488万トン、循環利用量：281万トン）よりも小さいため、未把握分の量は食品廃棄物等の全量に影響しない程度の量であると推測される。

(ウ)循環利用量の定義の比較

循環利用量調査の「循環利用量」と、農水統計の「再生利用の実施量」の定義については、循環利用量調査の「循環利用量」が循環資源となった廃棄物等の量（製品化量）であるのに対して、農水統計の「再生利用の実施量」は再生利用に向かった廃棄物等の量（仕向量）となっている（両調査の定義は p. 71 の（参考 6）参照）。このため、同一施設における廃棄物等の再生利用量を比べた場合、定義上は、循環利用量調査（製品化量）より農水統計（仕向量）の方が量は大きくなる。

なお、循環利用量調査の廃棄物等の「等」の循環利用量の算出に用いている副産物調査の「再資源化量」は再生資源として利用できる状態にした量（循環利用量調査と同じ製品化量）となっている。

【量の定義の比較】

循環利用量調査の循環利用量(製品化量) < 農水統計の再生利用の実施量(仕向量)
 (副産物調査の再資源化量も製品化量で把握)

(I) 食品廃棄物等に関する廃棄物等の量の比較

排出源を食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業として、循環利用量調査と農水統計の食品廃棄物等に関する廃棄物等の量の把握関係を比較した結果は、下表のとおりである。比較のため、循環利用量調査の把握量から、事業系の一般廃棄物の厨芥の発生量と循環利用量、業種別・産業廃棄物種類別の循環利用量の推計を行った（推計方法は p. 73 の（参考 7）参照）。

なお、両統計の量の比較に際しては、下記点に留意が必要である。

- ・循環利用量調査の厨芥以外の量（汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ及び動植物性残さ）には、食品由来でない廃棄物等も含まれていること
- ・両統計で把握している業種に差異があること（食料品製造業と外食産業（宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業等）に差異はないが、農水統計の飲料製造業、食品卸売業、食品小売業に対して、循環利用量調査は飲料・たばこ・飼料製造業、卸売・小売業となっており、食品産業以外の業種も含まれるため、農水統計に比べて把握対象業種が広がっている。）

表 64 食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の循環利用量調査及び農水統計の食品廃棄物等に関する廃棄物等の発生量の比較

排出源	農水統計 食品廃棄物等の発生量	循環利用量調査 (単位:万トン)													
		廃棄物等の発生量合計	厨芥		汚泥			廃油		廃酸		廃アルカリ		動植物性残さ	
			一廃	産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等		
食品産業計	1,916	1,741	うち事業系 ^{※1} 420	下記業種の合計	765	0	45	12	81	0	6	0	276	135	
食料品製造業	食品由来	1,298	/	/	食料品製造業	602	0	9	12	9	0	3	0	197	0
	食品由来以外														
飲料製造業	食品由来	282	/	/	飲料・たばこ・飼料製造業	133	0	1	0	71	0	0	0	79	135
	食品由来以外														
食品卸売業	食品由来	22	/	/	卸売・小売業	21	未把握	26	未把握	1	未把握	2	未把握	/	/
	食品由来以外														
食品小売業	食品由来	122	/	/	卸売・小売業	21	未把握	26	未把握	1	未把握	2	未把握	/	/
	食品由来以外														
外食産業	食品由来	192	/	/	飲食店、宿泊業、サービス業	8	未把握	9	未把握	0	未把握	0	未把握	/	/
	食品由来以外														

※1 厨芥（一般廃棄物）のうち事業系一般廃棄物の量については、日本の廃棄物処理の「ごみの排出状況」のごみ総排出量に占める事業系ごみの割合（29%）で按分して求めた。このため、算定された事業系一般廃棄物（厨芥）は、食品卸売業、食品小売業、外食産業だけでなく、他の全業種（オフィスの弁当食べ残しなど）から排出される厨芥を含んだ量である。また、一廃統計では市町村が関与した事業系一般廃棄物のみを把握しており、事業系一廃の全量は把握していない。

表 65 食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の循環利用量調査及び農水統計の食品廃棄物等に関する廃棄物等の循環利用量の比較

排出源	農水統計 食品廃棄物等の再生利用の実施量	循環利用量調査 (単位:万トン)													
		廃棄物等の循環利用量合計	厨芥		汚泥			廃油		廃酸		廃アルカリ		動植物性残さ	
			一廃	産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等	産廃	等		
食品産業計	1,323	686	うち事業系 ^{※1} 265	下記業種の合計	47	0	17	12	26	0	1	0	184	135	
食料品製造業	食品由来	1,024	/	/	食料品製造業 ^{※2}	37	0	3	12	3	0	1	0	131	0
	食品由来以外														
飲料製造業	食品由来	205	/	/	飲料・たばこ・飼料製造業 ^{※2}	8	0	0	0	22	0	0	0	53	135
	食品由来以外														
食品卸売業	食品由来	11	/	/	卸売・小売業 ^{※2}	1	未把握	10	未把握	0	未把握	0	未把握	/	/
	食品由来以外														
食品小売業	食品由来	45	/	/	卸売・小売業 ^{※2}	1	未把握	10	未把握	0	未把握	0	未把握	/	/
	食品由来以外														
外食産業	食品由来	38	/	/	飲食店、宿泊業、サービス業 ^{※2}	0	未把握	4	未把握	0	未把握	0	未把握	/	/
	食品由来以外														

※1 厨芥（一般廃棄物）のうち事業系一般廃棄物の量については、日本の廃棄物処理の「ごみの排出状況」のごみ総排出量に占める事業系ごみの割合（29%）で按分して求めた。このため、算定された事業系一般廃棄物（厨芥）は、食品卸売業、食品小売業、外食産業だけでなく、他の全業種（オフィスの弁当食べ残しなど）から排出される厨芥を含んだ量である。また、一廃統計では市町村が関与した事業系一般廃棄物のみを把握しており、事業系一廃の全量は把握していない。

※2 産業廃棄物の業種別循環利用量については、全業種合計の循環利用量から、全業種の発生量に占める各業種の発生量の割合で按分して求めた。

循環利用量調査の食品産業の食品廃棄物等に関する廃棄物等の発生量合計(1,741万トン)と、農水統計の食品産業の食品廃棄物等の発生量(1,916万トン)を比較した結果、差(農水-循環)は176万トン、比(農水/循環)で1.1倍となっている。

また、循環利用量調査の循環利用量合計(686万トン)と農水統計の循環利用量(1,323万トン)を比較した結果は、差(農水-循環)は636万トン、比(農水/循環)で1.9倍となっている。

把握量の差を業種ごとに比較すると、食料品製造業の発生量の差(農水-循環)が465万トン、比(農水/循環)が1.6倍と、他業種(-152~-138万トン、0.67~0.69倍)を大きく上回る。

また、食料品製造業の循環利用量の差(農水-循環)は837万トン、比(農水/循環)は5.5倍と、他業種(-187~-14万トン、0.33~0.94倍)を大きく上回る。食料品製造業の循環利用量の内訳については、表67のとおりである。

表 66 循環利用量調査と農水統計の食品廃棄物等の量の比較結果

単位：万トン

	農水統計	循環利用量調査	差 (農-循)	比 (農/循)
発生量	1,916	1,741	176	1.1
食料品製造業	1,298	833	465	1.6
飲料製造業	282	420	-138	0.7
食品卸売業、食品小売業、外食産業	336	488	-152	0.7
循環利用量	1,323	686	636	1.9
食料品製造業	1,024	187	837	5.5
飲料製造業	205	219	-14	0.9
食品卸売業、食品小売業、外食産業	94	281	-187	0.3

※1. 両統計の量の比較に際しては、循環利用量調査の量には食品由来でない廃棄物等も含まれていること、両統計で把握している業種に差異があること(食料品製造業と外食産業(宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業)に差異はないが、農水統計の「飲料製造業」、「食品卸売業、食品小売業」に対して、循環利用量調査は「飲料・たばこ・飼料製造業」、「卸売・小売業」となっており、食品産業以外の業種も含まれるため、農水統計に比べて把握対象業種が広がっている)に留意が必要である。

※2. 循環利用量調査の発生量、循環利用量の業種別内訳は一部推計値を含む(推計方法はp73の(参考7)参照)。

表 67 循環利用量調査と農水統計の食料品製造業の循環利用量の内訳

単位：万トン

循環利用量	農水統計	循環利用量調査	
		産業廃棄物	廃棄物等の「等」
食料品製造業	1,024	175	12

(参考6)循環利用量(循環利用量調査)と再生利用の実施量(農水統計)の定義の違い

循環利用量調査の産業廃棄物の循環利用量に用いている産廃統計の再生利用量、及び廃棄物等の「等」の循環利用量の算出に用いている副産物調査の再資源化量、農水統計の食品廃棄物等の再生利用の実施量の定義は次のとおりである。

＜産廃統計の再生利用量の定義＞

◆再生利用量
排出事業者、処理業者等で再生利用された量
(以下は、再生利用量の内訳となる量の定義)

- ◆自己未処理自己再生利用量
自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
- ◆自己中間処理後自己再生利用量
自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他社に有償で売却した量
- ◆委託中間処理後再生利用量
委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量

(出典:産廃統計の調査票記入要領より抜粋)

＜副産物調査の再資源化量の定義＞

◆再資源化量
本調査の「再資源化量」とは、副産物のうち有用なものの全部又は一部を再生資源として利用できる状態にした量のことを言います。具体的には下表の「再資源化の区分」の定義のいずれかに合致するものです。

再資源化区分の定義

番号	再資源化区分	備考
1	自社内で再資源化	
2	有償譲渡して再資源化	・譲渡先への運送費等と貴事業所が負担せず、売却した場合 ・売却代金と運送費等の収支が、プラスになった場合
3	無償譲渡して再資源化	・譲渡先への運送費等と貴事業所が負担せず、無償譲渡した場合 ・売却代金と運送費等の収支が0になった場合
4	処理費を支払い再資源化	・譲渡先への運送費等と貴事業所が負担し、再資源化された場合 ・売却代金と運送費等の収支が、マイナスになった場合
5	自社内保管	・調査対象年度の事業活動で生じた物で、再資源化を前提に保管した場合。

(出典:副産物調査の調査票記入要領より抜粋)

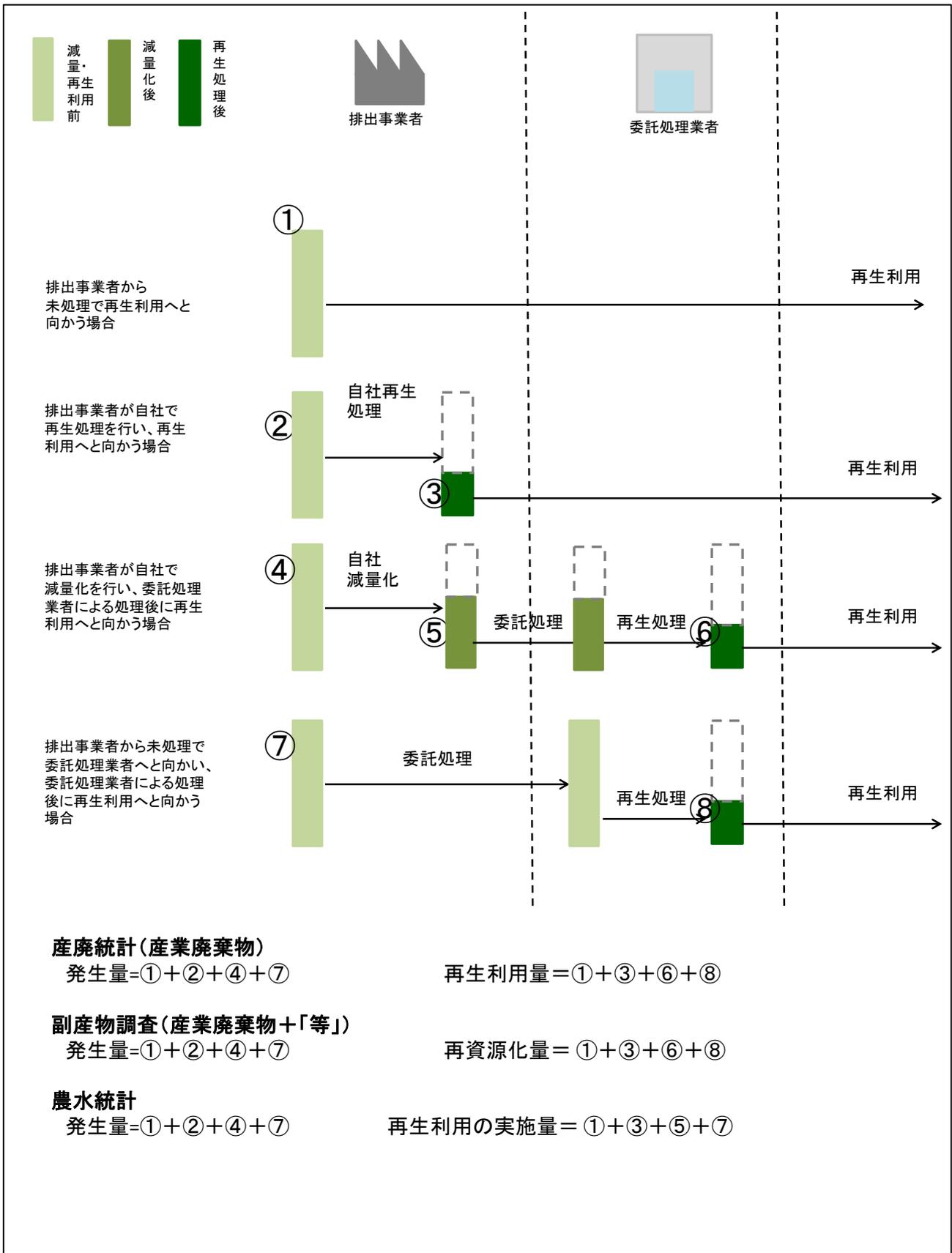
＜農水統計の再生利用の実施量の定義＞

◆再生利用の実施量
食品廃棄物等の発生量のうち、再生利用を実施した量について、業種毎及び特定肥飼料等の種類毎に入力してください。

※投入された食品循環資源の量の入力であり、製造された特定肥飼料等の製品の量ではありません。

(出典:農水統計の食品リサイクル法に基づく定期報告書の記載例より抜粋)

以上の定義について概念図で整理した結果は以下のとおりである。両統計資料で発生量の概念は同じと考えるが、再生利用の捉え方は、産廃統計及び副産物調査では再生利用された量(製品化量)に対し、農水統計では再生利用に向かった量(仕向量)と異なっている。



(参考7) 食品廃棄物等に関する廃棄物等の量の比較のための発生量等推計方法

○一般廃棄物の厨芥の発生量、循環利用量のうち事業系一般廃棄物の量

一般廃棄物の厨芥の発生量、循環利用量のうち事業系一般廃棄物の量は以下の式で推計した。

$$\begin{aligned} & \text{一般廃棄物の厨芥の発生量のうち事業系一般廃棄物の量} \\ & = \text{循環利用量調査で把握された厨芥の発生量} \\ & \quad \times \text{一般廃棄物に占める事業系一般廃棄物の割合} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \text{一般廃棄物の厨芥の循環利用量のうち事業系一般廃棄物の量} \\ & = \text{循環利用量調査で把握された厨芥の循環利用量} \\ & \quad \times \text{一般廃棄物に占める事業系一般廃棄物の割合} \end{aligned}$$

上記式に用いる「一般廃棄物に占める事業系一般廃棄物の割合」は、「日本の廃棄物処理(平成 24 年度版 平成 26 年 3 月 27 日現在)」より、ごみ排出状況のごみ総排出量の合計(45,220 千トン)(災害廃棄物は含まない)に対する事業系ごみの量(13,094 千トン)の割合(0.29)とした(下表のとおり)。

表 68 一般廃棄物に占める事業系一般廃棄物の割合

設定値	備考
0.29	事業系ごみ/ごみ総排出量 (出典:日本の廃棄物処理,ごみの排出状況より)

○産業廃棄物の種類別循環利用量のうち業種別の量

産業廃棄物の種類別循環利用量のうち業種別の量は以下の式で推計した。

$$\begin{aligned} & \text{業種別の循環利用量} = \text{全業種からの循環利用量} \times \\ & \quad \text{全業種からの排出量に占める当該業種の排出量の割合} \\ & \text{※産業廃棄物の種類別に推計} \end{aligned}$$

上記式に用いる「全業種からの排出量に占める当該業種の排出量の割合」は、産廃統計における業種別の排出量の割合とした(下表のとおり)。

表 69 全業種からの排出量に占める食品産業の排出量の割合

	設定値				
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ
食料品製造業、飲料製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業	0.04	0.06	0.30	0.02	0.97
食料品製造業	0.04	0.03	0.03	0.02	0.70
飲料製造業	0.01	0.00	0.26	0.00	0.28
食品卸売業	0.00	0.00	0.00	0.00	
食品小売業	0.00	0.00	0.00	0.00	
外食産業	0.00	0.03	0.00	0.00	

3.3 循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量について

(1) 平成25年度第1回循環利用量調査改善検討会における検討内容と委員指摘事項

平成 25 年度第 1 回検討会において、循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量と、PET ボトルリサイクル推進協議会の公表値をもとに推計した参考値との比較を行った結果は、表 1 のとおりであった。

表 70 平成25年度第1回検討会における循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量と、PETボトルリサイクル推進協議会公表値から推計した参考値

年度	循環利用量調査 一般廃棄物の ペットボトルの 焼却処理量	PET ボトルリサイクル推進協議会公表値から推計した参考値	
		平成 25 年度第 1 回検討会時点の比較方法	
		販売量－再資源化量	回収量－再資源化量
H23	21.7 万 t [※]	8.6 万 t (=販売量 60.4 -再資源化量 51.8)	13.6 万 t (=回収量 65.4 -再資源化量 51.8)
		差（循環－協議会）13.1 万 t	差（循環－協議会）8.7 万 t

※平成 23 年度確定値は 21.7 万 t (平成 23 年度速報値は 19.2 万 t)

上記結果に関して、委員より下記の指摘があった。

【指摘事項】

循環利用量調査で用いている一廃統計と PET ボトルリサイクル推進協議会資料の違いとして、一般廃棄物として一廃統計の中に含まれるペットボトルについては、ラベルやキャップがついたままの場合があるが、PET ボトルリサイクル推進協議会においては、再資源化量はラベルもキャップも除いた量になっている。

指摘を踏まえ、循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量算出に用いている組成調査における「ペットボトル」の分類対象と、PET ボトルリサイクル推進協議会の公表値において対象となる「ペットボトル」の確認を行った。

(2) 循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量算出時に対象としている「ペットボトル」の分類について

循環利用量調査では、一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）の一般廃棄物の焼却処理量に、ペットボトルの内訳比率を乗じて、一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量を算出している。

循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量の算出式は下記のとおりである（詳細は p. 80 の（参考 8）を参照）。

$$\begin{aligned}
 & \text{(式1)} \quad \text{一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量(21.7 万トン)} \\
 & \quad = \text{一廃統計の一般廃棄物の焼却処理量(3,400.2 万トン)} \\
 & \quad \quad \times \text{焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率(0.639\%)} \\
 \\
 & \text{(式2)} \quad \text{焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率(0.639\%)} \\
 & \quad = \frac{\sum_i(A: \text{一廃統計の収集区分 } i \text{ の焼却施設への搬入量} \times B: \text{収集区分 } i \text{ のペットボトルの内訳比率})}{\sum_i(A: \text{一廃統計の収集区分 } i \text{ の焼却施設への搬入量})} \\
 \\
 & \text{(式3)} \quad B: \text{収集区分 } i \text{ のペットボトルの内訳比率} \\
 & \quad = \frac{(\text{一廃統計の生活系の収集区分 } i \text{ の収集量} \times \text{生活系の収集区分 } i \text{ のうちペットボトルの内訳比率} \\
 & \quad \quad + \text{一廃統計の事業系の収集区分 } i \text{ の収集量} \times \text{事業系の収集区分 } i \text{ のうちペットボトルの内訳比率})}{(\text{一廃統計の生活系の収集区分 } i \text{ の収集量} + \text{一廃統計の事業系の収集区分 } i \text{ の収集量})}
 \end{aligned}$$

※値は平成 23 年度値

内訳比率の算出の際は、生活系一般廃棄物分については「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査（環境省）」における「ペットボトル」の分類を、事業系一般廃棄物分については「ごみ排出原単位等実態調査（東京 23 区清掃一部事務組合）」における「ペットボトル」の分類を用いている。下表に両調査の概要を整理した。

表 71 組成調査の内容

調査実施団体	環境省	東京 23 区清掃一部事務組合
報告書名	容器包装廃棄物の使用・排出実態調査報告書	ごみ排出原単位等実態調査報告書
調査頻度	毎年	毎年
調査地域と調査対象	・7 都市（東北 1、関東 3、中部 1、関西 1、九州 1 非公開）のうち、各都市からそれぞれ次の特性を持つ 3 地区を選出 A 地区：比較的古くからの戸建て住宅地 B 地区：比較的最近に開発された戸建て住宅地 C 地区：共同住宅	・事業所の形態や事業所数から代表的な 10 区の地域を選定（港区、文京区、新宿区、台東区、葛飾区、大田区、江戸川区、墨田区、江東区、荒川区） ・対象とする事業所は、店舗/飲食店/事務所等/工場等/輸送センター等/住居と区別しにくい事業所/その他などの延べ床面積 3,000m ² 以下の事務所(495 事業所)
調査時期	冬季	冬季
調査対象ごみ	家庭から排出され市町村が収集するごみ(粗大ごみを除く)の全て	対象事業所から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ
調査方法	発生源調査(ごみ集積所) ごみ種ごとに組成分析量(抽出サンプル量)を決めており、可燃ごみと紙製・プラスチック製容器包装は、ステーションなどに排出されたすべての当該廃棄物から一定量を抽出して、その他の資源ごみ等は、排出量全量を対象に分析。	発生源調査 調査対象の各事業所に可燃ごみ用、不燃ごみ用及び資源ごみ用の 3 種類の袋(各 15 枚: 予備を含む)を配布し、これに前日に発生したすべての事業所のごみ・資源(産業廃棄物を除く)を投入してもらい、調査期間中、原則として毎日回収して、その重量及び組成を計量。
ペットボトルのラベルとキャップの扱い	キャップ/ラベルについては、調査時に手作業で可能な限り分別して、ペットボトルとは別の分類としている。	キャップ/ラベルについては、調査時に手作業で外して、ペットボトルとは別の分類(その他容器包装対象)としている。
指定ペットボトル以外のペットボトルの扱い	指定ペットボトル以外のペットボトルについては、「ペットボトル」の分類に含まれる。	指定ペットボトル以外のペットボトルについては、「ペットボトル」の分類に含まれる。

表 72 より、循環利用量調査で一般廃棄物の品目別の按分に用いている 2 つの調査結果では、「ペットボトル」という分類にキャップ/ラベルが含まれていないため、その比率を用いて算出した一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量には、キャップ/ラベルの焼却処理量は含まれていないと考えられる。

また、指定ペットボトル以外のペットボトルについては、環境省調査及び東京 23 区清掃一部事務組合調査ともに「ペットボトル」の分類に含めているため、循環利用量調査のペットボトルの焼却処理量には、指定ペットボトル以外のペットボトルの焼却処理量も含まれる。

(3)PETボトルリサイクル推進協議会の公表値における「ペットボトル」の対象について

循環利用量調査の推計対象は、容量・用途に限らずすべてのペットボトル（ポリエチレンテレフタレート樹脂を用いて作られたすべてのボトル）であるが、PET ボトルリサイクル推進協議会協議会において販売量、回収量及び再資源化量を推計しているのは、指定ペットボトルといわれる「資源有効利用促進法で指定表示製品となっている 150ml 以上の特定用途のペットボトル（飲料用および特定調味料（しょうゆ、みりん等）用）」である。表 3 に指定ペットボトルの範囲（用途・容量）を示した。

表 72 指定ペットボトルの範囲(用途・容量)

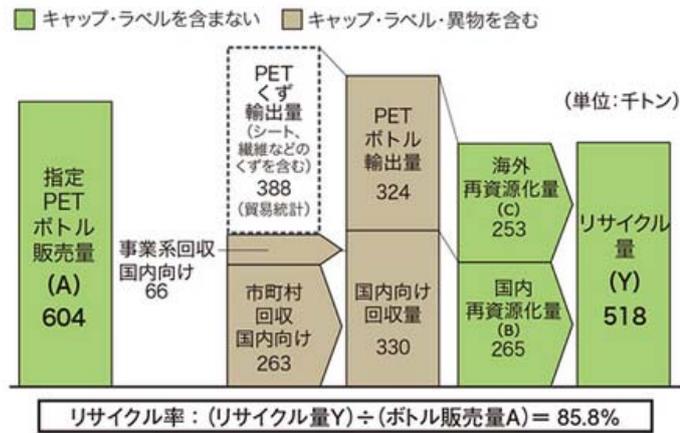
対象となるペットボトルの範囲		調査名	
用途	容量	本調査	指定ペットボトル
飲料用 (清涼飲料水、果汁飲料、酒類、乳飲料等)	≥ 150ml	○	○
特定調味料 (しょうゆ、しょうゆ加工品、みりん風調味料、食酢、調味酢、ドレッシングタイプ調味料(食用油を含まないもの))	<150ml	○	—
飲料用及び特定調味料以外の用途 ・食用油脂を含むもの (食用油、オイル成分を含むドレッシング等) ・香辛料の強いもの(ソース、焼肉のたれ等) ・非食品用途全般 (洗剤、シャンプー、化粧品、医薬品等)	≥ 150ml	○	—
	<150ml	○	—

指定ペットボトル以外のペットボトルについては、下表のとおり、PET ボトルリサイクル推進協議会では、回収量及び再資源化量は把握しておらず、販売量のみ把握している。

参考として、下表の出典である PET ボトルリサイクル推進協議会の 2011 年度のペットボトルのリサイクル状況について、次頁の図に示した。

表 73 PETボトルリサイクル推進協議会における推計量(平成23年度実績公表値)

廃棄物の区分	種類	素材	PET ボトルリサイクル推進協議会		
			販売量	回収量	再資源化量
一般廃棄物 及び 産業廃棄物	指定ペットボトル	PET 樹脂 (ボトル本体)	60.4 万t (実績値)	65.4 万t (実績値) キャップ/ラベルを一部含む [国内向け回収量 33.0 万 t PET ボトル輸出量 32.4 万 t]	51.8 万t (回収量×比率) [国内再資源化量 26.5 万 t 海外再資源化量 25.3 万 t]
		キャップ/ラベル			
	指定ペットボトル 以外のペットボ トル	PET 樹脂 (ボトル本体)	3.8 万t (実績値)		
		キャップ/ラベル			



<p>【分母】指定PETボトル販売量</p> <p>1) 国内製品販売量:582,547トン・・・【1】</p> <p>2) 輸入製品販売量:21,404トン・・・【2】</p> <p>推進協議会調べ</p> <p>※ 指定PETボトル販売量 = 【1】 + 【2】 = 603,951トン・・・A</p> <p>【分子】使用済PETボトル再資源化量</p> <p>1) 国内再資源化量</p> <p>a) 市町村回収量(再商品化量): 288,196トン・・・【3】 環境省データ(速報値) 指定法人処理:194,996トン・・・【4】 日本容器包装リサイクル協会データ 独自処理量(【3】 - 【4】):93,200トン・・・【5】</p> <p>b) 事業系ボトル回収量: 183,060トン・・・【6】 推進協議会調べ</p> <p>c) 回収後の国内処理・海外処理の割合 市町村回収での国内処理割合91.3%・・・【7】 事業系回収での国内処理割合:36.3%・・・【8】 推進協議会調べ</p> <p>d) 国内向け回収量 市町村回収国内向け量(【3】×【7】): 263,254・・・【9】 事業系回収国内向け量(【6】×【8】): 66,402・・・【10】</p> <p>e) 再資源化率 市町村回収での再資源化率:81.2%・・・【11】 日本容器包装リサイクル協会データ 事業系回収での再資源化率:77.7%・・・【12】 推進協議会調べ</p> <p>※ 国内再資源化量 = 【9】×【11】 + 【10】×【12】 = 265,289トン・・・B</p>	<p>2) 海外再資源化量</p> <p>a) PETくず輸出量(中国、香港、台湾、タイ、フィリピン、インドネシア向け): 388,305トン・・・【13】 財務省発表貿易統計</p> <p>b) 国内再商品化後輸出量:4,169トン・・・【14】 日本容器包装リサイクル協会データ</p> <p>c) 輸出PETくず中の使用済みPETボトルの割合:84.3%・・・【15】 推進協議会調べ</p> <p>d) PETボトル輸出量((【13】 - 【14】)×【15】): 323,857トン・・・【16】</p> <p>※ 海外再資源化量 = {市町村回収からの輸出分} + {事業系回収からの輸出分} = {【3】×(1 - 【7】)×【11】} + {(【16】 - 【3】)×(1 - 【7】)×【12】} = 252,628トン・・・C</p> <p>【リサイクル量・リサイクル率】 リサイクル量 = B + C = 517,918トン・・・Y リサイクル率 = Y ÷ A = 85.8%</p> <p>【参考】 市町村分別収集量:297,914トン・・・【17】 環境省データ(速報値)</p> <p>国内でのリサイクル率はB÷A = 43.9%となり、また、従来の回収率79.6%から、キャップ、ラベル等の異物を除いて、リサイクル率として算出すると((【3】×【11】 + 【6】×【12】)÷A): 62.3%になります。</p>
--	--

出典:PET ボトルリサイクル推進協議会ホームページ(<http://www.petbottle-rec.gr.jp/>)

図 8 PET ボトルリサイクル推進協議会におけるペットボトルのリサイクル状況(2011 年度)

(4) 循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量と、PETボトルリサイクル推進協議会公表値から推計した参考値との比較

循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量と、PETボトルリサイクル推進協議会公表値（p. 77 の図 8 に示した値）における「販売量—再資源化用途に向かった量」、「国内向け回収量—国内再資源化量」を比較した結果を以下に示す。比較結果より、循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量 21.7 万 t に対して、参考値 A（販売量—再資源化用途に向かった量）との差は 16.4 万 t、参考値 B（国内向け回収量—国内再資源化量）との差は 11.4 万 t となった。

表 74 循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量と
PETボトルリサイクル推進協議会公表値から算出した参考値との比較結果

年度	循環利用量調査 一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量	PET ボトルリサイクル推進協議会公表値から算出した参考値							
		平成 25 年度検討会時点の比較方法				新たな比較方法案			
		販売量—再資源化量		回収量—再資源化量		参考値 A 販売量—再資源化用途に向かった量 ^{※1}		参考値 B 国内向け回収量—国内再資源化量	
H 23	21.7 万 t ＝一廃統計の一般廃棄物の焼却処理量 (3,400.2 万 t) × 焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率 (0.639%)	8.6 万 t (=60.4-51.8)		13.6 万 t (=65.4-51.8)		5.3 万 t (=60.4+3.8-58.9)		10.3 万 t (=33.0+3.8-26.5)	
		販売量 (指定ペットボトル: ボトル本体)	60.4 万 t	回収量 (指定ペットボトル: ボトル本体とキャップ/ラベルを一部含む)	65.4 万 t	販売量 (指定ペットボトル: ボトル本体)	60.4 万 t	国内向け回収量 (指定ペットボトル: ボトル本体とキャップ/ラベルを一部含む)	33.0 万 t
						+販売量 ^{※2} (指定ペットボトル以外のペットボトル)	+3.8 万 t	+回収量 ^{※3} (指定ペットボトル以外のペットボトル)	+3.8 万 t
		—再資源化量 (指定ペットボトル: ボトル本体)	-51.8 万 t	—再資源化量 (指定ペットボトル: ボトル本体)	-51.8 万 t	—再資源化用途に向かった量 ^{※1} (指定ペットボトル: ボトル本体(輸出量はキャップ/ラベルを一部含む))	-58.9 万 t	—国内再資源化量 (指定ペットボトル: ボトル本体)	-26.5 万 t
		差 (循環—協議会) 13.1 万 t		差 (循環—協議会) 8.7 万 t		差 (循環—協議会) 16.4 万 t		差 (循環—協議会) 11.4 万 t	

※1) 再資源化用途に向かった量とは、国内再資源化量 26.5 万 t、ペットボトル輸出量 32.4 万 t の合計である。

※2) 指定ペットボトル以外のペットボトルの再資源化量は把握できていないため、現時点では販売量(ボトル本体)の全量が再資源化用途以外に向かった量として整理した。

※3) 新たな比較方法案のうち、参考値 B の指定ペットボトル以外のペットボトルの回収量については、指定ペットボトル以外のペットボトルの販売量に等しいと仮定した。

(5) 確認結果

(7) 循環利用量調査におけるキャップ/ラベルの扱いについて

循環利用量調査では、一般廃棄物の品目別の焼却処理量の算出を行う際、「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査（環境省）」と、「ごみ排出原単位等実態調査（東京 23 区清掃一部事務組合調査）」の 2 つの調査結果を用いているが、その両方において、「ペットボトル」という分類にキャップ/ラベルは含まれていないため、循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量には、キャップ/ラベルの焼却処理量は含まれていないと考えられる。

(4) 循環利用量調査の一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量とPETボトルリサイクル推進協議会公表値から推計した参考値との比較結果

循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量 21.7 万 t に対して、PET ボトルリサイクル推進協議会公表値の「販売量—再資源化用途に向かった量」5.3 万 t との差は 16.4 万 t、「国内向け回収量—国内再資源化量」10.3 万 t との差は 11.4 万 t となった。

なお、循環利用量調査における一般廃棄物の焼却処理量の算出式を用いて、内訳比率を一般社団法人プラスチック循環利用協会の調査結果（表 75）に置き換えた結果、「焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率」は、循環利用量調査における推計値 0.639% に対して 0.564% となり、焼却処理量は 19.1 万 t と推計され、循環利用量調査における焼却処理量 21.7 万 t とほぼ同程度となった。

表 75 循環利用量調査における一般廃棄物中のペットボトルの収集区分別内訳比率と、一般社団法人プラスチック循環利用協会におけるペットボトルの収集区分別内訳比率

収集区分		一般廃棄物中のペットボトルの 収集区分別内訳比率(%)		一般廃棄物の 焼却施設への 搬入量(ton) ^{※2}	一般廃棄物の 焼却施設への 搬入量の 重量比率(%)
		循環利用量調査 より	一般社団法人プラスチ ック循環利用協会調査 結果より		
混合 ごみ	生活系	1.67%	0.83%	1,758,217	5.2%
	事業系	1.24%	1.85%	1,109,922	3.3%
可燃 ごみ	生活系	0.65%	0.30%	19,993,208	58.8%
	事業系	0.12%	0.75%	8,380,634	24.7%
不燃 ごみ	生活系	1.30%	0.73%	32,109	0.1%
	事業系	0.19%	0.54%	4,019	0.01%
資源 ごみ	生活系	6.56%	— ^{※1}	14,292	0.04%
	事業系	3.41%	— ^{※1}	1,089	0.00%
その他 ごみ	生活系	0%	— ^{※1}	16,334	0.05%
	事業系	1.24%	— ^{※1}	1,694	0.00%
粗大 ごみ	生活系	0%	— ^{※1}	72,565	0.2%
	事業系	1.24%	— ^{※1}	4,746	0.01%
直接搬入ごみ		1.24%	— ^{※1}	2,605,930	7.7%
計		—	—	33,994,759	100.0%

※1 試算時は循環利用量調査の内訳比率を利用

※2 一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)より

(参考 8) 循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量の算出方法(詳細)

循環利用量調査における一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量の算出式を示す。

(式1) 一般廃棄物のペットボトルの焼却処理量(21.7 万トン)
 = 一廃統計の一般廃棄物の焼却処理量(3,400.2 万トン)
 × 焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率(0.639%)

(式2) 焼却処理量のうちペットボトルの内訳比率(0.639%)
 =
$$\frac{\sum_i(A: \text{一廃統計の収集区分 } i \text{ の焼却施設への搬入量} \times B: \text{収集区分 } i \text{ のペットボトルの内訳比率})}{\sum_i(A: \text{一廃統計の収集区分 } i \text{ の焼却施設への搬入量})}$$

 =
$$\frac{217,229t}{33,994,759t}$$
 ※値は平成 23 年度値

表 76 収集区分別の一般廃棄物焼却施設への搬入量及びペットボトルの内訳比率
(平成23年度確定値)

収集区分 i	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	その他のごみ	粗大ごみ	直接搬入ごみ	合計
A 一廃統計の収集区分 i の焼却施設への搬入量	2,868,139t	28,373,842t	36,128t	15,381t	18,028t	77,311t	2,605,930t	33,994,759t
B 収集区分 i のペットボトルの内訳比率	1.51%	0.49%	1.18%	6.34%	0.12%	0.08%	1.24%	
A×B(式(2)分子)	43,174t	140,236t	426t	975t	21t	59t	32,338t	217,229t

(式3) B:収集区分 i のペットボトルの内訳比率

$$= \frac{(\text{一廃統計の生活系の収集区分 } i \text{ の収集量} \times \text{生活系の収集区分 } i \text{ のうちペットボトルの内訳比率}) + (\text{一廃統計の事業系の収集区分 } i \text{ の収集量} \times \text{事業系の収集区分 } i \text{ のうちペットボトルの内訳比率})}{(\text{一廃統計の生活系の収集区分 } i \text{ の収集量} + \text{一廃統計の事業系の収集区分 } i \text{ の収集量})}$$

表 77 収集区分別 生活系/事業系別の一般廃棄物収集量及びペットボトルの内訳比率
(平成23年度確定値)

収集区分 i	混合ごみ		可燃ごみ		不燃ごみ		資源ごみ	
	生活系	事業系	生活系	事業系	生活系	事業系	生活系	事業系
C:生活系/事業系の一廃統計の収集区分 i の収集量	1,832,888t	1,157,060t	20,977,128t	8,793,067t	1,479,623t	185,211t	4,563,570t	347,561t
D:生活系/事業系の収集区分 i のうち、ペットボトルの内訳比率	1.67%	1.24%	0.65%	0.12%	1.30%	0.19%	6.56%	3.41%
C×D	30,649t	14,358t	136,585t	10,553t	19,283t	358t	299,377t	11,850t
B 収集区分 i のペットボトルの内訳比率	1.51%		0.49%		1.18%		6.34%	

収集区分 i	その他ごみ		粗大ごみ		直接搬入ごみ
	生活系	事業系	生活系	事業系	事業系 注5
C:生活系/事業系の一廃統計の収集区分 i の収集量	88,323t	9,160t	761,656t	49,819t	2,503,280t
D:生活系/事業系の収集区分 i のうち、ペットボトルの内訳比率	0%	1.24%	0%	1.24%	1.24%
C×D	0t	114t	0t	618t	31,064t
B 収集区分 i のペットボトルの内訳比率	0.12%		0.08%		1.24%

注 1) 環境省:容器包装廃棄物の使用・排出実態調査(環境省)
 注 2) 東京 23 区:ごみ排出原単位等実態調査(東京 23 区清掃一部事務組合)
 注 3) 設定 1 は、一廃統計の資源化量から比率を設定
 注 4) 設定 2 は 0 値とする。
 注 5) 一廃統計では直接搬入ごみは生活系/事業系に分けて把握しているが、全量を事業系とみなしている。

3.4 環境省統計と経団連統計等を用いた産業廃棄物の最終処分量の平成19年度値・平成20年度値・平成21年度値・平成22年度値・平成23年度値及び平成24年度値の比較結果

環境省統計（産業廃棄物排出・処理状況調査と経団連統計等を用いて産業廃棄物の最終処分量の経年的推移について平成19年度～平成24年度までの比較を行った。

- ・経団連統計に基づく積算値（経産省副産物調査※との差分を含む）は、平成23年度の13,300千t/年から平成24年度では10,360千t/年と2,940千t/年減少している。
- ・環境省統計は平成23年度の12,440千t/年から平成24年度では13,100千t/年と660千t/年増加している。
- ・参考値である許可業者実績報告（最終処分量）等は、平成23年度の14,990千t/年から平成24年度では13,950千t/年と1,040千t/年減少している。なお、各年度の許可業者実績報告（最終処分量）等における自己最終処分量（推計値）については、推計方法の見直しを行った（見直し内容はp.85に記載）。

※「産業分類別の副産物（産業廃棄物・有価発生物）発生状況等に関する調査」（経済産業省）

平成25年度報告書からの変更箇所は以下のとおりである。

- ・経団連統計の平成19～23年度の最終処分量については経団連フォローアップ調査結果の2012年版から2013年版で以下の変更があった。
（平成19年度：8,800→8,750千t/年、平成20年度：6,530→6,480千t/年、平成21年度：6,030→5,990千t/年、平成22年度：6,150→6,110千t/年、平成23年度：5,920→5,890）
- ・許可業者実績報告の平成23年度の最終処分量について、地方公共団体からの修正指示に伴い以下の変更があった。
（平成23年度：13,000→12,770千t/年）

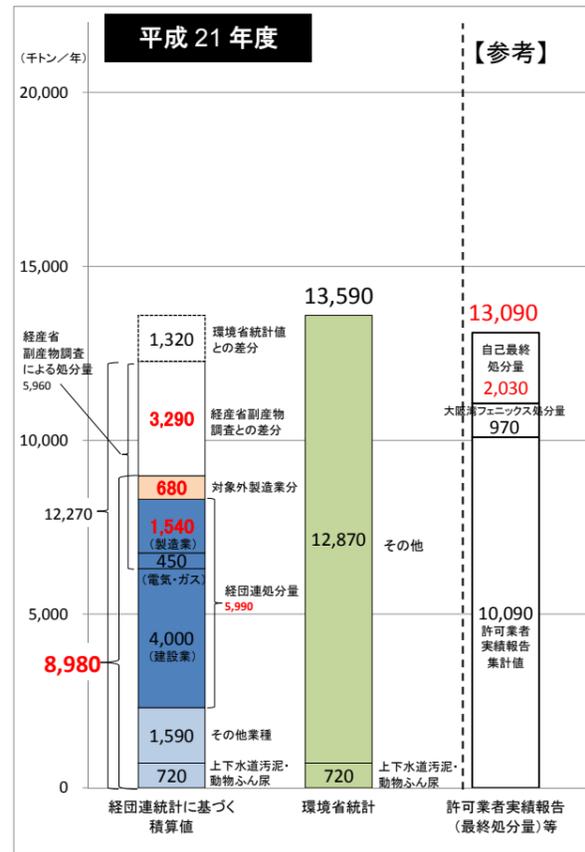


図 9 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 21 年度値)

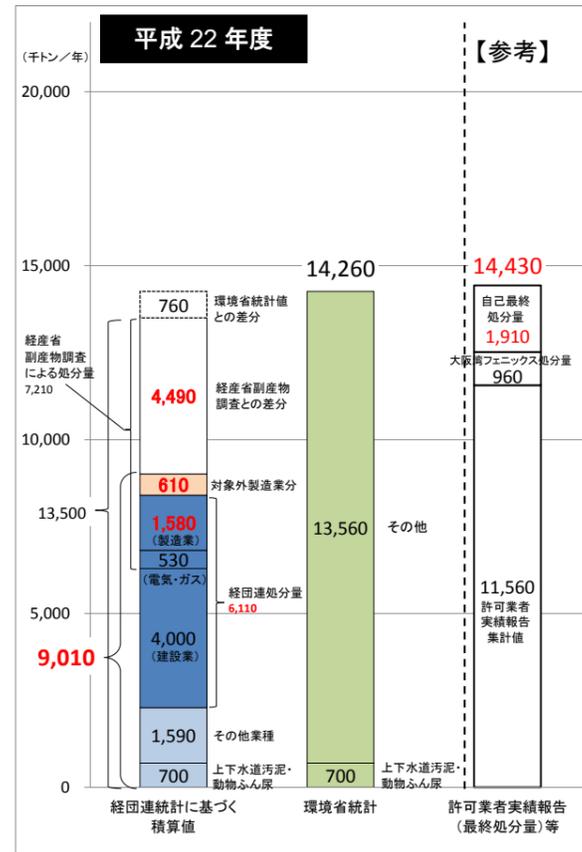


図 10 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 22 年度値)

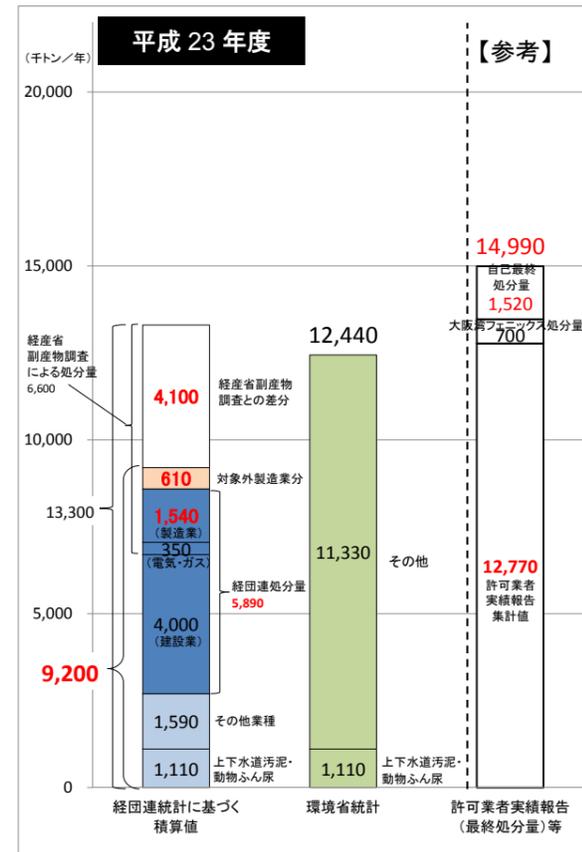


図 11 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 23 年度値)

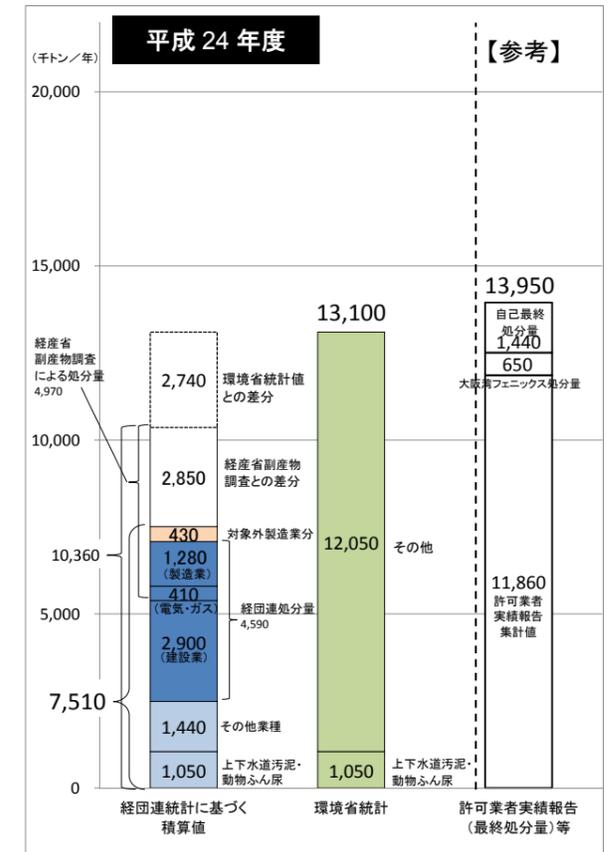


図 12 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 24 年度値)

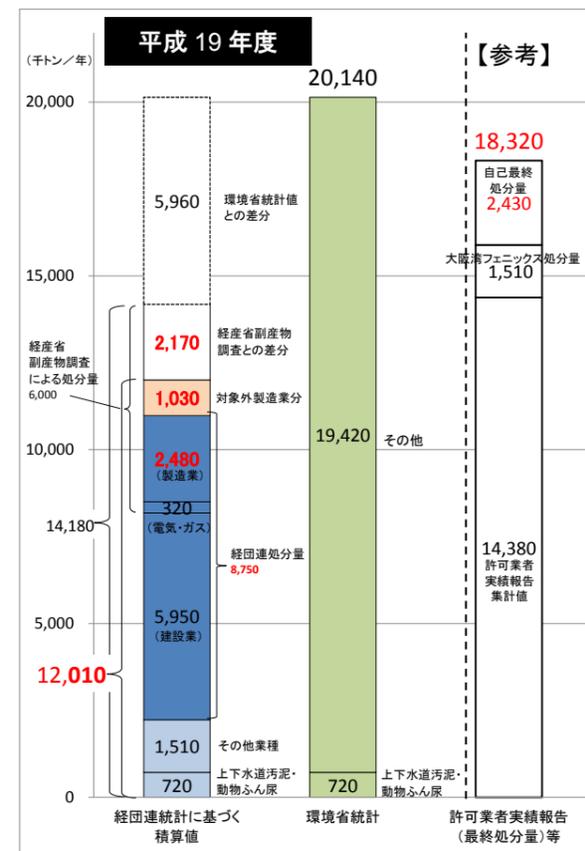


図 13 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 19 年度値)

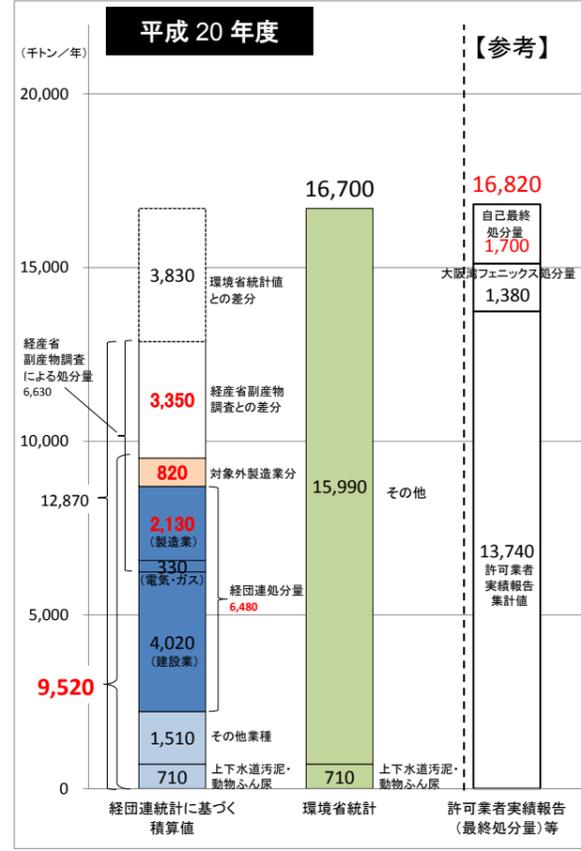
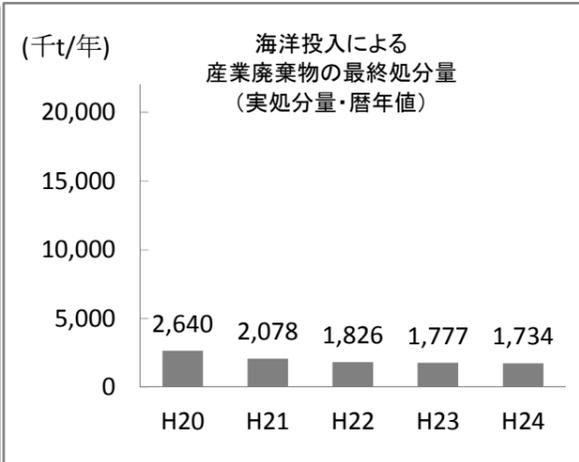
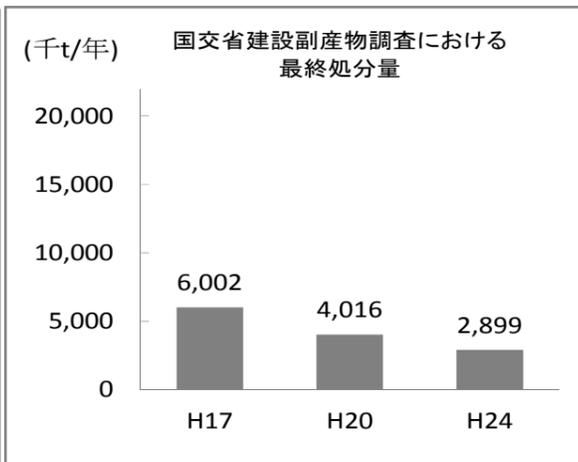
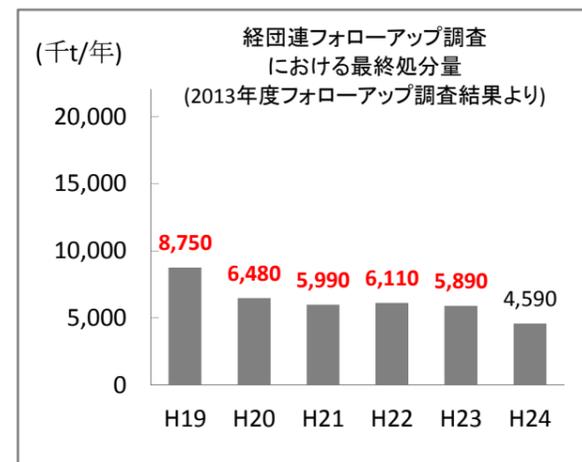
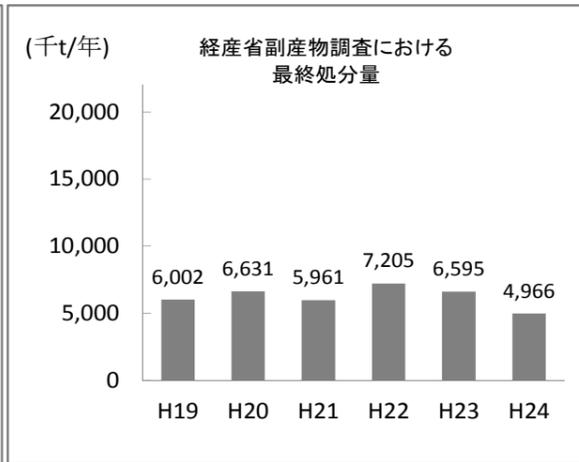
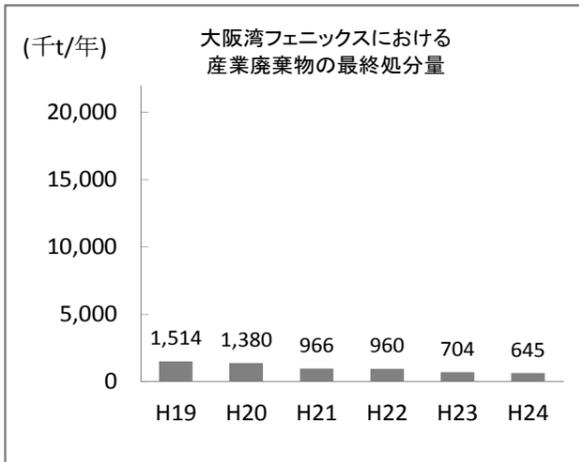
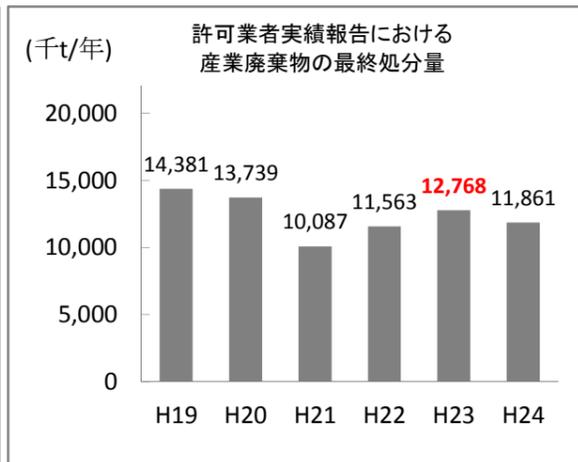
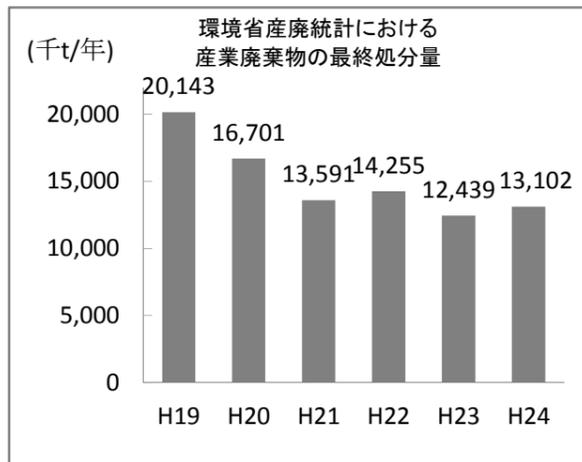


図 14 産業廃棄物の最終処分量検証結果(平成 20 年度値)

【出典】

- ・経団連統計に基づく積算値:(一社)日本経済団体連合会「環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕—2013 年度フォローアップ調査結果—(個別業種版)」、経済産業省「産業分類別の副産物発生状況等に関する調査報告書」(平成 19~24 年度実績)
- ・環境省統計:環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査」(平成 19~24 年度実績)
- ・許可業者実績報告(最終処分量)等:許可業者実績報告集計値・環境省「廃棄物の広域移動対策検討調査」(平成 19~24 年度実績)、
- ・大阪湾フェニックス処分量:大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾広域臨海環境整備センター環境報告書 2013」



海洋投入による産業廃棄物の最終処分量内訳 (実処分量・暦年値)

	(千t/年)				
	H20	H21	H22	H23	H24
ボーキサイト汚泥(赤泥)	1,550	1,258	1,060	903	741
建設汚泥	1,060	805	766	874	993
焼酎かす	30	16	0	0	0
合計	2,640	2,078	1,826	1,777	1,734

出典: 環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室

図 15 統計データの平成 19 年度～平成 24 年度の比較 (産業廃棄物の最終処分量)

【許可業者実績報告（最終処分量）等の産業廃棄物の自己最終処分量の推計方法の見直しについて】

「許可業者実績報告（最終処分量）等」のうち、自己最終処分量について、推計方法を見直した。

自己最終処分量は、産業廃棄物の排出量に自己最終処分比率を乗じて、算出している。

見直し前の自己最終処分比率（平成 19～23 年度）は、各年度共通のものとして、基本的には、平成 20 年度の各都道府県の自己最終処分比率の単純平均値を用いていた。

見直し後の自己最終処分比率（平成 19～24 年度）は、基本的には、各年度の各都道府県の自己最終処分比率の加重平均値を用いた。具体的には下記のとおりである。

＜産業廃棄物の自己最終処分比率（見直し前）＞

$$\text{各年度共通の自己最終処分比率} = \frac{\sum_{i=1}^n \left(\begin{array}{l} \text{平成 20 年度の都道府県 i の自己最終処分比率} \\ \text{(都道府県 i で平成 20 年度の調査をしていない場合は、平成 15 年度まで遡って、} \\ \text{直近の調査結果による自己最終処分比率)} \end{array} \right)}{n}$$

n: 自己最終処分比率の調査をしている団体数

表 78 各年度共通の自己最終処分比率に用いている都道府県の調査対象年度別の団体数

調査対象年度	団体数
平成15年度	2
平成18年度	2
平成19年度	1
平成20年度	34
団体数合計 (n)	39

＜産業廃棄物の自己最終処分比率（見直し後）＞

当該年度の自己最終処分比率 =

$$\frac{\sum_{i=1}^n \left(\begin{array}{l} \text{当該年度の都道府県 i の産業廃棄物の排出量} \times \text{当該年度の都道府県 i の自己最終処分比率} \\ \text{(都道府県 i で当該年度の調査をしていない場合は、平成 15 年度まで遡って、} \\ \text{直近の調査結果による自己最終処分比率)} \end{array} \right)}{\sum_{i=1}^n (\text{当該年度の都道府県 i の産業廃棄物の排出量})}$$

n: 自己最終処分比率の調査をしている団体数

表 79 各設定年度の自己最終処分比率に用いている都道府県の調査対象年度別の団体数

		自己最終処分比率の設定に用いた設定年度別の団体数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自己最終処分比率の設定に用いた調査対象年度別の団体数	平成15年度	2	2	2	2	2	2
	平成16年度	1	-	-	-	-	-
	平成17年度	3	-	-	-	-	-
	平成18年度	2	2	1	1	1	1
	平成19年度	8	1	-	-	-	-
	平成20年度		34	25	23	23	22
	平成21年度			12	3	3	3
	平成22年度				11	2	2
	平成23年度					9	2
	平成24年度						8
団体数合計 (n)		16	39	40	40	40	40

※調査を行った団体数は、ホームページ等でデータを入手可能であった数。

推計方法見直し前後の許可業者実績報告(最終処分量)等は以下のとおりであり、平成19年度を除き、平成20年度以降は、環境省統計との差が減少している。

表 80 推計方法見直し前後の許可業者実績報告(最終処分量)等、環境省統計、
経団連統計に基づく積算値の推移

項目		最終処分量(千t/年)					
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
環境省統計		20,140	16,700	13,590	14,260	12,440	13,100
許可業者実績報告 (最終処分量)等	自己最終処分量 見直し前	19,250	18,350	14,180	15,610	16,520	15,540
	自己最終処分量 見直し後	18,320	16,820	13,090	14,430	14,990	13,950
経団連統計に基づく積算値		14,180	12,870	12,270	13,500	13,300	10,360

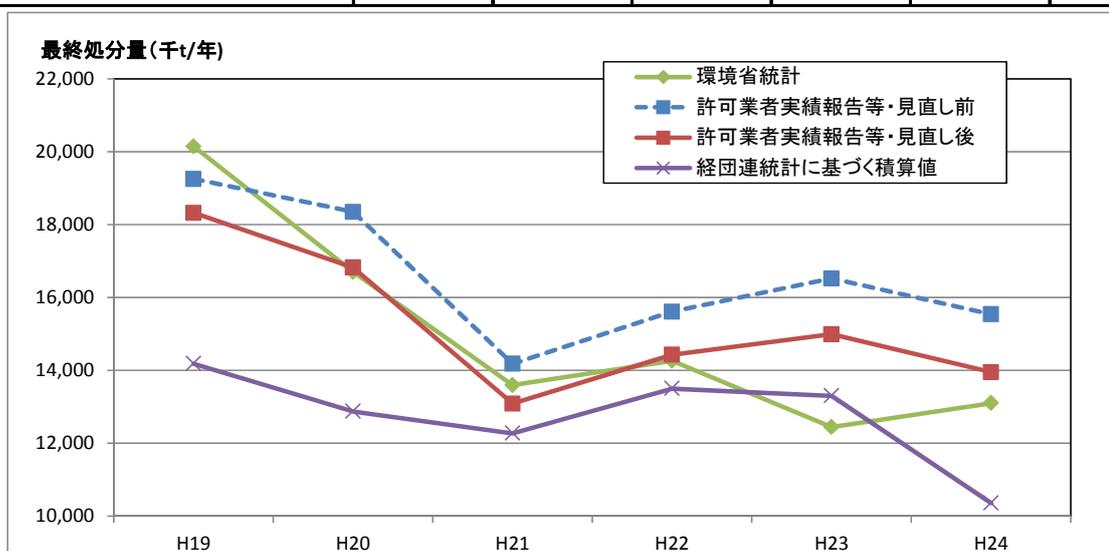


図 16 推計方法見直し前後の許可業者実績報告(最終処分量)等、環境省統計、
経団連統計に基づく積算値の推移

表 81 各年度の許可業者実績報告の集計に用いている都道府県・政令市の実績年度別の団体数

		許可業者実績報告の年度別の団体数							
		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
		全団体数 に対する割合	全団体数 に対する割合	全団体数 に対する割合	全団体数 に対する割合	全団体数 に対する割合	全団体数 に対する割合		
実績年度	平成15年度	1	1%	1	1%	1	1%	1	1%
	平成16年度	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	平成17年度	3	3%	1	1%	1	1%	1	1%
	平成18年度	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
	平成19年度	4	4%	1	1%	0	0%	0	0%
	平成20年度	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%
	平成21年度	97	90%	2	2%	0	0%	0	0%
	平成22年度			105	95%	2	2%	0	0%
	平成23年度					107	96%	4	4%
	平成24年度							106	95%
当該年度の全団体数		108	—	110	—	111	—	112	—

※政令市とは地域保健法施行令第1条第1号～第3号までの市を指す。

4 インベントリ対応

4.1 廃棄物等発生量の平成25年度速報値の算出方法

(1) 算出方法の概要

「平成 26 年度一般廃棄物処理事業実態調査（平成 25 年度実績）」（以下、「一廃統計（平成 25 年度速報値）」という）、「平成 26 年度産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成 25 年度実績）」（以下、「産廃統計（平成 25 年度速報値）」という）、「平成 26 年度産業分類別の副産物（産業廃棄物・有価発生物）の発生状況等に関する調査（平成 25 年度実績）」（以下、「副産物調査（平成 25 年度速報値）」という）及び関連統計から、廃棄物等発生量の平成 25 年度速報値を算出する方法は、平成 24 年度確定値の算出方法と同様とした。

ただし、災害廃棄物の平成 25 年度速報値の算出については、対象年度の内訳比率設定に必要な情報が入手できたことから、年度更新を行った。災害廃棄物の平成 25 年度速報値の算出方法の更新内容については、以降に記述する。

(2) 災害廃棄物の平成25年度速報値の算出方法

災害廃棄物の平成 25 年度速報値を算出する方法は、平成 24 年度確定値の算出方法（詳細については、p. 38 の 3.1 を参照のこと。）と同様とし、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率について、年度更新を行った。

(7) 品目別内訳比率の変更箇所について

「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率については、一廃統計（平成 25 年度速報値）の処理実績を基に年度更新を行った。変更箇所については、以下の表のとおりである。

表 82 災害廃棄物の平成25年度速報値において、「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」に用いる品目別内訳比率を変更した箇所

処理施設等	収集区分				
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ
既設焼却施設	—	—	○	○	○
仮設焼却施設	○	○	○	○	○
その他資源化を行う施設、その他の施設	—	—	—	○	○
セメントへの直接投入		—	—		
粗大ごみ処理施設	○		○	○	○
ごみ堆肥化施設					
ごみ燃料化施設					
メタン化施設					
ごみ燃料化施設	—	○			○
直接資源化		—	—		
直接埋立	—	—	—		—

※平成 24 年度と同様の設定値とした箇所は「—」、平成 25 年度で設定値を変更した箇所は「○」、平成 25 年度において搬入実績がない箇所は斜線とした。

なお、参考までに、一廃統計(平成 25 年度速報値)における「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の処理施設等別ごみ搬入量(平成 25 年度実績)について、東北3県(岩手県、宮城県、福島県)と東北3県以外の都道府県に分けて集計した結果は、以下の表のとおりである。

表 83 (参考)災害廃棄物の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の
処理施設等別ごみ搬入量(平成25年度実績)の状況

処理施設等※ 1	都道府県名	収集区分別搬入量 (単位:t)						合計	当該処理施設等への搬入量全体に対する割合
		混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ			
焼却施設	岩手県、宮城県、福島県	628,493	291,644	1,661	0	152	921,950	98.63%	
	上記3県以外の都道府県	782	12,019	52	0	0	12,853	1.37%	
粗大ごみ処理施設※2	岩手県、宮城県、福島県	0	0	598	0	67	665	22.76%	
	上記3県以外の都道府県	1,115	0	331	0	811	2,257	77.24%	
ごみ燃料化施設	岩手県、宮城県、福島県	17,210	360	0	0	0	17,570	99.68%	
	上記3県以外の都道府県	0	48	0	0	8	56	0.32%	
セメントへの直接投入	岩手県、宮城県、福島県	0	108,592	563,941	0	0	672,533	100%	
	上記3県以外の都道府県	0	0	0	0	0	0	0.00%	
その他の資源化を行う施設、その他の施設	岩手県、宮城県、福島県	784,009	42	3,893	2,322	234	790,500	99.85%	
	上記3県以外の都道府県	607	0	386	18	112	1,173	0.15%	
直接資源化	岩手県、宮城県、福島県	0	533	13,838	0	0	14,371	99.99%	
	上記3県以外の都道府県	0	0	2	0	0	2	0.01%	
直接埋立	岩手県、宮城県、福島県	42,678	17	349,540	0	0	392,235	96.51%	
	上記3県以外の都道府県	1,854	225	12,020	0	102	14,201	3.49%	
合計	岩手県、宮城県、福島県	1,472,390	401,188	933,471	2,322	453	2,809,824	98.92%	
	上記3県以外の都道府県	4,358	12,292	12,841	18	1,033	30,542	1.08%	

※1 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の搬入実績がなかった「ごみ堆肥化施設」「ごみ飼料化施設」「メタン化施設」「海洋投入」については、上記の表より除外している。

※2 粗大ごみ処理施設については、粗大ごみ処理施設に搬入された災害廃棄物のごみ組成分析結果等のデータがないため、通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の算出で用いる「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率を設定している。

平成 25 年度実績については、災害廃棄物のごみ搬入量の全国合計に対する東北3県の割合は 98.9%となっており、平成 24 年度に引き続き東日本大震災によって発生した災害廃棄物と考えられるため、年度更新できない品目別内訳比率については、従来どおりの設定方法及び設定値とした。

ただし、岩手県、宮城県では、震災による災害廃棄物の処理が平成 25 年度に終了しており、平成 26 年度以降は、福島県における災害廃棄物の処理及び東日本大震災以外の災害によって発生した災害廃棄物の計上が想定される。このため、災害廃棄物の処理施設等別ごみ搬入量については、引き続き注視し、必要に応じて品目別内訳比率の設定の見直しを行うこととする。

(3) 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を按分する品目別内訳比率の設定

表 84～表 86 に地方公共団体の災害廃棄物に関する公表資料等を用いた「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」及び「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値を示す。

表 84 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値（平成25年度速報値）

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成25年度速報値算出への適用案)																																																																																																																																																																																							
	収集区分					収集区分																																																																																																																																																																																							
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																																																																																																																																			
焼却施設	既設焼却炉					既設焼却炉																																																																																																																																																																																							
	<p>○設定方法 宮城県「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p>	<p>○設定方法 一廃統計(平成24年度実績)の焼却施設の「不燃ごみ」については、平成23年度と同様、全量が太平洋セメント大船渡工場で焼却処理されていることから、太平洋セメント大船渡工場の現地調査結果(搬入される不燃ごみは、20mm以下の土砂類)を踏まえ、すべて「その他不燃物」と設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 仙台市の「平成24年度一般廃棄物処理年報(平成24年度実績)」から、「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成24年度確定値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p>	<p>○設定方法 一廃統計(平成25年度実績)の焼却施設の「不燃ごみ」については、前年度の「資源ごみ」の選別処理状況を基データとし、選別した品目ごとの収集重量より品目別内訳比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び宮城県に対して、「資源ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成25年度速報値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>	<p>○設定方法 宮城県の「災害廃棄物放射能濃度測定調査業務報告書(平成24年1月)」から、未分別の一次仮置場別の組成分析結果を基データとし、組成調査を行った一次仮置場の市町ごとの災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、災害廃棄物の「混合ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 岩手県の「災害廃棄物の選別処理後の分析データ」から設定した比率、仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「可燃ごみ」の全処理重量を基データとして、岩手県、宮城県及び仙台市の基データで把握された自治体の災害廃棄物の全処理量で加重平均して比率を設定する。</p>	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成25年度速報値の算出で用いる「粗大ごみ」の品目別内訳比率とする。</p>																																																																																																																																																																																	
	<p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・仙台市のがれき処理フローの更新 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>56.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	56.7%	その他不燃物	1.9%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.4%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>56.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	56.7%	その他不燃物	1.9%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・設定方法の変更</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>87.8%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	5.5%	コンクリートがら	87.8%	その他がれき類	5.8%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.8%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実施年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>30.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>38.2%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	9.4%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.4%	プラスチック類	30.9%	その他可燃	38.2%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.5%	合計
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	56.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	1.9%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	100.0%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	24.4%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	56.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	1.9%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	5.5%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	87.8%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	5.8%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	0.8%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	9.4%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	17.4%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	30.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	38.2%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
仮設焼却炉	<p>宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県の仮設焼却炉のごみ組成データを基に、仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、平成24年度確定値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出に用いた設定値及びその適用方法については、後述する。</p>					<p>宮城県、仙台市、岩手県、釜石市、福島県の仮設焼却炉の平成25年度実績のごみ組成データを基に、仮設焼却炉の品目別内訳比率を設定し、平成25年度速報値の品目別焼却処理量を算出する。品目別焼却処理量の算出に用いた設定値及びその適用方法については、後述する。</p>																																																																																																																																																																																							
その他の資源化等を行う施設 その他の施設	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「不燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「不燃ごみ」の全処理重量から比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県に対して、災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 仙台市の「がれき処理フロー」から震災により発生した「不燃ごみ」の全処理重量、及び宮城県の「災害廃棄物処理業務の記録(平成26年7月)」の「マテリアルバランス」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の震災により発生した「不燃ごみ」の全処理重量から比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県に対して、災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないとの回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>	<p>○設定方法 (焼却施設に同じ)</p>																																																																																																																																																																																			
	<p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・仙台市のがれき処理フローの更新 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>56.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	56.7%	その他不燃物	1.9%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>87.8%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	5.5%	コンクリートがら	87.8%	その他がれき類	5.8%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.8%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	10.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.6%	プラスチック類	31.7%	その他可燃	36.4%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.4%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>7.7%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>13.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	34.6%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	7.7%	その他可燃	13.7%	その他不燃物	44.0%	合計	100.0%	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>38.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>56.7%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>1.9%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	38.0%	金属くず	0.2%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	3.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	56.7%	その他不燃物	1.9%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実施年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>17.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>30.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>38.2%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	9.4%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	17.4%	プラスチック類	30.9%	その他可燃	38.2%	その他不燃物	4.2%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>品目</th><th>内訳比率(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>29.1%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>14.9%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>31.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.5%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	29.1%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	14.9%	その他可燃	31.5%	その他不燃物	24.5%	合計	100.0%																		
	品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																											
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	56.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	1.9%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	5.5%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	87.8%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	5.8%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	0.8%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	10.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	17.6%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	31.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	36.4%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	24.4%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	34.6%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	7.7%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	13.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	44.0%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	38.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	0.2%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	3.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	56.7%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	1.9%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	9.4%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	17.4%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	30.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	38.2%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	4.2%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												
品目	内訳比率(%)																																																																																																																																																																																												
木くず	0.0%																																																																																																																																																																																												
金属くず	29.1%																																																																																																																																																																																												
コンクリートがら	0.0%																																																																																																																																																																																												
その他がれき類	0.0%																																																																																																																																																																																												
プラスチック類	14.9%																																																																																																																																																																																												
その他可燃	31.5%																																																																																																																																																																																												
その他不燃物	24.5%																																																																																																																																																																																												
合計	100.0%																																																																																																																																																																																												

表 85 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)(平成25年度速報値)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成25年度速報値算出への適用案)																																																																												
	収集区分					収集区分																																																																												
	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ																																																																								
セメントへの直接投入	<p>混合ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>○設定方法 可燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 平成25年度に行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「可燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。</p> <p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>68.4%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>15.6%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	68.4%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	15.6%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.5%	その他不燃物	9.3%	合計	100.0%	<p>○設定方法 不燃ごみの平成24年度処理実績については、平成23年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とする。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	<p>資源ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>混合ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>○設定方法 可燃ごみの平成25年度処理実績については、平成24年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、岩手県の「可燃ごみ」に関する組成調査結果から設定した品目別内訳比率とする。 平成25年度に行った施設調査結果から、太平洋セメント大船渡工場に搬入される「可燃ごみ」は、「50mm以下」であることが分かったため、比率の設定では粒径が「50mm以下」の組成調査結果のみを用いる。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「可燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>68.4%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.8%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>15.6%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>5.5%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>9.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	68.4%	金属くず	0.8%	コンクリートがら	15.6%	その他がれき類	0.4%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	5.5%	その他不燃物	9.3%	合計	100.0%	<p>○設定方法 不燃ごみの平成25年度処理実績については、平成24年度と同様、岩手県のみであり、太平洋セメント大船渡工場へのヒアリング結果を基に、全量を汚泥・スラッジ・建設汚泥土(その他不燃)とする。 (セメント工場への確認結果) セメント工場に搬入される災害廃棄物の「不燃ごみ」の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータは無いとの回答を得た。</p> <p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	100.0%	合計	100.0%	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>粗大ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	68.4%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	15.6%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.5%																																																																																	
その他不燃物	9.3%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	68.4%																																																																																	
金属くず	0.8%																																																																																	
コンクリートがら	15.6%																																																																																	
その他がれき類	0.4%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	5.5%																																																																																	
その他不燃物	9.3%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	0.0%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	0.0%																																																																																	
プラスチック類	0.0%																																																																																	
その他可燃	0.0%																																																																																	
その他不燃物	100.0%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
粗大ごみ処理施設	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成24年度確定値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>20.4%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.8%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>15.2%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>28.8%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.7%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	20.4%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.8%	プラスチック類	15.2%	その他可燃	28.8%	その他不燃物	24.7%	合計	100.0%	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	○設定方法(左記に同じ)	<p>○設定方法 通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成25年度速報値の算出で用いた「粗大ごみ処理施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○設定値 ・実績年度の更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>20.6%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>10.3%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>15.1%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>29.6%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>24.4%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	20.6%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	10.3%	プラスチック類	15.1%	その他可燃	29.6%	その他不燃物	24.4%	合計	100.0%	○設定方法(混合ごみに同じ)	○設定方法(混合ごみに同じ)	○設定方法(混合ごみに同じ)	○設定方法(混合ごみに同じ)																																				
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	20.4%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.8%																																																																																	
プラスチック類	15.2%																																																																																	
その他可燃	28.8%																																																																																	
その他不燃物	24.7%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
品目	内訳比率(%)																																																																																	
木くず	0.0%																																																																																	
金属くず	20.6%																																																																																	
コンクリートがら	0.0%																																																																																	
その他がれき類	10.3%																																																																																	
プラスチック類	15.1%																																																																																	
その他可燃	29.6%																																																																																	
その他不燃物	24.4%																																																																																	
合計	100.0%																																																																																	
ごみ堆肥化施設	ごみ堆肥化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					ごみ堆肥化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																																																												
ごみ飼料化施設	ごみ飼料化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					ごみ飼料化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																																																												
メタン化施設	メタン化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成24年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。					メタン化施設での混合ごみ、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。																																																																												

表 86 「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」の品目別内訳比率の設定方法と設定値(続き)(平成25年度速報値)

処理施設等	品目別内訳比率の設定(平成24年度確定値算出)					品目別内訳比率の設定(平成25年度速報値算出への適用案)																																																																									
	混合ごみ		可燃ごみ		資源ごみ	混合ごみ		可燃ごみ		資源ごみ																																																																					
	不燃ごみ		資源ごみ		粗大ごみ	不燃ごみ		資源ごみ		粗大ごみ																																																																					
ごみ燃料化施設	<p>○設定方法 ごみ燃料化施設での平成24年度処理実績については、平成23年度と同様に、「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみであり、いわき市の処理実績と一致することが確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 ごみ燃料化施設での平成25年度処理実績については、平成24年度と同様に、「廃プラスチック類」のごみ燃料化処理実績(福島県いわき市)のみであり、いわき市の処理実績と一致することが確認できたことから、全量「プラスチック類」とする。</p>	<p>○設定方法 一廃統計(平成25年度実績)のごみ燃料化施設の可燃ごみについては、東北3県以外の処理実績を一部含んでおり、前年度と同様に全量を廃プラスチック類とは見なせないため、通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成25年度速報値の算出で用いる「ごみ燃料化施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○本区分に該当する自治体、搬入量 ・福島県の須賀川市の可燃ごみ(45t)、天栄村の可燃ごみ(315t) ・三重県の伊賀市の可燃ごみ(48t)</p>	<p>不燃ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>○設定方法 (可燃ごみに同じ) 一廃統計(平成25年度実績)のごみ燃料化施設の粗大ごみについては、東北3県以外の処理実績であり、前年度と同様に全量を廃プラスチック類とは見なせないため、通常時の一般廃棄物(災害廃棄物を含まない)の循環利用量等の平成25年度速報値の算出で用いる「ごみ燃料化施設」の品目別内訳比率とする。</p> <p>○本区分に該当する自治体、搬入量 ・東京都の大島町の粗大ごみ(8t)</p>																																																																					
	<p>○設定値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%			コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 ・設定方法の変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	100.0%	その他可燃	0.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>3.9%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>19.1%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	3.9%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	19.1%	その他可燃	77.0%	その他不燃物	0.0%	合計	100.0%	<p>○設定値 ・設定方法の変更</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>3.9%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>19.1%</td></tr> <tr><td>その他可燃</td><td>77.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%	金属くず	3.9%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	19.1%	その他可燃	77.0%	その他不燃物
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	0.0%																																																																														
金属くず	0.0%																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																														
その他がれき類	0.0%																																																																														
プラスチック類	100.0%																																																																														
その他可燃	0.0%																																																																														
その他不燃物	0.0%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	0.0%																																																																														
金属くず	0.0%																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																														
その他がれき類	0.0%																																																																														
プラスチック類	100.0%																																																																														
その他可燃	0.0%																																																																														
その他不燃物	0.0%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	0.0%																																																																														
金属くず	3.9%																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																														
その他がれき類	0.0%																																																																														
プラスチック類	19.1%																																																																														
その他可燃	77.0%																																																																														
その他不燃物	0.0%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	0.0%																																																																														
金属くず	3.9%																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																														
その他がれき類	0.0%																																																																														
プラスチック類	19.1%																																																																														
その他可燃	77.0%																																																																														
その他不燃物	0.0%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
直接資源化	<p>○設定方法 宮城県より入手した最終版の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接再生利用される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>混合ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接資源化」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>粗大ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>																																																																						
	<p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>その他可燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	2.7%					金属くず	2.9%	コンクリートがら	51.9%	その他がれき類	2.0%	プラスチック類	0.2%	その他可燃物	0.0%	その他不燃物	40.3%	合計	100.0%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>2.7%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>51.9%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.2%</td></tr> <tr><td>その他可燃物</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>40.3%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	2.7%	金属くず	2.9%	コンクリートがら	51.9%	その他がれき類	2.0%	プラスチック類	0.2%	その他可燃物	0.0%	その他不燃物	40.3%	合計	100.0%																																	
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	2.7%																																																																														
金属くず	2.9%																																																																														
コンクリートがら	51.9%																																																																														
その他がれき類	2.0%																																																																														
プラスチック類	0.2%																																																																														
その他可燃物	0.0%																																																																														
その他不燃物	40.3%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	2.7%																																																																														
金属くず	2.9%																																																																														
コンクリートがら	51.9%																																																																														
その他がれき類	2.0%																																																																														
プラスチック類	0.2%																																																																														
その他可燃物	0.0%																																																																														
その他不燃物	40.3%																																																																														
合計	100.0%																																																																														
直接埋立	<p>○設定方法 宮城県より入手した最終版の「災害廃棄物の処理フロー」から、宮城県委託処理分(各ブロック・処理区)の破碎・選別後に直接埋立処分される災害廃棄物の重量を基データとして、品目別内訳比率を設定する。</p> <p>(自治体への確認結果) 岩手県及び仙台市に対して、「直接埋立」される災害廃棄物の品目別内訳比率が把握可能な組成分析結果等のデータについて確認を行ったが、そのようなデータはないと回答を得た。</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>○設定方法 (左記に同じ)</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>	<p>資源ごみの平成25年度処理実績は計上されていないため、比率は設定しない。</p>																																																																						
	<p>○設定値 ・発生量(推計)→処理量(実績)に更新</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>内訳比率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>木くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>金属くず</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>コンクリートがら</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他がれき類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>プラスチック類</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>その他可燃物</td><td>16.9%</td></tr> <tr><td>その他不燃物</td><td>83.1%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>100.0%</td></tr> </tbody> </table>	品目	内訳比率(%)	木くず	0.0%					金属くず	0.0%	コンクリートがら	0.0%	その他がれき類	0.0%	プラスチック類	0.0%	その他可燃物	16.9%	その他不燃物	83.1%	合計	100.0%	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (左記に同じ)</p>	<p>○設定値 (混合ごみに同じ)</p>	<p>○設定値 (混合ごみに同じ)</p>	<p>○設定値 (混合ごみに同じ)</p>																																																		
品目	内訳比率(%)																																																																														
木くず	0.0%																																																																														
金属くず	0.0%																																																																														
コンクリートがら	0.0%																																																																														
その他がれき類	0.0%																																																																														
プラスチック類	0.0%																																																																														
その他可燃物	16.9%																																																																														
その他不燃物	83.1%																																																																														
合計	100.0%																																																																														

(7) 焼却処理施設の品目別内訳比率の設定方法

宮城県、仙台市、岩手県、釜石市及び福島県提供のごみ組成データを基に設定した品目別内訳比率を、以下に示す。宮城県の平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値の処理区別・炉別の品目別内訳比率は以下のとおり。

表 87 宮城県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の処理区別・炉別の品目別内訳比率

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		気仙沼 処理区 ストーカ炉	気仙沼 処理区 キルン炉	南三陸 処理区 ストーカ炉	石巻 ブロック キルン炉 (J1)	石巻 ブロック キルン炉 (J2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M1)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M3)	宮城 東部 ブロック ストーカ炉	宮城 東部 ブロック キルン炉
ごみの種類		混合 廃棄物	混合 廃棄物	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	0.1%	2.0%	14.8%	4.4%	21.9%	2.3%	6.2%	14.3%	0.1%	10.2%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	0.6%	5.6%	8.6%	4.8%	16.3%	4.5%	4.1%	6.4%	0.2%	14.3%
	木・竹・わら類	71.5%	66.7%	71.3%	61.4%	43.5%	64.9%	81.6%	57.5%	75.6%	33.0%
	厨芥類(動植物性残さ、卵殻、貝殻含む)	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	3.2%	13.3%	0.7%	9.9%	18.3%	13.3%	2.9%	5.8%	4.8%	6.9%
	その他(5mm 通過)	24.3%	12.2%	4.6%	19.5%	0.0%	15.0%	5.2%	16.0%	19.2%	35.6%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ¹³ (トン) 平成 24 年度実績		5,705	3,459	36,460	50,633	49,255	48,659	44,535	56,493	21,698	31,123

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		名取 処理区 ストーカ炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 1号炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 2号炉	岩沼 処理区 キルン炉 3号炉	亘理 処理区 ストーカ炉	山元 処理区 キルン炉 1号炉	山元 処理区 ストーカ炉 2号炉	
ごみの種類		混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	7.1%
ごみ 組成 (%)	紙・布類	3.8%	2.4%	10.7%	7.0%	6.2%	1.1%	2.0%	7.3%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	6.3%	7.5%	11.3%	20.9%	9.9%	1.3%	3.4%	58.8%
	木・竹・わら類	60.3%	68.7%	62.6%	63.2%	53.9%	74.5%	80.6%	0.0%
	厨芥類(動植物性残さ、卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.9%
	不燃物類	18.1%	9.3%	3.9%	7.0%	11.3%	23.1%	4.1%	12.9%
	その他(5mm 通過)	11.5%	12.1%	11.6%	1.9%	18.7%	0.0%	9.9%	100%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
焼却処理量 ¹³ (トン) 平成 24 年度実績		45,852	11,069	10,972	15,259	111,664	49,983	27,093	

¹³ 「仮設焼却炉の維持管理状況(測定結果等)について(平成 26 年 7 月 1 日更新)(宮城県公表資料)」の処分(焼却)した災害廃棄物の月ごとの種類別及び数量から処理区別炉別の焼却処理量を把握

表 88 宮城県の平成25年度速報値の仮設焼却炉の処理区別・炉別の品目別内訳比率(案)

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県
処理区・炉		気仙沼 処理区 ストーカ炉	気仙沼 処理区 キルン炉	南三陸 処理区 ストーカ炉	石巻 ブロック キルン炉 (J1)	石巻 ブロック キルン炉 (J2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M1)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M2)	石巻 ブロック ストーカ炉 (M3)	宮城 東部 ブロック ストーカ炉	宮城 東部 ブロック キルン炉
ごみの種類		混合 廃棄物	混合 廃棄物	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	3.2%	2.3%	4.2%	5.6%	5.6%	7.6%	7.6%	7.6%	2.2%	8.9%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	6.9%	7.2%	5.8%	7.5%	7.5%	9.0%	9.0%	9.0%	2.1%	12.3%
	木・竹・わら類	67.7%	59.5%	71.9%	51.2%	51.2%	51.6%	51.6%	51.6%	59.5%	33.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	6.9%	18.3%	9.1%	15.6%	15.6%	17.6%	17.6%	17.6%	10.9%	12.0%
	その他(5mm 通過)	15.3%	12.7%	8.9%	20.1%	20.1%	14.2%	14.2%	14.2%	25.3%	33.9%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ¹⁴ (トン) 平成 25 年度実績		61,492	40,661	52,575	56,218	54,976	72,680	71,480	70,290	9,978	29,531

県・市		宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県	宮城県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		名取 処理区 ストーカ炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 1号炉	岩沼 処理区 ストーカ炉 2号炉	岩沼 処理区 キルン炉 3号炉	亘理 処理区 ストーカ炉	山元 処理区 キルン炉 1号炉	山元 処理区 ストーカ炉 2号炉	
ごみの種類		混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 ごみ	混合 廃棄物
ごみ 組成 (%)	紙・布類	5.4%	4.1%	4.1%	2.6%	6.4%	3.6%	5.6%	5.5%
	ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	10.1%	8.8%	8.8%	7.9%	11.6%	5.6%	13.1%	8.4%
	木・竹・わら類	45.5%	53.6%	53.6%	53.2%	49.8%	64.1%	60.7%	55.3%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	24.6%	16.2%	16.2%	18.0%	13.7%	26.8%	7.3%	15.3%
	その他(5mm 通過)	14.4%	17.3%	17.3%	18.2%	18.5%	0.0%	13.3%	15.5%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ¹⁴ (トン) 平成 25 年度実績		25,656	5,390	5,750	13,501	56,113	29,283	21,938	

¹⁴ 「仮設焼却炉の維持管理状況(測定結果等)について(平成 25 年 12 月 9 日更新)(宮城県公表資料)」の処分(焼却)した災害廃棄物の月ごとの種類別及び数量から処理区別炉別の焼却処理量を把握

仙台市の平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値の処理区分別・炉別の品目別内訳比率は以下のとおり。

表 89 仙台市の平成24年度確定値の仮設焼却炉の炉別の品目別内訳比率

県・市			仙台市	仙台市	仙台市	仙台市 仮設焼却 炉平均	
処理区・炉			蒲生 搬入場 キルン炉	荒浜 搬入場 キルン炉	井土 搬入場 ストーカ炉		
ごみの種類			混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	
ごみ 組成 (%)	不 燃 物	ガラス類	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
		陶器・石類	8.9%	11.7%	6.1%	10.0%	
		金属類	1.7%	2.0%	2.5%	2.0%	
	可 燃 物	ゴム・皮革類	0.0%	0.1%	—	0.0%	
		プラスチック類	17.2%	11.5%	10.2%	12.4%	
		厨芥類	—	—	—	—	
		木類	44.6%	39.3%	34.9%	39.5%	
		紙類	0.4%	0.4%	0.6%	0.4%	
	雑 物	布類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		可燃	13.2%	17.2%	19.3%	16.8%	
		不燃	13.9%	17.6%	26.4%	18.6%	
	計			100%	100%	100%	100%
	焼却処理量 ¹⁵ (トン) 平成 24 年度実績			28,808	83,884	27,470	

表 90 仙台市の平成25年度速報値の仮設焼却炉の炉別の品目別内訳比率(案)

県・市			仙台市	仙台市	仙台市	仙台市 仮設焼却 炉平均	
処理区・炉			蒲生 搬入場 キルン炉	荒浜 搬入場 キルン炉	井土 搬入場 ストーカ炉		
ごみの種類			混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	混合 がれき	
ごみ 組成 (%)	不 燃 物	ガラス類	0.03%	0.2%	0.03%	0.1%	
		陶器・石類	7.0%	12.4%	5.4%	10.0%	
		金属類	0.9%	1.5%	0.9%	1.3%	
	可 燃 物	ゴム・皮革類	0.04%	—	—	0.01%	
		プラスチック類	13.5%	8.7%	5.4%	9.0%	
		厨芥類	—	—	—	—	
		木類	50.0%	57.4%	67.2%	57.9%	
		紙類	5.1%	0.1%	0.1%	1.1%	
	雑 物	布類	—	—	—	—	
		可燃	4.1%	3.9%	4.1%	4.0%	
		不燃	19.4%	15.7%	16.7%	16.6%	
	計			100%	100%	100%	100%
	焼却処理量 ¹⁶ (トン) 平成 25 年度実績			13,965	43,930	13,862	

¹⁵ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から搬入場別の焼却処理量を把握

¹⁶ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 25 年度実績)(平成 27 年 2 月末時点)」から搬入場別の焼却処理量を把握

岩手県の平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値の処理区分別・炉別の品目別内訳比率は以下のとおり。

表 91 岩手県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		岩手県	岩手県	県・市		釜石市
処理区・炉		宮古区 1号炉 ストーカ炉	宮古区 2号炉 ストーカ炉	処理区・炉		釜石市 旧熔融炉 シャフト炉
ごみの種類		混合廃 棄物	混合廃 棄物	ごみの種類		可燃ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	4.8%	5.1%	ごみ 組成 (%)	紙類	0.1%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	5.7%	4.5%		布類	6.8%
	木・竹・わら類	84.3%	84.8%		厨芥類	0.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%		木・竹・わら類	49.0%
	不燃物類	1.6%	2.3%		プラスチック類	5.9%
	その他(5mm 通過)	3.7%	3.2%		金属類	3.3%
	計	100%	100%		不燃物類	20.9%
					その他(5mm 通過)	14.0%
焼却処理量 ¹⁷ (トン) 平成 24 年度実績		28,604		焼却処理量 ¹⁷ (トン) 平成 24 年度実績		21,611

※岩手県宮古区の組成データは、平成 24 年 3 月実績のみであるため、平成 24 年 3 月実績で設定。

表 92 岩手県の平成25年度速報値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率(案)

県・市		岩手県	岩手県	県・市		釜石市
処理区・炉		宮古区 1号炉 ストーカ炉	宮古区 2号炉 ストーカ炉	処理区・炉		釜石市 旧熔融炉 シャフト炉
ごみの種類		混合廃 棄物	混合廃 棄物	ごみの種類		可燃ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	4.8%	5.1%	ごみ 組成 (%)	紙類	0.0%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	5.7%	4.5%		布類	16.6%
	木・竹・わら類	84.3%	84.8%		厨芥類	0.0%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%		木・竹・わら類	44.9%
	不燃物類	1.6%	2.3%		プラスチック類	7.4%
	その他(5mm 通過)	3.7%	3.2%		金属類	3.7%
	計	100%	100%		不燃物類	2.9%
					その他(5mm 通過)	13.2%
焼却処理量 ¹⁸ (トン) 平成 25 年度実績		26,115		焼却処理量 ¹⁸ (トン) 平成 25 年度実績		22,304

※岩手県宮古区の組成データは、平成 24 年 3 月実績のみであるため、平成 24 年 3 月実績で設定。

¹⁷ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

¹⁸ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 25 年度実績)(平成 27 年 2 月末時点)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

福島県の平成 24 年度確定値及び平成 25 年度速報値の処理区分別・炉別の品目別内訳比率は以下のとおり。

表 93 福島県の平成24年度確定値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率

県・市		福島県	福島県	福島県	福島県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		相馬市・ 新地町 1号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 2号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 3号炉 ストーカ炉	
ごみの種類		可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	9.4%	7.8%	4.5%	6.5%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	7.5%	20.4%	12.3%	13.1%
	木・竹・わら類	58.1%	53.8%	57.0%	56.5%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	12.4%	8.8%	19.3%	15.1%
	その他(5mm 通過)	12.7%	9.2%	6.8%	8.8%
	計	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ¹⁹ (トン) 平成 24 年度実績		5,796	5,600	12,229	

表 94 福島県の平成25年度速報値の仮設焼却炉の地域別・炉別の品目別内訳比率(案)

県・市		福島県	福島県	福島県	福島県 仮設焼却 炉平均
処理区・炉		相馬市・ 新地町 1号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 2号炉 ストーカ炉	相馬市・ 新地町 3号炉 ストーカ炉	
ごみの種類		可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ	可燃 ごみ
ごみ 組成 (%)	紙・布類	5.9%	4.8%	6.1%	5.7%
	ビニール・合成樹脂・ゴ ム・皮革類	8.0%	9.4%	6.9%	7.8%
	木・竹・わら類	52.1%	52.6%	63.9%	58.3%
	厨芥類(動植物性残さ、 卵殻、貝殻含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不燃物類	5.8%	6.8%	6.4%	6.4%
	その他(5mm 通過)	28.1%	26.4%	16.7%	21.8%
	計	100%	100%	100%	100%
焼却処理量 ²⁰ (トン) 平成 25 年度実績		12,519	15,240	29,458	

¹⁹ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 24 年度実績)(平成 26 年 3 月)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

²⁰ 「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 25 年度実績)(平成 27 年 2 月末時点)」から焼却炉別の焼却処理量を把握

(参考 9) 仙台市の仮設焼却炉における組成ごとの水分割合

平成 25 年度の仙台市の仮設焼却炉における組成ごとの水分割合は下記のとおりである。

表 95 仙台市の仮設焼却炉における組成品目別の水分割合(平成25年度実績)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
県・市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市		
仮置場・処理区等	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	蒲生搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	荒浜搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場	井土搬入場		
試料採取日	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9	H25.4	H25.5	H25.6	H25.7	H25.8	H25.9		
ごみの採取場所	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前	焼却前		
ごみの種類	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき	混合がれき		
ごみ試料の採取重量(kg)	132.90	111.48	105.91	125.64	113.60	104.05	123.16	69.45	80.13	122.59	114.00	104.05	130.04	79.65	110.26	127.54	92.93	75.72		
水分割合 (%)	不燃物																			
	ガラス類	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.1	0.4	0.4	0.5	0.0	6.7	2.1	0.0	0.0	0.0		
	陶器・石類	9.7	5.8	5.8	3.8	12.0	11.7	7.2	8.4	9.4	7.6	9.9	8.4	6.9	8.0	7.9	8.6	9.7	7.1	
	金属類	0.9	1.5	4.4	0.9	5.7	2.0	2.1	2.2	2.6	8.1	1.6	0.4	0.8	2.5	0.5	3.6	0.9	2.0	
	ゴム・皮革類				7.3															
	プラスチック類	20.8	6.5	12.8	9.2	19.9	21.7	17.3	8.4	13.6	14.5	12.5	34.2	8.7	5.6	17.3	18.4	14.6	18.7	
	厨芥類																			
	木類	30.4	21.1	34.5	30.8	44.7	52.3	35.6	34.8	44.8	43.1	40.9	48.1	28.8	32.1	28.3	37.7	42.9	41.2	
	紙類	34.8	27.6	32.1	16.7	33.3	56.2	21.6	32.2	27.8	35.3	38.5	44.1	20.1	30.9	18.4	26.7		34.9	
	布類																			
雑物																				
可燃	30.8	20.4	25.7	26.3	39.6	47.6	28.2	27.5	33.9	33.0	37.7	45.4	27.7	30.0	23.0	40.3	39.8	40.9		
不燃	17.4	9.8	12.0	12.9	22.4	26.2	22.4	16.9	21.8	23.3	22.1	27.5	17.4	19.1	11.5	25.8	22.5	24.9		

上記の水分割合を採取重量で加重平均して算出した品目別の水分割合を、他県市にも適用した。仙台市の仮設焼却炉における組成ごとの水分割合(平成 24 年度実績及び平成 25 年度実績)は以下のとおり。

表 96 仙台市の仮設焼却炉における水分割合(加重平均値)

ごみの種類	加重平均値	
	平成 24 年度	平成 25 年度
紙・布類	28.8%	29.3%
ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	11.9%	12.2%
木・竹・わら類	38.7%	27.4%
不燃物類	5.4%	5.5%
その他(5mm 通過)	28.3%	16.3%

4.2 平成25年度速報値の算出

平成25年度における廃棄物等（災害廃棄物を含む）の発生量の合計は59,512万トンであった。その内訳として、一般廃棄物のごみの発生量は4,497万トン（全体の約8%）、災害廃棄物の発生量は1,411万トン（全体の約2%）、一般廃棄物のし尿（し尿・浄化槽汚泥）の発生量は2,067万トン（全体の約3%）、産業廃棄物の発生量は37,978万トン（全体の約64%）、廃棄物統計外の廃棄物等の「等」の発生量は13,559万トン（全体の約23%）であった。

廃棄物等の発生		59,512万t/年			
一般廃棄物		産業廃棄物		「等」	
計	7,976	計	37,978	計	13,559
ごみ小計	4,497	燃え殻	187	ガラスびん	125
紙	1,752	汚泥	16,718	アルミ缶	3
金属	171	廃油	320	スチール缶	40
ガラス	130	廃酸	263	飲料用紙容器	4
ペットボトル	51	廃アルカリ	181	古紙	1,039
プラスチック	417	廃プラスチック類	564	自動車	284
厨芥	1,440	紙くず	99	稲わら	865
繊維	137	木くず	617	麦わら	104
木竹草類等	276	繊維くず	7	もみがら	189
陶磁器類等	124	動植物性残さ	257	(副産物)燃え殻	29
災害廃棄物	1,411	ゴムくず	3	(副産物)廃油	212
し尿	2,067	金属くず	729	(副産物)廃アルカリ	107
		ガラスくず陶磁器くず	615	(副産物)廃プラスチック類	162
		鋳さい	1,667	(副産物)紙くず	631
		がれき類	5,760	(副産物)木くず	189
		ばいじん	1,577	(副産物)繊維くず	0.8
		動物のふん尿	8,402	(副産物)動植物性残さ	159
		動物の死体	13	(副産物)ゴムくず	3
				(副産物)金属くず	835
				(副産物)ガラスくず陶磁器くず	747
				(副産物)鋳さい	4,883
				(副産物)動物のふん尿	2
				(副産物)動物の死体	0.4
				(副産物)ばいじん	236
				産業機械等に由来する金属スクラップ*	2,711

図 17 一般廃棄物及び産業廃棄物と「等」の発生（平成25年度速報値）

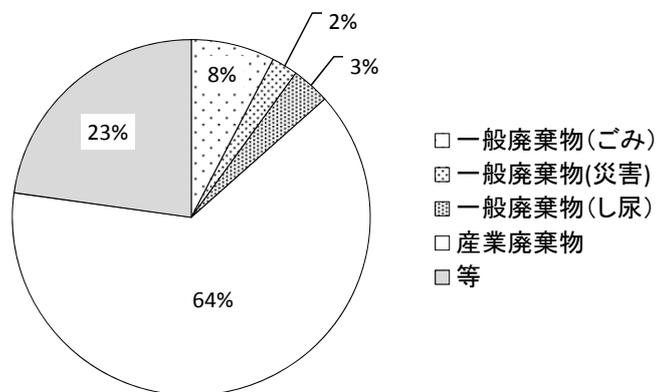


図 18 廃棄物等の発生状況（平成25年度速報値）

(1) 廃棄物等の「等」の発生量の平成25年度速報値

廃棄物等発生量のうち廃棄物等の「等」の平成25年度速報値は表97のとおりである。

表97 廃棄物等の「等」の発生量の平成25年度速報値

(単位:千t/年)

	算出方法分類	H25速報値			
		廃棄物等の量 A	副産物調査にあっては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあっては廃棄物及び他の項目との重複量 B	「等」の量 C=A-B	
副産物調査※1 H25年度速報値	①	燃えがら	2,114	1,826	288
		汚泥(スラッジ)	16,014	61,253	0
		廃油	4,726	2,605	2,121
		廃酸	1,890	2,584	0
		廃アルカリ	2,777	1,709	1,068
		廃プラスチック類	4,652	3,031	1,621
		紙くず	7,026	712	6,314
		木くず	3,021	1,131	1,890
		繊維くず	27	19	8
		動植物性残さ	4,152	2,557	1,595
		ゴムくず	49	22	27
		金属くず	14,187	5,841	8,347
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	11,595	4,127	7,468
		鉱さい	65,190	16,364	48,826
		がれき類	173	1,359	0
		動物のふん尿	21	0	21
		動物の死体	4	0	4
ばいじん	18,109	15,753	2,356		
古紙	②	22,111	11,724	10,387	
産業機械類等に由来する金属スクラップ	②	46,973	19,867	27,106	
稲わら	③	-	-	8,646	
麦わら		-	-	1,038	
もみがら		-	-	1,886	
ガラスびん	④	-	-	1,250	
アルミ缶 (H25年度推計値)		-	-	34	
スチール缶		-	-	397	
飲料用紙容器		-	-	42	
自動車	④	-	-	2,845	
合計				135,585	

(算出方法分類)

- ① 副産物調査の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ② 副産物調査以外の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ③ 国内で発生した全量(統計値の全量)を廃棄物等の「等」とみなす。
- ④ 統計値のうちの一部の数値を廃棄物等の「等」とみなす。

※1 副産物調査:「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(経済産業省)」

※2 副産物調査、古紙及び産業機械等に由来する金属スクラップのA及びそれ以外の品目のCの値は次の統計資料による。

- ・副産物調査の各品目:経済産業省「産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(H25年度速報値)」
- ・自動車:経済産業省・環境省「使用済自動車、解体自動車及び特定再資源化物品に関する引取・引渡状況の公表について」
- ・稲わら、麦わら、もみがら:農林水産省生産局生産流通振興課資料
- ・その他:関連業界団体公表の統計資料

(2) 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移と平成25年度速報値

平成20年度から平成24年度までの5ヶ年分の廃棄物等発生量の推移、及び平成25年度速報値を表98に示した。平成25年度における廃棄物等の発生量の合計（災害廃棄物を含む）は平成24年度に比べ28,840千トン増加した。発生量の増加量が最も大きかったのは、「等」の鉱さいで平成24年度に比べ13,715千トン増加した。一方、発生量の減少量が最も大きかったのは、産業廃棄物の動物のふん尿で平成24年度に比べ1,416千トン減少した。

表 98 廃棄物等発生量の過去5年分の確定値の推移及び平成25年度速報値

品目	H20	H21	H22	H23	H24	H25 速報値	前々年 との差	対前々年比	前年との差	対前年比
							(H25-H23)	(H25/H23)	(H25-H24)	(H25/H24)
合計										
(災害廃棄物を含む)	579,079	559,149	567,794	562,305	566,280	595,120	32,815	105.84	28,840	105.09
(災害廃棄物を除く)	—	—	—	558,008	554,192	581,006	22,998	104.12	26,814	104.84
一般廃棄物										
(災害廃棄物を含む)	71,315	69,066	67,482	71,042	78,116	79,758	8,715	112.27	1,642	102.10
(災害廃棄物を除く)	—	—	—	66,745	66,028	65,644	-1,101	98.35	-385	99.42
ごみ小計	48,109	46,457	45,548	45,572	45,283	44,974	-598	98.69	-309	99.32
紙	17,944	16,737	16,995	17,315	17,653	17,520	205	101.19	-133	99.25
金属	1,549	1,549	1,620	1,720	1,722	1,706	-13	99.22	-16	99.08
ガラス	1,586	1,502	1,391	1,343	1,314	1,297	-46	96.56	-17	98.71
ペットボトル	464	425	496	523	518	513	-10	98.08	-5	98.94
プラスチック	4,595	4,073	3,719	3,861	4,206	4,170	310	108.02	-36	99.15
厨芥	15,334	14,994	14,237	14,539	14,466	14,395	-144	99.01	-71	99.51
繊維	1,919	2,078	1,830	1,580	1,385	1,375	-206	86.99	-11	99.23
木竹草類等	3,822	3,959	3,707	3,327	2,764	2,761	-566	82.99	-3	99.90
陶磁器類等	895	1,139	1,553	1,366	1,255	1,237	-128	90.59	-18	98.58
災害廃棄物	—	—	—	4,297	12,087	14,114	—	—	2,026	116.77
し尿	23,206	22,609	21,934	21,173	20,745	20,670	-503	97.62	-75	99.64
産業廃棄物	403,661	389,746	385,988	381,206	379,137	379,777	-1,429	99.63	640	100.17
燃え殻	2,053	1,821	1,835	1,836	1,869	1,866	30	101.61	-4	99.81
汚泥	176,114	173,629	169,885	166,132	164,638	167,184	1,052	100.63	2,545	101.55
廃油	3,617	3,048	3,251	3,118	3,212	3,203	85	102.73	-9	99.71
廃酸	2,721	2,542	2,483	2,752	2,595	2,629	-123	95.52	34	101.29
廃アルカリ	2,648	1,867	2,563	1,889	1,778	1,811	-79	95.84	32	101.82
廃プラスチック類	6,445	5,665	6,185	5,710	5,691	5,637	-73	98.72	-54	99.05
紙くず	1,383	1,265	1,153	1,118	1,020	993	-125	88.80	-28	97.29
木くず	6,262	6,294	6,121	6,233	6,229	6,171	-62	99.01	-58	99.07
繊維くず	74	69	79	79	68	67	-13	83.87	-2	97.49
動植物性残さ	3,318	3,001	3,027	2,838	2,642	2,571	-266	90.61	-70	97.34
ゴムくず	41	27	32	32	34	33	1	103.48	-1	97.09
金属くず	8,766	7,830	7,246	7,242	7,267	7,292	50	100.69	25	100.34
ガラスくず陶磁器くず	6,174	5,411	6,031	6,361	6,083	6,146	-215	96.61	63	101.04
鉱さい	18,440	14,109	16,006	15,493	16,398	16,666	1,174	107.57	268	101.64
がれき類	61,189	58,921	58,264	59,839	58,887	57,596	-2,243	96.25	-1,291	97.81
ばいじん	16,550	15,923	16,823	15,903	15,138	15,768	-135	99.15	630	104.17
動物のふん尿	87,698	88,162	84,847	84,459	85,434	84,018	-442	99.48	-1,416	98.34
動物の死体	168	161	156	172	153	128	-45	74.19	-25	83.71
「等」	104,103	100,338	114,323	110,057	109,027	135,585	25,528	123.20	26,558	124.36
ガラスびん	1,173	1,556	1,472	1,347	1,291	1,250	-97	92.81	-41	96.83
アルミ缶	43	35	36	39	35	34	-5	87.95	-1	98.00
スチール缶	454	420	420	424	432	397	-27	93.63	-35	91.90
飲料用紙容器	43	44	43	42	42	42	-1	98.58	-1	98.58
古紙	11,749	10,731	11,090	10,994	10,886	10,387	-607	94.48	-499	95.42
自動車	2,855	3,229	3,022	2,411	2,851	2,845	433	117.96	-7	99.77
稲わら	8,798	8,782	8,803	8,522	8,549	8,646	124	101.46	97	101.14
麦わら	1,038	1,041	1,038	1,062	1,053	1,038	-24	97.72	-15	98.54
もみがら	1,922	1,918	1,923	1,861	1,867	1,886	25	101.33	19	101.01
(副産物)燃え殻	15					288	288		288	
(副産物)廃油	647	255	273	267	237	2,121	1,854	793.32	1,884	893.34
(副産物)廃酸		101	9				0		0	
(副産物)廃アルカリ						1,068	1,068		1,068	
(副産物)廃プラスチック類	140	150	723	372	872	1,621	1,249	436.17	749	185.92
(副産物)紙くず	4,822	5,258	5,118	4,919	5,662	6,314	1,396	128.38	652	111.52
(副産物)木くず	1,356	777	921	1,495	1,511	1,890	396	126.46	379	125.08
(副産物)繊維くず	3	43	7		3	8	8		5	237.45
(副産物)動植物性残さ	1,365		2,017	1,363	1,383	1,595	232	117.05	211	115.29
(副産物)ゴムくず						27	27		27	
(副産物)金属くず	5,726	3,955	5,934	5,120	8,740	8,347	3,226	163.01	-393	95.50
(副産物)ガラスくず陶磁器くず	582	2,810	323	659	2,888	7,468	6,809	1,133.53	4,580	258.56
(副産物)鉱さい	29,455	32,179	37,731	36,045	35,112	48,826	12,781	135.46	13,715	139.06
(副産物)動物のふん尿		3	4	4	137	21	17	520.77	-116	15.20
(副産物)動物の死体		1	1	1	1	4	3	364.62	3	364.62
(副産物)ばいじん	1,461	1,060	1,250	1,962	2,007	2,356	394	120.10	349	117.39
産業機械等に由来する金属スラップ	28,697	24,469	32,162	31,148	23,466	27,106	-4,042	87.02	3,640	115.51

平成20年度から平成24年度までの5ヶ年分の廃棄物等発生量及び平成25年度速報値に関し、一般廃棄物、産業廃棄物、「等」及び廃棄物等の合計について、循環利用量、減量化量、最終処分量及び自然還元量（産業廃棄物と「等」のみ）をとりまとめ、その推移を表99に示した。平成25年度値を平成24年度値と比較すると、災害廃棄物、「等」の発生量、循環利用量は1.2～1.3倍程度増加しているが、一般廃棄物のごみ及びし尿、産業廃棄物の量はいずれも横ばいとなっている。

表 99 廃棄物等の発生量、循環利用量、減量化量、最終処分量、自然還元量の過去5年分の推移及び平成25年度速報値

単位：千t/年

		H20	H21	H22	H23	H24	H25 速報値	前々年 との差 (H25-H23)	対前々年比 (H25/H23)	前年との差 (H25-H24)	対前年比 (H25/H24)	
合計	(災害含む)											
	発生量	579,079	559,150	567,794	562,305	566,280	595,120	32,815	105.8	28,840	105.1	
	循環利用量	246,303	228,748	246,545	241,426	254,531	282,245	40,819	116.9	27,714	110.9	
	減量化量	224,585	223,069	218,890	220,755	210,920	212,096	-8,659	96.1	1,176	100.6	
	最終処分量	22,357	18,774	19,224	17,363	18,353	18,209	846	104.9	-144	99.2	
	自然還元量	85,832	88,558	83,135	82,306	82,476	82,570	264	100.3	94	100.1	
	(災害除く)											
	発生量	—	—	—	558,008	554,192	581,006	—	—	26,814	104.8	
	循環利用量	—	—	—	238,010	244,414	269,512	—	—	25,098	110.3	
	減量化量	—	—	—	220,329	209,442	211,442	—	—	2,000	101.0	
最終処分量	—	—	—	17,363	17,860	17,482	—	—	-378	97.9		
自然還元量	—	—	—	82,306	82,476	82,570	—	—	94	100.1		
一般廃棄物	(ごみ)											
	発生量	48,109	46,457	45,548	45,572	45,283	44,974	-598	98.7	-309	99.3	
	循環利用量	9,776	9,501	9,446	9,375	9,263	9,268	-107	98.9	5	100.1	
	減量化量	32,800	31,883	31,264	31,377	31,372	31,167	-209	99.3	-205	99.3	
	最終処分量	5,533	5,072	4,837	4,821	4,648	4,538	-282	94.1	-109	97.6	
	(災害)											
	発生量	—	—	—	4,297	12,087	14,114	—	—	2,026	116.8	
	循環利用量	—	—	—	3,416	10,117	12,733	—	—	2,616	125.9	
	減量化量	—	—	—	425	1,478	654	—	—	-824	44.3	
	最終処分量	—	—	—	456	493	727	—	—	234	147.5	
(し尿)												
発生量	23,206	22,609	21,934	21,173	20,745	20,670	-503	97.6	-75	99.6		
循環利用量	271	239	249	237	172	170	-67	71.8	-2	99.0		
減量化量	22,811	22,260	21,554	20,832	20,463	20,422	-410	98.0	-41	99.8		
最終処分量	123	110	131	103	110	77	-26	74.7	-33	69.9		
産業廃棄物	発生量	403,661	389,746	385,988	381,206	379,137	379,777	-1,429	99.6	640	100.2	
	循環利用量	143,911	130,411	134,290	129,786	137,421	136,059	6,273	104.8	-1,363	99.0	
	減量化量	168,206	168,158	165,303	167,361	156,849	159,093	-8,269	95.1	2,244	101.4	
	最終処分量	16,701	13,591	14,255	12,439	13,102	12,867	428	103.4	-235	98.2	
	自然還元量	74,843	77,585	72,139	71,620	71,764	71,759	139	100.2	-6	100.0	
等	発生量	104,103	100,338	114,323	110,057	109,027	135,585	25,528	123.2	26,558	124.4	
	循環利用量	92,345	88,597	102,559	98,611	97,557	124,014	25,403	125.8	26,457	127.1	
	減量化量	768	768	768	759	758	759	0	100.0	1	100.1	
	最終処分量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	自然還元量	10,990	10,973	10,996	10,687	10,712	10,812	125	101.2	100	100.9	

(参考 10) 災害廃棄物の平成 25 年度速報値の算出結果

災害廃棄物の平成 25 年度速報値の算出結果は、以下のとおりである。

表 100 災害廃棄物の循環利用量(平成25年度速報値)の算出結果

物質フローで必要な項目
GHGインベントリ算出で必要な項目

単位:トン/年

処理項目	小計	一般廃棄物(災害廃棄物)の区分																													
		木くず	金属くず	コンクリートがら	その他がれき類	石綿含有廃棄物等	PCB廃棄物	有害物、危険物	混合ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	家電4品目	パソコン	自動車	FRP船	鋼船	その他船舶	量	漁網	タイヤ	その他家電	消火器	ガスボンベ	土石類	津波堆積物	その他	海洋投入	漂着ごみ	除染廃棄物
発生量	14,113,860	551,535	170,265	3,747,577	225,599	25,426	128	718	1,475,948	407,929	945,116	2,471	1,480	6,218	0	86	1,169	0	0	9,872	40,317	5,097	1,158	14	350	136,106	6,222,333	126,079	0	502	10,371
循環利用量	12,733,115	530,175	169,632	3,748,874	175,648	160	4	488	994,356	117,549	581,026	2,399	422	6,146	0	86	839	0	0	3,089	13,474	5,030	400	10	312	132,237	6,168,950	81,638	171	6,222	
直接循環利用量	4,097,250	4,215	108,138	1,766,507	9,121	0	0	22	0	533	13,840	0	0	5,819	0	56	0	0	0	2,176	26	3	298	128,442	2,030,522	27,532	0	0	0	0	
処理後循環利用量	8,635,865	525,960	61,494	1,982,367	166,527	160	4	466	994,356	117,016	567,186	2,399	422	327	0	30	839	0	0	3,089	13,474	2,854	374	7	14	3,795	4,138,428	54,106	171	0	
焼却施設	215,581	14,688	0	0	200	0	1	0	192,534	7,999	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157	0	0	
粗大ごみ処理施設	606	0	185	0	0	0	0	0	0	0	9	21	137	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	222	0	11	0	0	0	
ごみ堆肥化施設	195	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ飼料化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
メタン化施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ごみ燃料化施設	53,824	24,475	0	0	0	0	0	18	17,210	408	0	0	8	0	0	822	0	0	103	9,651	1,129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の資源化等を行う施設	7,685,111	485,025	61,309	1,982,367	166,327	160	3	448	784,612	17	3,236	2,378	275	306	0	30	17	0	2,986	3,823	1,691	152	7	3	617	4,138,428	50,723	171	0		
セメント等への直接投入	680,548	1,577	0	0	0	0	0	0	108,592	563,941	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	3,178	0	3,226	0	0	
最終処分量	726,709	9,014	633	46	48,906	25,266	78	101	57,990	86,921	361,903	72	662	72	0	0	330	0	0	4,304	24,595	46	758	4	38	3,829	52,396	42,196	0	331	6,222
直接最終処分量	595,581	265	0	3	47,898	25,266	24	99	44,390	241	360,404	0	102	0	0	0	328	0	0	21,687	2	0	0	0	0	3,247	52,306	39,090	0	230	0
埋立処分	595,581	265	0	3	47,898	25,266	24	99	44,390	241	360,404	0	102	0	0	0	328	0	0	21,687	2	0	0	0	0	3,247	52,306	39,090	0	230	0
海洋投入処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
処理後最終処分量	131,128	8,748	633	43	1,008	0	54	3	13,600	86,680	1,500	72	560	72	0	2	0	0	4,304	2,907	44	758	4	38	582	90	3,106	0	101	6,222	
埋立処分	131,128	8,748	633	43	1,008	0	54	3	13,600	86,680	1,500	72	560	72	0	2	0	0	4,304	2,907	44	758	4	38	582	90	3,106	0	101	6,222	
焼却処理後	127,119	8,657	211	12	177	0	54	1	13,588	86,680	619	24	249	24	0	0	0	0	4,304	2,907	35	253	0	13	10	26	2,954	0	101	6,222	
焼却以外の中間処理後	4,009	92	422	30	831	0	0	2	12	0	881	48	312	48	0	0	2	0	0	0	9	505	4	25	572	64	153	0	0	0	
焼却処理量	994,349	35,572	332	20	1,318	0	101	129	628,420	298,113	1,715	38	392	38	0	0	0	0	6,782	5,154	55	398	0	20	16	41	5,166	0	159	10,371	
直接焼却	993,117	35,565	0	0	1,294	0	101	129	628,413	298,113	1,675	0	146	0	0	0	0	0	6,782	5,154	55	0	0	0	0	0	5,162	0	159	10,371	
処理後焼却	1,232	7	332	20	25	0	0	0	8	0	40	38	246	38	0	0	0	0	0	0	0	398	0	20	16	41	5	0	0	0	
減量化量 ^{注1}	654,036																														

注1:物質フローでは「減量化量」(小計)が必要となるため、本調査では、上記表の「発生量」(小計)から「循環利用量」(小計)及び「最終処分量」(小計)を差し引いた値を「減量化量」(小計)とした。

注2:本表に計上されている「除染廃棄物」の量については、市町村等が一般廃棄物処理事業として処理したものの量であり、国が直接して処理したものの量は含まれていない。

(参考 11) 廃棄物等の「等」の発生量の平成 25 年度速報値の算出方法

表 101 廃棄物等の「等」の発生量の平成25年度速報値の算出方法

(単位:千t)

	算出方法	A 廃棄物等の量		B 副産物調査にあつては製造業・電気業・ガス業からの産業廃棄物量、古紙及び産業機械類等に由来する鉄スクラップにあつては廃棄物及び他の項目との重複量		C「等」の量 (=A-B)		重複排除の考え方(*14)
		量	説明	量	説明	量	説明	
副産物調査*1	①	燃えがら	2,114	経産省副産物調査発生量 *1	1,826	産廃統計排出量のうち製造業、電気・ガス業分 *2	288	付加価値の高い副産物で、発生段階で未処理かつ有償で市場を流通しているものが存在しており、これらは廃棄物統計に含まれていない。
		汚泥	16,014	"	61,253	"	0	
		廃油	4,726	"	2,605	"	2,121	
		廃酸	1,890	"	2,584	"	0	
		廃アルカリ	2,777	"	1,709	"	1,068	
		廃プラスチック類	4,652	"	3,031	"	1,621	
		紙くず	7,026	"	712	"	6,314	
		木くず	3,021	"	1,131	"	1,890	
		繊維くず	27	"	19	"	8	
		動植物性残さ	4,152	"	2,557	"	1,595	
		ゴムくず	49	"	22	"	27	
		金属くず	14,187	"	5,841	"	8,347	
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	11,595	"	4,127	"	7,468	
		鋳さい	65,190	"	16,364	"	48,826	
		がれき類	173	"	1,359	"	0	
		動物のふん尿	21	"	0	"	21	
		動物の死体	4	"	0	"	4	
ばいじん	18,109	"	15,753	"	2,356			
古紙	小計	22,111		11,724		10,387	家庭からちり紙交換業者によって回収される量や事業所から専門買出人、坪上業者によって回収される量については廃棄物統計に含まれていない。	
		16,934	古紙消費量 *3	4,814	一般廃棄物の紙リサイクル量 *4			
		288	製紙原料以外の分野における古紙利用製品の生産・古紙利用量 *3	555	産業廃棄物の紙くずマテリアルリサイクル量 *5			
		4,890	古紙の輸出量 *3	42	飲料用紙容器の「等」の量			
産業機械類等に由来する金属スクラップ	小計	46,973		19,867		27,106	副産物調査では、主として副産物(平常時に発生するもの)が把握対象となっているため産業由来のスクラップのうち、機械類・建築からのスクラップがカウントされていないと考えられる。	
		13,800	自家発生鉄スクラップ *6	948	一般廃棄物の金属リサイクル量 *4			
		6,587	加工スクラップ *6	7,124	産業廃棄物の金属くずマテリアルリサイクル量 *5			
		22,951	老廃スクラップ *6	34	アルミ缶の「等」の量			
		416	輸入スクラップ *6	397	スチール缶の「等」の量			
		3,219	アルミニウムくず、アルミニウム滓、銅くず、再生亜鉛 *7	2,845	廃自動車の「等」の量			
				8,347	副産物調査の金属くずの「等」量			
				170	災害廃棄物の金属くずのマテリアルリサイクル量 *4		災害廃棄物との重複排除 *14	
				0	災害廃棄物の自動車のマテリアルリサイクル量 *4		災害廃棄物との重複排除 *14	
				2	災害廃棄物の「混合ごみ」、「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「資源ごみ」及び「粗大ごみ」を品目別に按分した推計結果のうち金属くずのマテリアルリサイクル量 *4		災害廃棄物との重複排除 *14	
稲わら	③	-		-		8,646	H17稲わら量より作付面積でH25量を推計 *8	農業から発生する稲わら、麦わら、もみからは副産物であるため廃棄物統計には含まれていない。
麦わら		-		-		1,038	H17麦わら量より収穫量でH25量を推計 *8	
もみがら		-		-		1,886	H17もみがら量より作付面積でH25量を推計 *8	
ガラスびん	小計	-		-		1,250		リターナブルびん使用量 *9
		-		-		1,009	リターナブルびん使用量 *9	
		-		-		241	事業系回収量のうち廃棄量を差し引いた量 *9	
		-		-		34	経済活動指標より推計 *9	
アルミ缶	小計	-		-		-	ボトラー・清掃事業者からの回収量 *10	H25年度推計値
		-		-		-	ボトラー・清掃事業者からの回収量 *10	
		-		-		-	拠点回収(スーパー、コンビニ等)量 *10	
スチール缶	④	-		-		397	民間処理業者回収量 *11	事業所から排出されるスチール缶のうちボトラーや清掃業者によって回収されるものについては廃棄物統計に含まれていない。
飲料用紙容器		小計	-		-	42		
			-		-		32	
		-		-		9	事業系回収(学校給食)量 *12	
廃自動車	小計	-		-		2,845		使用済み自動車のうち、輸出される自動車については発生量に含めない。ASR以降については産業廃棄物としては産業廃棄物統計に含まれる。
		-		-		2,697	破砕業者からの引取量 *13	
		-		-		148	解体業者からの引取量 *13	

*1 産業分類別の副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況等に関する調査(H25速報値)(経済産業省)による
 *2 産業廃棄物排出・処理状況調査(H25速報値)(環境省)による
 *3 古紙需給統計(古紙再生促進センター)による
 *4 一般廃棄物処理事業実態調査(H25速報値)(環境省)を用いて求めた値
 *5 産業廃棄物排出・処理状況調査(H25速報値)(環境省)を用いて求めた値
 *6 鉄源年報(日本鉄源協会)による
 *7 生産動態統計(鉄鋼、非鉄金属、金属製品)(経済産業省)による
 *8 農林水産省生産局生産流通振興課資料を用いて算出
 *9 ガラスびんのマテリアル・フロー図(ガラスびん3R促進協議会)による
 *10 アルミ缶再生利用フロー(アルミ缶リサイクル協会)による
 *11 スチール缶リサイクルの全体フロー(スチール缶リサイクル協会)による
 *12 紙パックマテリアルフロー(全国牛乳容器環境協議会)による
 *13 使用済み自動車、解体自動車及び特定再資源化等物品に関する引取・引渡状況(経済産業省、環境省)による
 *14 「重複排除の考え方」は、廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用実態調査報告書(廃棄物等循環利用実態調査編)(環境省)による

(算出方法分類)

- ① 副産物調査の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ② 副産物調査以外の廃棄物等のうちC=A-Bで「等」を算出。ただし、A<Bの場合はC=0とみなす。
- ③ 国内で発生した全量(統計値の全量)を廃棄物等の「等」とみなす。
- ④ 統計値のうちの一部の数値を廃棄物等の「等」とみなす。

4.3 わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の量の平成24年度確定値、温室効果ガス排出インベントリ算出用に提供する廃棄物等の量の平成24年度確定値及び平成25年度速報値の算出結果

(1) わが国の物質フロー作成用に提供する廃棄物等の平成24年度確定値

表 102 わが国の物質フロー作成に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の量
(平成24年度確定値)

処理項目		合計	一般廃棄物		し尿	産業廃棄物	廃棄物等の「等」
			一般廃棄物 (災害廃棄物を除く)	災害廃棄物			
物質フローの作成に必要な循環利用量等 (千t/年)	発生量	566,280	45,283	12,087	20,745	379,137	109,027
	循環利用量	254,531	9,263	10,117	172	137,421	97,557
	減量化量 [※]	210,920	31,372	1,478	20,463	156,849	758
	最終処分量	18,353	4,648	493	110	13,102	0
	自然還元量	82,476	—	—	—	71,764	10,712

※一般廃棄物の減量化量は、「発生量」から「循環利用量」及び「最終処分量」を差し引いた値とした。

(2) 温室効果ガスインベントリ算出用に提供する廃棄物等の平成24年度確定値

温室効果ガスインベントリ（以下「GHG インベントリ」という）算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物を含む）、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の焼却処理量、最終処分量、燃料としての利用に向かう量、コンポスト化に向かう量の平成24年度確定値は以下のとおりである。

表 103 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成24年度確定値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量（千t/年）	直接焼却処理量			211	3,446				
	中間処理後焼却処理量			0	18				

注1: ペットボトルは、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の「ペットボトル」の焼却処理量のみ計上している。

注2: プラスチックは、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の「プラスチック」の焼却処理量、災害廃棄物の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を7品目に按分したうち「プラスチック類」「その他可燃物」の焼却処理量、災害廃棄物の「家電4品目」「自動車」「FRP船」「漁網」「タイヤ」「その他」の直接又は破砕後の可燃物の焼却処理量を計上している。

表 104 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成24年度確定値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量（千t/年）	直接焼却処理量	35,314							
	中間処理後焼却処理量	1,420							

表 105 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場で生物分解される際に排出されるCH₄量」の算出に必要な一般廃棄物の最終処分量（平成24年度確定値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な最終処分量（千t/年）	直接最終処分量		126			55	5	63	86
	中間処理後最終処分量		199			34	8	38	14

注1: 中間処理後最終処分量は、焼却処理後最終処分量を除く値としている。

注2: 紙、厨芥、繊維は、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の「紙」「厨芥」「繊維」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

注3: 木竹草類等は、一般廃棄物（災害廃棄物を除く）の「木竹草類等」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「木くず」「畳」「除染廃棄物」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を7品目に按分したうち「木くず」「その他可燃物」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

注4: し尿は、「し尿」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「その他」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

表 106 GHGインベントリのうち「原燃料として利用された廃棄物から排出されるCO₂・CH₄・N₂O量」の算出に必要な産業廃棄物の燃料としての利用に向かう量(平成24年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出 に必要な燃料としての 利用に向かう量 (千t/年)	直接循環利用量 のうち燃料化量	/	171	/	/	0	/	/	/	/	/
	中間処理後循環利 用量のうち燃料化 量	/	1,088	/	/	4,151	/	/	/	/	/

表 107 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成24年度確定値)

	有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出に必要な 焼却処理量(千t/年)	/	1,955	1,763	/	/	/	/	/	/	/

表 108 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成24年度確定値)

	有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出に必要な 焼却処理量(千t/年)	7,570	1,955	1,763	439	1,181	24	88	/	/	65

表 109 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH₄量」の算出に必要な産業廃棄物の最終処分量(平成24年度確定値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、 製造業有機性 汚泥を含む)	廃油	廃プラ スチック類	紙くず	木くず	繊維 くず	動植物 性残さ	ゴム くず	動物の ふん尿	動物の 死体
GHGインベントリ算出 に必要な最終処分量 (千t/年)	直接最終処分量	/	/	/	4	28	2	13	/	26	2
	中間処理後最終処 分量	/	/	/	/	/	/	63	/	16	/

表 110 GHGインベントリのうち「有機性廃棄物のコンポスト化に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」のコンポスト化に向かう量(平成24年度確定値)

	動植物性残 さ
GHGインベントリ算出に必要なコンポ スト化に向かう量(千t/年)	2,744

表 111 GHGインベントリのうち「特別管理産業廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂・CH₄・N₂O量」の算出に必要な特別管理産業廃棄物の焼却処理量(平成24年度確定値)

	廃油	感染性廃棄物の うち廃プラスチック類	感染性廃棄物のうち廃プラ スチック類以外(生物起源)
GHGインベントリ算出に必要な特別管理産業廃 棄物の焼却処理量(千t/年)		292	131
			90

(3) 温室効果ガスインベントリ算出用に提供する廃棄物等の平成25年度速報値

温室効果ガスインベントリ（以下「GHG インベントリ」という）算出用に提供する一般廃棄物（災害廃棄物を含む）、産業廃棄物、廃棄物等の「等」の焼却処理量、最終処分量、燃料としての利用に向かう量、コンポスト化に向かう量の平成25年度速報値は以下のとおりである。

表 112 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成25年度速報値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量（千t/年）	直接焼却処理量			204	3,354				
	中間処理後焼却処理量			0	12				

注1: ペットボトルは、一般廃棄物(災害廃棄物を除く)の「ペットボトル」の焼却処理量のみ計上している。

注2: プラスチックは、一般廃棄物(災害廃棄物を除く)の「プラスチック」の焼却処理量、災害廃棄物の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を7品目に按分したうち「プラスチック類」「その他可燃物」の焼却処理量、災害廃棄物の「家電4品目」「自動車」「FRP船」「漁網」「タイヤ」「その他」の直接又は破碎後の可燃物の焼却処理量を計上している。

表 113 GHG インベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な一般廃棄物の焼却処理量（平成25年度速報値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量（千t/年）	直接焼却処理量	34,723							
	中間処理後焼却処理量	1,418							

表 114 GHG インベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH₄量」の算出に必要な一般廃棄物の最終処分量（平成25年度速報値）

		一般廃棄物（災害廃棄物を含む）							し尿
		合計	紙	ペットボトル	プラスチック	厨芥	繊維	木竹草類等	
GHGインベントリ算出に必要な最終処分量（千t/年）	直接最終処分量		127			55	5	88	78
	中間処理後最終処分量		207			37	8	38	13

注1: 中間処理後最終処分量は、焼却処理後最終処分量を除く値としている。

注2: 紙、厨芥、繊維は、一般廃棄物(災害廃棄物を除く)の「紙」「厨芥」「繊維」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

注3: 木竹草類等は、一般廃棄物(災害廃棄物を除く)の「木竹草類等」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「木くず」「量」「除染廃棄物」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「混合ごみ」「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」を7品目に按分したうち「木くず」「その他可燃物」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

注4: し尿は、「し尿」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量、災害廃棄物の「その他」の直接最終処分量及び中間処理後最終処分量を計上している。

表 115 GHGインベントリのうち「原燃料として利用された廃棄物から排出されるCO₂・CH₄・N₂O量」の算出に必要な産業廃棄物の燃料としての利用に向かう量(平成25年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な燃料としての利用に向かう量(千t/年)	直接循環利用量のうち燃料化量		171			0					
	中間処理後循環利用量のうち燃料化量		1,076			4,076					

表 116 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成25年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)			1,964	1,782							

表 117 GHGインベントリのうち「廃棄物の焼却に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な産業廃棄物の焼却処理量(平成25年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な焼却処理量(千t/年)		7,657	1,964	1,782	414	1,210	23	88			54

表 118 GHGインベントリのうち「最終処分された有機性廃棄物が処分場内で生物分解される際に排出されるCH₄量」の算出に必要な産業廃棄物の最終処分量(平成25年度速報値)

		有機性汚泥 (下水汚泥、製造業有機性汚泥を含む)	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	動物のふん尿	動物の死体
GHGインベントリ算出に必要な最終処分量(千t/年)	直接最終処分量				4	35	2	13		1	2
	中間処理後最終処分量							58		41	

表 119 GHGインベントリのうち「有機性廃棄物のコンポスト化に伴い排出されるCH₄・N₂O量」の算出に必要な一般廃棄物、産業廃棄物、廃棄物等の「等」のコンポスト化に向かう量(平成25年度速報値)

	動植物性残さ
GHGインベントリ算出に必要なコンポスト化に向かう量(千t/年)	2,757

表 120 GHGインベントリのうち「特別管理産業廃棄物の焼却に伴い排出されるCO₂・CH₄・N₂O量」の算出に必要な特別管理産業廃棄物の焼却処理量(平成25年度速報値)

	廃油	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)
GHGインベントリ算出に必要な特別管理産業廃棄物の焼却処理量(千t/年)		351	139
			96

4.4 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法の改善案

(1) 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の現行の算出方法

(7) 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の種類

特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の種類及びその排出係数は、以下の表のとおり。

表 121 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の種類

産業廃棄物の焼却処理量の種類		(参考)算定に用いる排出係数		
		CO ₂ [kgCO ₂ /t]	CH ₄ [gCH ₄ /t]	N ₂ O [gN ₂ O/t]
特別管理 産業廃棄物	廃油	2,919	4	62
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	2,554	8	15
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)		225	77

(4) 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の現行の算出方法

特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の現行の算出方法は、以下のとおり。

1990~1999 年度 「産業廃棄物行政組織等調査結果報告書(環境省)」から、特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)の焼却処理量を把握

2000 年度以降 産業廃棄物行政組織等調査結果報告書では、2000 年度以降の特別管理産業廃棄物の焼却処理量が把握できないため、1999 年度の特別管理産業廃棄物の廃油及び感染性廃棄物の焼却処理量に、産業廃棄物全体の廃油及び廃プラスチック類の焼却処理量の伸び率を乗じて、2000 年度以降の焼却処理量を算出

(2) 現行の算出方法の改善案について

(7) 算出方法の改善方針

環境省産業廃棄物課が2010年度より実施している「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」において、2008年度、2010年度及び2011年度の特別管理産業廃棄物の処理量等の実績値に関するデータが把握可能であることから、それを活用して特別管理産業廃棄物の焼却処理量を算出する。

(4) 算出方法の改善案の概要

「産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版」で示されている焼却処理量の算出方法に従い、「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」の減量化量を基に、焼却処理残さ率で割り戻して、焼却処理量を算出する。現行及び改善後の算出式は以下のとおり。

<現行の算出方法>

$$A(\text{焼却処理量}) = 1999 \text{ 年度の } A(\text{焼却処理量})^{\text{出典1}} \times \left(\frac{\text{当該年度の } B(\text{焼却処理量})^{\text{出典2}}}{1999 \text{ 年度の } B(\text{焼却処理量})^{\text{出典2}}} \right)$$

<算出方法の改善案>

$$A(\text{焼却処理量}) = \frac{(C(\text{減量化量})^{\text{出典3}})}{(100\% - D\%(\text{焼却処理残さ率})^{\text{出典4}})}$$

- A: 特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)の焼却処理量
B: 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を含む)の廃油、廃プラスチック類の焼却処理量
C: 特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)の減量化量
D: 廃油、廃プラスチック類、繊維くずの焼却処理残さ率

出典1: 産業廃棄物行政組織等調査結果報告書

出典2: 廃棄物等循環利用量実態調査報告書

出典3: 特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書

出典4: 産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版

改善後の算出式における焼却処理残さ率については、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版」の数値を用いた。また、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類及び廃プラスチック類以外（生物起源）の減量化量については、「廃棄物ハンドブック」の感染性廃棄物中のプラスチック類の割合、及び感染性廃棄物中の生物起源と考えられる品目（紙類、繊維類、ゴム・皮革類、ちゅうかい類）の合計の割合をそれぞれ用いて算出した。

(2) 実態調査結果を活用した焼却量、埋立量の算定について
 産業廃棄物の焼却量、埋立量について、実態調査結果から算定する場合は、以下のとおりである。

① 焼却量
 焼却量について、各廃棄物毎に実績値を把握できる場合は、その数値を用いることとし、処理状況フロー図の減量化量から算出する場合は、減量化量を以下の残さ率で割り戻して焼却量を求めることができる。

産業廃棄物の種類別焼却処理残さ率

有機性汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
20%	3%	10%	5%	9%	6%	6%

図 19 産業廃棄物の種類別焼却処理残さ率
 (出典:産業廃棄物排出・処理実態調査指針 改定版)

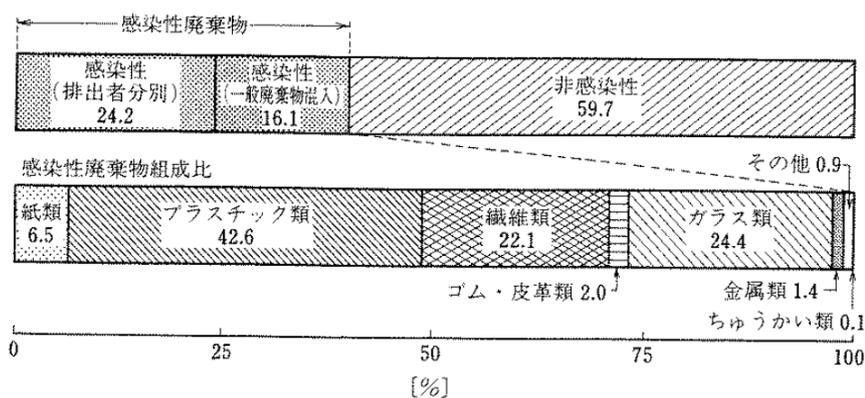


図 20 感染性廃棄物の割合と物理組成
 (出典:廃棄物ハンドブック 廃棄物学会)

(ウ) (イ)の具体的な算出方法の改善案について

特別管理産業廃棄物の焼却処理量の具体的な算出方法の改善案について、特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外（生物起源）の3つに分けて、以降に示す。

①特別管理産業廃棄物の廃油の焼却処理量の算出方法の改善案

「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」の特別管理産業廃棄物の廃油、及び特定有害産業廃棄物の廃油の減量化量の合計値の全量が、焼却処理による減量であるとみなして、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版」の廃油の焼却処理残さ率（3%）を用いて、焼却処理量を算出する。算出式は下記のとおり。

< 現行の算出方法 >

特別管理産業廃棄物の廃油の焼却処理量

= 1999年度の特別管理産業廃棄物の廃油の焼却処理量^{出典1}

$$\times \left(\frac{\text{当該年度の産業廃棄物の廃油の焼却処理量}^{\text{出典2}}}{\text{1999年度の産業廃棄物の廃油の焼却処理量}^{\text{出典2}}} \right)$$

< 算出方法の改善案 >

特別管理産業廃棄物の廃油の焼却処理量

$$= \frac{\left(\text{特別管理産業廃棄物の廃油の減量化量}^{\text{出典3}} + \text{特定有害産業廃棄物の廃油の減量化量}^{\text{出典3}} \right)}{\left(100\% - 3\%[\text{廃油の焼却処理残さ率}]^{\text{出典4}} \right)}$$

出典 1: 産業廃棄物行政組織等調査結果報告書

出典 2: 廃棄物等循環利用量実態調査報告書

出典 3: 特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書

出典 4: 産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版

②特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類の焼却処理量の算出方法の改善案

「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」の特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の減量化量から、「廃棄物ハンドブック」の感染性廃棄物中のプラスチック類の割合（42.6%）を基に、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類の減量化量を算出する。減量化量の全量が焼却処理による減量であるとみなして、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版」の廃プラスチック類の焼却処理残さ率（10%）を用いて、焼却処理量を算出する。算出式は下記のとおり。

< 現行の算出方法 >

特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類の焼却処理量

$$\begin{aligned} &= 1999 \text{ 年度の特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の焼却処理量}^{\text{出典 1}} \\ &\quad \times 42.6\%[\text{感染性廃棄物中のプラスチック類の割合}]^{\text{出典 2}} \\ &\quad \times \left(\frac{\text{当該年度の産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却処理量}^{\text{出典 3}}}{1999 \text{ 年度の産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却処理量}^{\text{出典 3}}} \right) \end{aligned}$$

< 算出方法の改善案 >

特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類の焼却処理量

$$= \frac{\left(\begin{array}{l} \text{特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の減量化量}^{\text{出典 4}} \\ \times 42.6\%[\text{感染性廃棄物中のプラスチック類の割合}]^{\text{出典 2}} \end{array} \right)}{\left(100\% - 10\%[\text{廃プラスチックの焼却処理残さ率}]^{\text{出典 5}} \right)}$$

出典 1: 産業廃棄物行政組織等調査結果報告書

出典 2: 廃棄物ハンドブック

出典 3: 廃棄物等循環利用量実態調査報告書

出典 4: 特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書

出典 5: 産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版

③特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外（生物起源）の焼却処理量の算出方法の改善案

「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」の特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の減量化量から、「廃棄物ハンドブック」の感染性廃棄物中の紙類（6.5%）、繊維類（22.1%）、ゴム・皮革類（2.0%）及びちゅうかい類（0.1%）の割合の合計値（30.7%）を基に、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外（生物起源）の減量化量を算出する。減量化量の全量が焼却処理による減量であるとみなして、生物起源とした組成の約7割を繊維類が占めていることから、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版」の繊維くずの焼却処理残さ率（6%）を用いて、焼却処理量を算出する。算出式は下記のとおり。

< 現行の算出方法 >

特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外（生物起源）の焼却処理量

$$= 1999 \text{ 年度の特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の焼却処理量}^{\text{出典1}} \\ \times (100\% - 42.6\%[\text{感染性廃棄物中のプラスチック類の割合}]^{\text{出典2}}) \\ \times \left(\frac{\text{当該年度の産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却処理量}^{\text{出典3}}}{1999 \text{ 年度の産業廃棄物の廃プラスチック類の焼却処理量}^{\text{出典3}}} \right)$$

< 算出方法の改善案 >

特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外（生物起源）の焼却処理量

$$= \frac{\left(\begin{array}{c} \text{特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物の減量化量}^{\text{出典4}} \\ \times 30.7\%[\text{感染性廃棄物中の廃プラスチック類以外（生物起源）の割合}]^{\text{出典2}} \end{array} \right)}{(100\% - 6\%[\text{繊維くずの焼却処理残さ率}]^{\text{出典5}})}$$

出典 1: 産業廃棄物行政組織等調査結果報告書

出典 2: 廃棄物ハンドブック

出典 3: 廃棄物等循環利用量実態調査報告書

出典 4: 特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書

出典 5: 産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版

(3) 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量について、現行の算出結果と改善後の算出結果との比較

特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な産業廃棄物別の焼却処理量について、「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量調査報告書」で把握可能な2008年度、2010年度及び2011年度の値を基に、(2)の改善案に示した算出式を用いて焼却処理量を算出した。現行の算出結果と改善後の算出結果を比較した結果は、以下の表のとおり。

表 122 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の算出結果 (単位:千トン)

産業廃棄物の種類		2008年度		2010年度		2011年度	
		現行	改善	現行	改善	現行	改善
特別管理 産業廃棄物	廃油	564	903	490	431	447	321
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	193	131	159	154	145	176
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)	260	91	214	106	195	121

表 123 【参考】特別管理産業廃棄物の廃油の焼却処理量の改善後の算出結果内訳(単位:千トン)

		2008年度	2010年度	2011年度	出典
減量化量(千t)	a1) 特別管理産業廃棄物の廃油	842	378	269	特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書
	a2) 特定有害産業廃棄物の廃油	34	40	42	特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書
残さ率	b) 廃油	3%	3%	3%	産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版
焼却処理量(千t)	c1) 特別管理産業廃棄物の廃油	868	390	277	$c1 = a1 / (100\% - b)$
	c2) 特定有害産業廃棄物の廃油	35	41	43	$c2 = a2 / (100\% - b)$
	c) 特別管理産業廃棄物の廃油 合計	903	431	321	$c = c1 + c2$

表 124 【参考】特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類の焼却処理量の改善後の算出結果内訳(単位:千トン)

		2008年度	2010年度	2011年度	出典
減量化量(千t)	a) 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物	277	326	371	特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書
プラの割合	i) 感染性廃棄物中のプラスチック類の割合	42.6%	42.6%	42.6%	廃棄物ハンドブック：感染性廃棄物中のプラスチックの割合(42.6%)
減量化量(千t)	a') 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	118	139	158	$a' = a * i$
残さ率	b) 廃プラスチック	10%	10%	10%	産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版
焼却処理量(千t)	c) 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	131	154	176	$c = a' / (100\% - b)$

表 125 【参考】特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)の焼却処理量の改善後の算出結果内訳(単位:千トン)

		2008年度	2010年度	2011年度	出典
減量化量(千t)	a) 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物	277	326	371	特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書
プラ以外の割合	i) 感染性廃棄物中の廃プラスチック類以外(生物起源)の割合	30.7%	30.7%	30.7%	廃棄物ハンドブック：感染性廃棄物中の紙類(6.5%)、繊維類(22.1%)、ゴム・皮革類(2.0%)及びちゅうかい類(0.1%)の合計値(30.7%)
減量化量(千t)	a') 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)	85	100	114	$a' = a * i$
残さ率	b) 繊維くず	6%	6%	6%	産業廃棄物排出・処理実態調査指針改訂版
焼却処理量(千t)	c) 特別管理産業廃棄物の感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)	91	106	121	$c = a' / (100\% - b)$

(4) 特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量の平成24年度確定値（2012年度値）及び平成25年度速報値（2013年度値）の算出について

平成 26 年度第 2 回廃棄物分科会（平成 27 年 1 月 6 日）では、「特別管理産業廃棄物の焼却量については、2000 年度以降調査データがない状況にあり、新たに調査をする等の措置を講じる必要がある」との課題に対し、2008 年度以降の特別管理産業廃棄物の廃油及び感染性プラスチック焼却量については、平成 26 年度第 2 回循環利用量調査改善検討会（平成 26 年 11 月 13 日）における検討結果を用いることとなり、実績値に基づくデータが把握できない 2000～2007 年度のデータについては、現行の推計方法を引き続き用いて推計した値を用いることとなった。特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法は、以下のとおり。

表 126 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出方法について

1990～1999 年度	「産業廃棄物行政組織等調査結果報告書(環境省)」から、特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類、感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)の焼却処理量を把握
2000～2007 年度	1999 年度の特別管理産業廃棄物の廃油及び感染性廃棄物の焼却処理量に、「廃棄物等循環利用量等実態調査報告書」の産業廃棄物の廃油及び廃プラスチック類の焼却処理量の伸び率を乗じて、2000 年度以降の焼却処理量を算出
2008 年度以降	「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量推計調査報告書」及び「産業廃棄物の排出及び処理状況等」の特別管理産業廃棄物の廃油、感染性廃棄物の減量化量を基に、焼却処理残さ率で割り戻して、焼却処理量を算出

上記の結果を受けて、平成 24 年度確定値（2012 年度）以降も、同算出方法により、特別管理産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の算定に必要な焼却処理量を算出することとする。なお、「特別管理産業廃棄物に係る温室効果ガス排出量調査報告書」で算出されていた特別管理産業廃棄物の減量化量については、2012 年度以降、「産業廃棄物排出量・処理状況調査」の中で算出されているため、平成 24 年度確定値以降は、「産業廃棄物排出量・処理状況調査」の確定値及び速報値と同様に、産業廃棄物課よりデータを入手して算出することとする。算出した特別管理産業廃棄物の焼却処理量は、以下のとおり。

表 127 特別管理産業廃棄物の焼却処理量の算出結果(単位:千トン)

産業廃棄物の種類		1990 年度	1995 年度	1999 年度	2000 年度	2001 年度	2002 年度	2003 年度	2004 年度
特別管理 産業廃棄物	廃油	256	380	487	560	508	512	493	489
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類	78	128	186	167	157	151	168	171
	感染性廃棄物のうち廃プラスチック類以外(生物起源)	56	92	134	120	113	109	121	123

2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度*	2010 年度	2011 年度	2012 年度
515	496	501	903	667	431	321	292
169	163	180	131	143	154	176	131
122	118	130	91	99	106	121	90

※2009 年度の統計値は集計されていないため、廃棄物分科会の整理と同様に、2008 年度と 2010 年度の統計値より内挿した。

4.5 副資材としてコンポスト化に向かう廃棄物等の量の把握について

(1) 平成26年度第1回廃棄物分科会での本課題の検討状況

平成26年7月29日開催の第1回廃棄物分科会において、本課題の検討が行われ、下記の対応方針案が示された。

【課題】有機性廃棄物のコンポスト化に伴う温室効果ガス排出量($\text{CH}_4 \cdot \text{N}_2\text{O}$)の算定では、コンポスト化されるすべての有機物を活動量に含める必要があるが、現行のインベントリでは、コンポスト化のために主原料として投入される廃棄物の量は把握されているものの、副資材の量は一部未把握となっており、実態よりも排出量を過小に算定している可能性がある。

【対応方針案】一般廃棄物のコンポスト化に向かう量(廃棄物分科会では、主原料を厨芥、副資材を木竹草類等とみなした)を基に、廃棄物分科会の専門家判断により、主原料と副資材の割合を7:3として、副資材の量を主原料の量から推計する

(2) 平成26年度第1回温室効果ガス算定方法検討会での本課題の検討状況

平成26年9月12日開催の温室効果ガス算定方法検討会にて、廃棄物分科会の上記の対応方針案が提示され、了承された。廃棄物分科会の同課題は解決となった。

5 参考資料

5.1 廃棄物等循環利用量実態調査における用語について

以下は、「平成 26 年度 廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書（廃棄物等循環利用量実態調査編）」の「1.3 本調査で用いた用語について」から抜粋した内容である。

(1) 廃棄物

一般廃棄物及び産業廃棄物の排出及び処理量については、一般廃棄物が「一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）」、産業廃棄物が「産業廃棄物排出・処理状況調査（環境省）」にて、毎年度の状況把握が行われている。

この調査で把握されているものを、「廃棄物」とした。

なお、平成 23 年度から一般廃棄物処理事業実態調査では、災害廃棄物処理に係るごみ処理状況等についても、各都道府県・市町村・一部事務組合ごとに集計を行っている。同調査では、災害廃棄物等処理事業費国庫補助金交付要綱の適用を受けて処理を行ったものを、「災害廃棄物」としている。

(2) 「等」

(1)の廃棄物統計データ以外であって、以下の潜在的な廃棄物（副産物）を、「等」として把握した。

- ①事業活動に伴う産業系の副産物であって、有償売却などの行為により廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）の廃棄物の定義から除外される金属スクラップ、紙くずなど。
- ②事業活動に伴う産業系の副産物のうち、事業系一般廃棄物（廃棄物処理法の業種指定廃棄物の定義から除外されるもの）であって、市町村等の計画処理量に含まれていない、稲わら、麦わら、もみがら、古紙など。

(3) 廃棄物等

廃棄物と「等」を合算したもの。

5.2 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の算出方法と、速報値の算出に用いる経済活動指標

(1) 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の算出方法

廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量は、廃棄されたアルミ缶の全量（家庭や事業所での消費量）ではなく、下記の図に示したアルミ缶リサイクル協会のアルミ缶再生利用フローの下記2つのルートによる廃棄後のアルミ缶回収量の計であり、平成23年度フロー中の3.9万トンが廃棄物等の「等」に該当する。

- 1) ボトラー・清掃業者等による回収量(2.4万トン)
 - 2) 拠点回収(スーパー・コンビニ等)による回収量(1.5万トン)
- ※自治体回収(11.5万トン)、集団回収等(町内会、ボランティア、学校等 13.6万トン)、その他(0.8万トン)は、廃棄物等の「等」には含まれない。

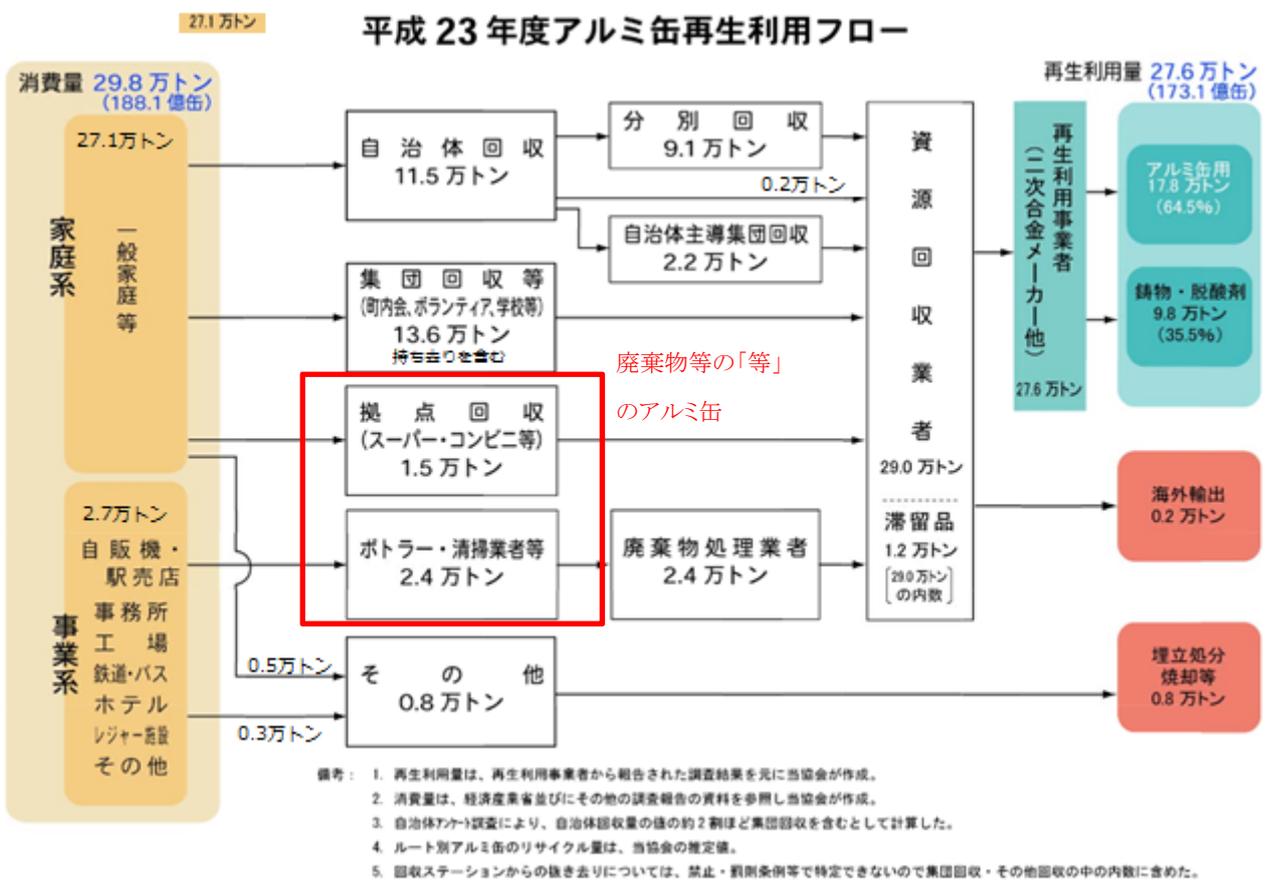


図 21 アルミ缶再生利用フロー(アルミ缶リサイクル協会)

(2) 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量の算出方法に用いる経済活動指標について

(ア) ボトラー・清掃業者等による回収量の算出方法と、関連する経済活動指標

アルミ缶リサイクル協会では、ボトラー・清掃業者等による回収量を、下記のとおり算出している。

ボトラー・清掃業者等による回収量(2.4 万トン)

- ＝事業系消費量(2.7 万トン:自動販売機でのアルミ缶販売量を、事業系の消費量として推計)
- －事業系消費量からその他に向かう量(0.3 万トン:定量(年度変動なし))

事業系消費量からその他に向かう量は固定値であるため、ボトラー・清掃業者等による回収量は、実質的に事業系の消費量（自動販売機でのアルミ缶販売量）となる。

消費量は使用済み飲料缶(UBC)の価格には関係しないが、出荷量（アルミ缶材出荷量²¹）に比例すると考えられることから、経済活動指標として出荷量（アルミ缶材出荷量）を検討対象としている。

(イ) 拠点回収（スーパー・コンビニ等）による回収量の算出方法と、関連する経済活動指標

アルミ缶リサイクル協会では、拠点回収（スーパー・コンビニ等）による回収量を、下記のとおり算出している。

拠点回収(スーパー・コンビニ等)による回収量(1.5 万トン)

- イオン、セブンイレブンなど、大手スーパー・コンビニが HP 上で公開しているアルミ缶回収量から拡大推計。

大手スーパー・コンビニのアルミ缶回収量実績値から拡大推計しているため、変動要因は拠点での回収量となる。

回収量と価格との関係について、アルミ缶リサイクル協会へのヒアリングでは、『価格（使用済み飲料缶(UBC)価格²²）との詳細な実態までは把握できないが、価格の上昇によりスーパー・コンビニ等での回収活動が活発となる可能性がある』との回答があった。

そのため、価格（使用済み飲料缶(UBC)価格）と拠点回収（スーパー・コンビニ等）による回収量は比例関係にあると考え、経済活動指標として価格（使用済み飲料缶(UBC)価格）を検討対象としている。

(ウ) 廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量（速報値）算出において検討対象とする経済活動指標

以上より、廃棄物等の「等」のアルミ缶発生量は、出荷量（アルミ缶材出荷量）とともに、価格（使用済み飲料缶(UBC)価格）を経済活動指標として検討対象としている。

²¹ アルミ缶材出荷量(トン/年度):一般社団法人日本アルミニウム協会が、国内のアルミ圧延メーカーに対して行った調査(国内出荷量合計に対するカバー率 95%)から把握した、日本国内のアルミ圧延メーカーからアルミ缶材向けに国内出荷されたアルミ圧延品の量

²² 使用済み飲料缶(UBC)価格(円/kg/年度):株式会社日刊市況通信社の「アルミ指標相場・スクラップ価格推移」で公表されている、アルミ専門問屋の買値ベースでの価格(月別の価格の単純平均)

(参考 12) 廃棄物等の「等」の発生量の平成 24 年度確定値と平成 24 年度速報値の比較結果

廃棄物等の「等」の発生量の平成 24 年度確定値と平成 24 年度速報値の比較結果は、以下のとおりである。

平成 24 年度速報値では、経済活動指標「④使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)」を用いて、推計手法 C-3「直近 5 年の原単位を用い、反比例式で推計した原単位」により、速報値の推計を行った。平成 24 年度確定値と平成 24 年度速報値を比較した結果、採用した推計手法が他の推計手法と比較して最も差異が少なかった。

表 128 廃棄物等の「等」のアルミ缶の発生量の平成 24 年度実績値と、昨年度推計した平成 24 年度速報値との比較結果

経済活動指標	左記の経済活動指標の原単位推計手法のうち、昨年度、平成24年度速報値算出時点で最も乖離率が低かったもの		H24原単位 (推計値)	経済活動指標 H24実績値	H24 推計値	H24 実績値	差異 (推-実)
					千トン	千トン	
①アルミ缶材出荷量	推計手法A	前年度原単位	0.094 トン/トン	415,317 トン	39.0	35.0	4.0
②使用済み飲料缶(UBC)価格	推計手法C-3	直近5か年の原単位を用い、反比例式で推計した原単位	0.373 千トン/(円/kg)	76 円/kg	28.1		-6.9
③アルミ缶材出荷量(輸出入を考慮)	推計手法A	前年度原単位	0.092 トン/トン	425,395 トン	39.2		4.2
※④使用済み飲料缶(UBC)価格(1年度遅らせて指標を適用)	推計手法C-3	直近5か年の原単位を用い、反比例式で推計した原単位	0.367 千トン/(円/kg)	91 円/kg	33.3		-1.7

※平成24年度速報値の推計に用いた経済活動指標